

291
72



* 0052278000 *

0052278-000

291-72

三重高等農林学校一覽

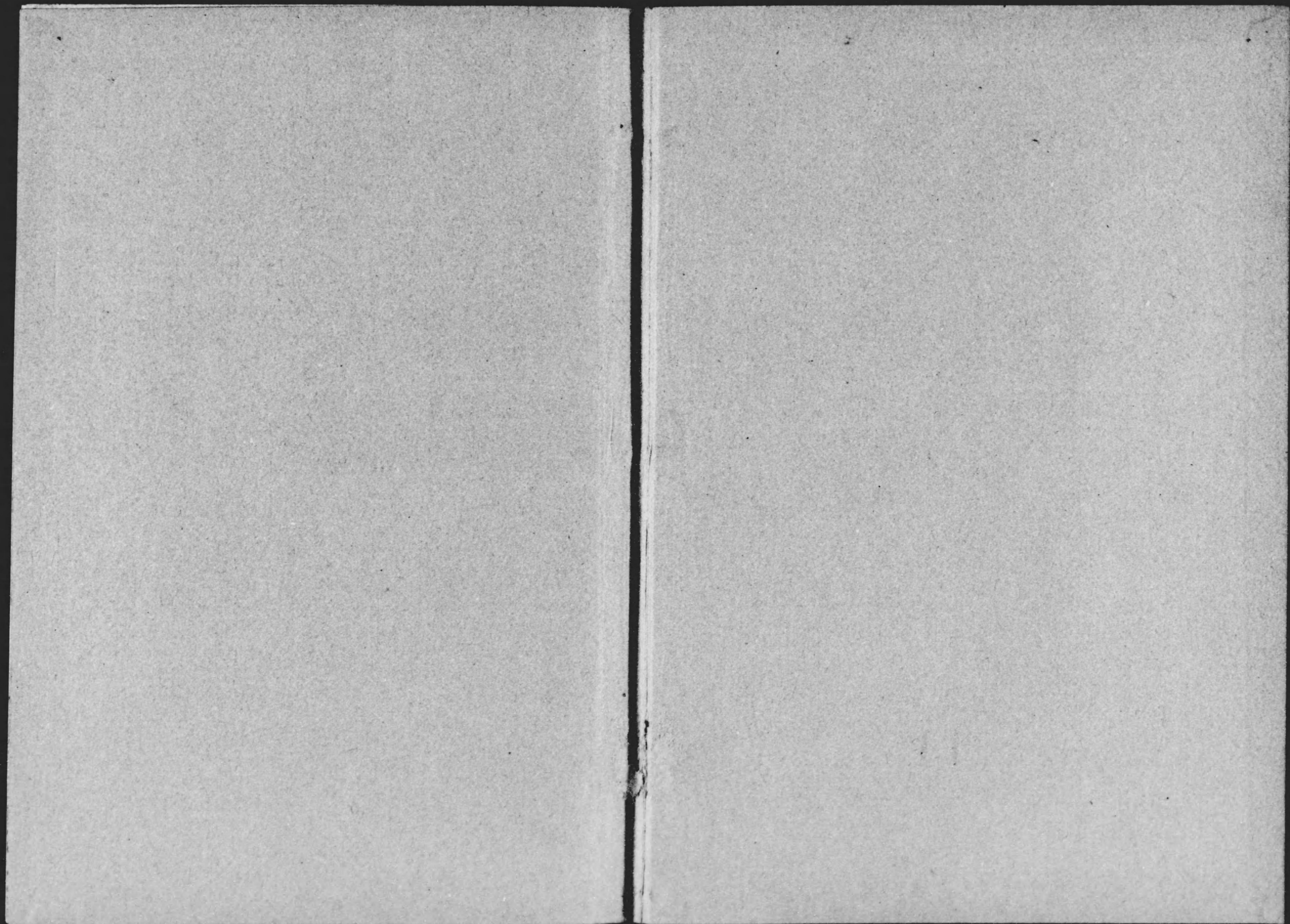
三重高等農林学校・編

三重高等農林学校

昭和16年度

昭和16

AHN

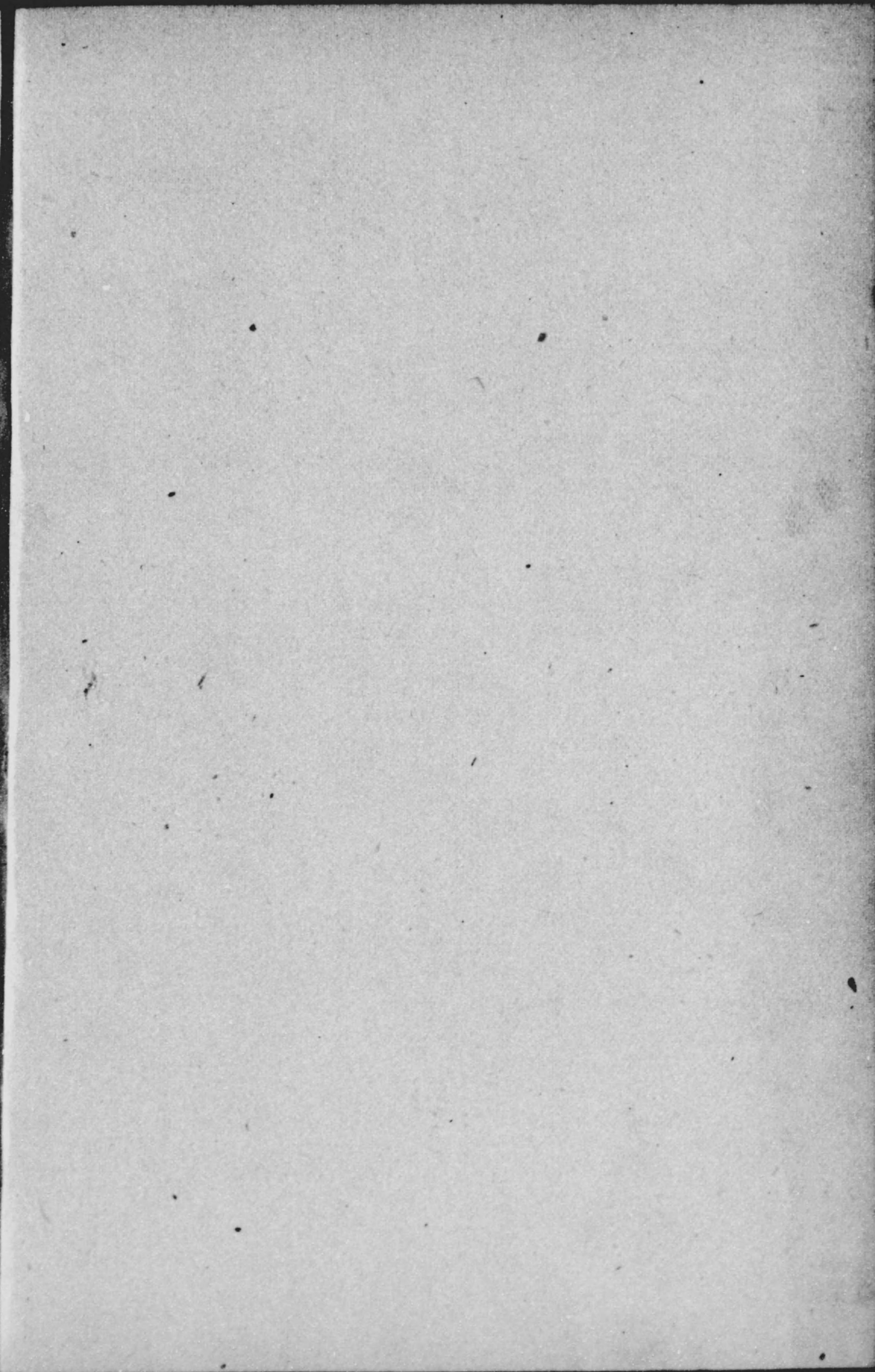
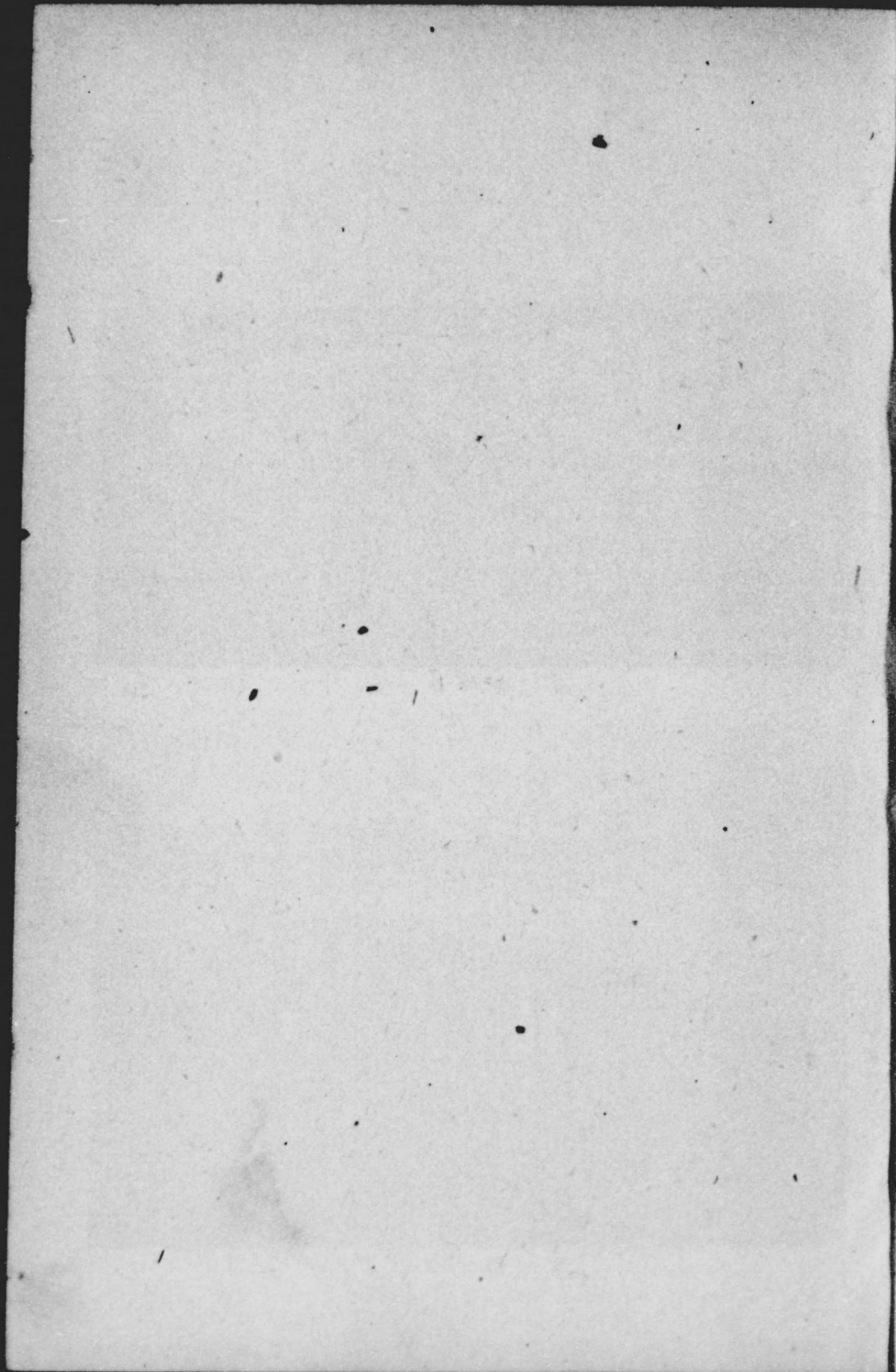


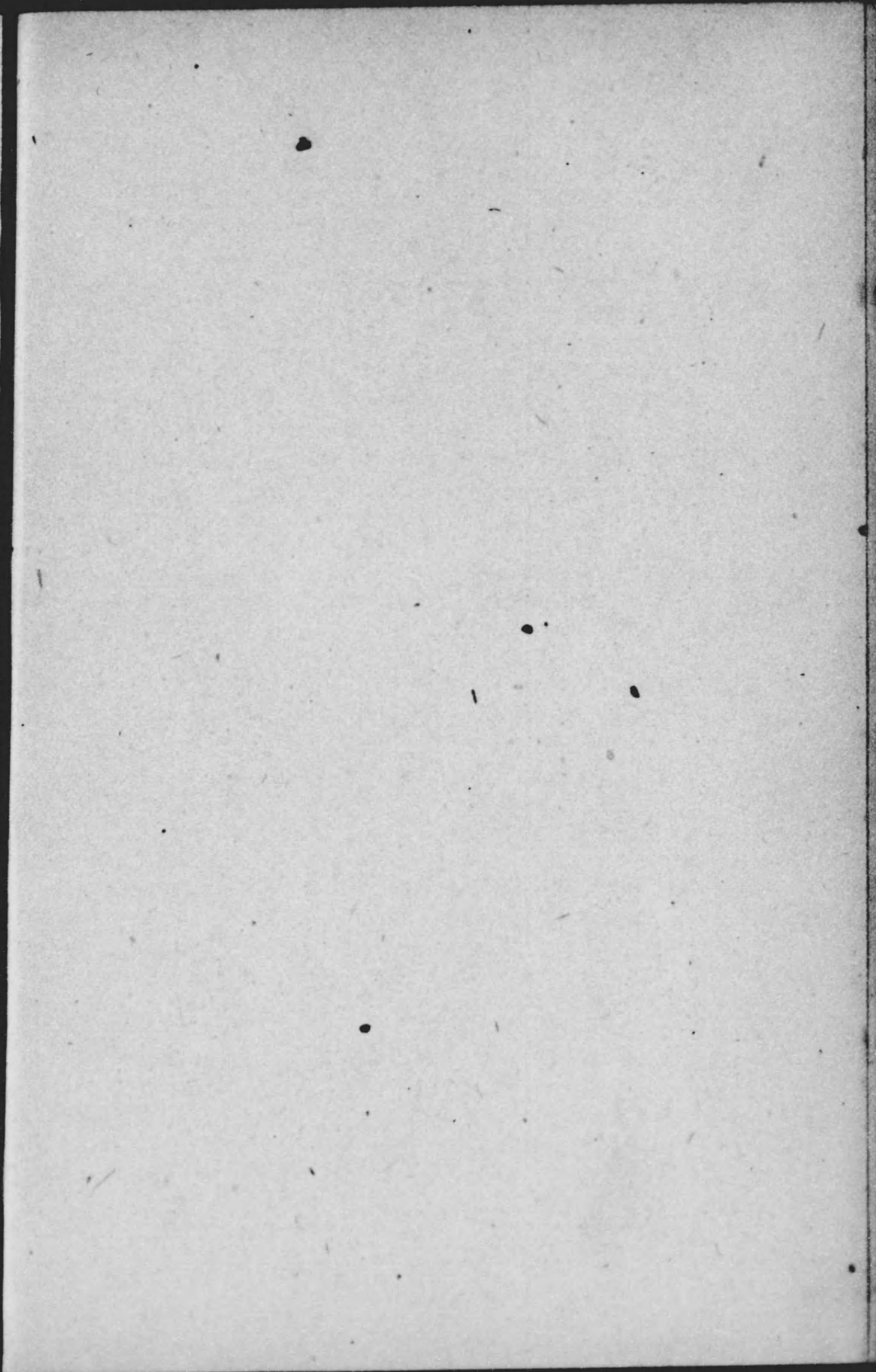
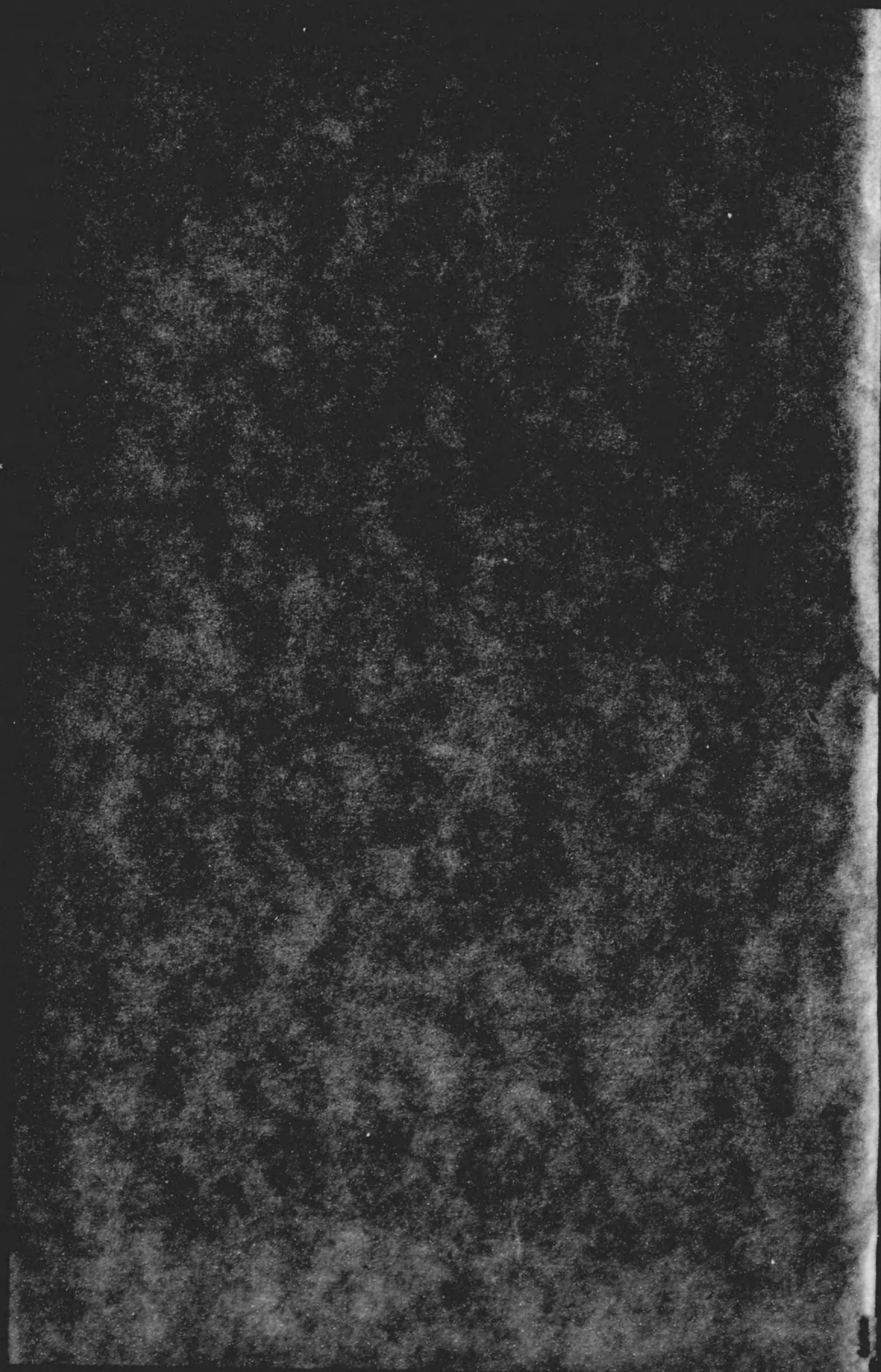
29

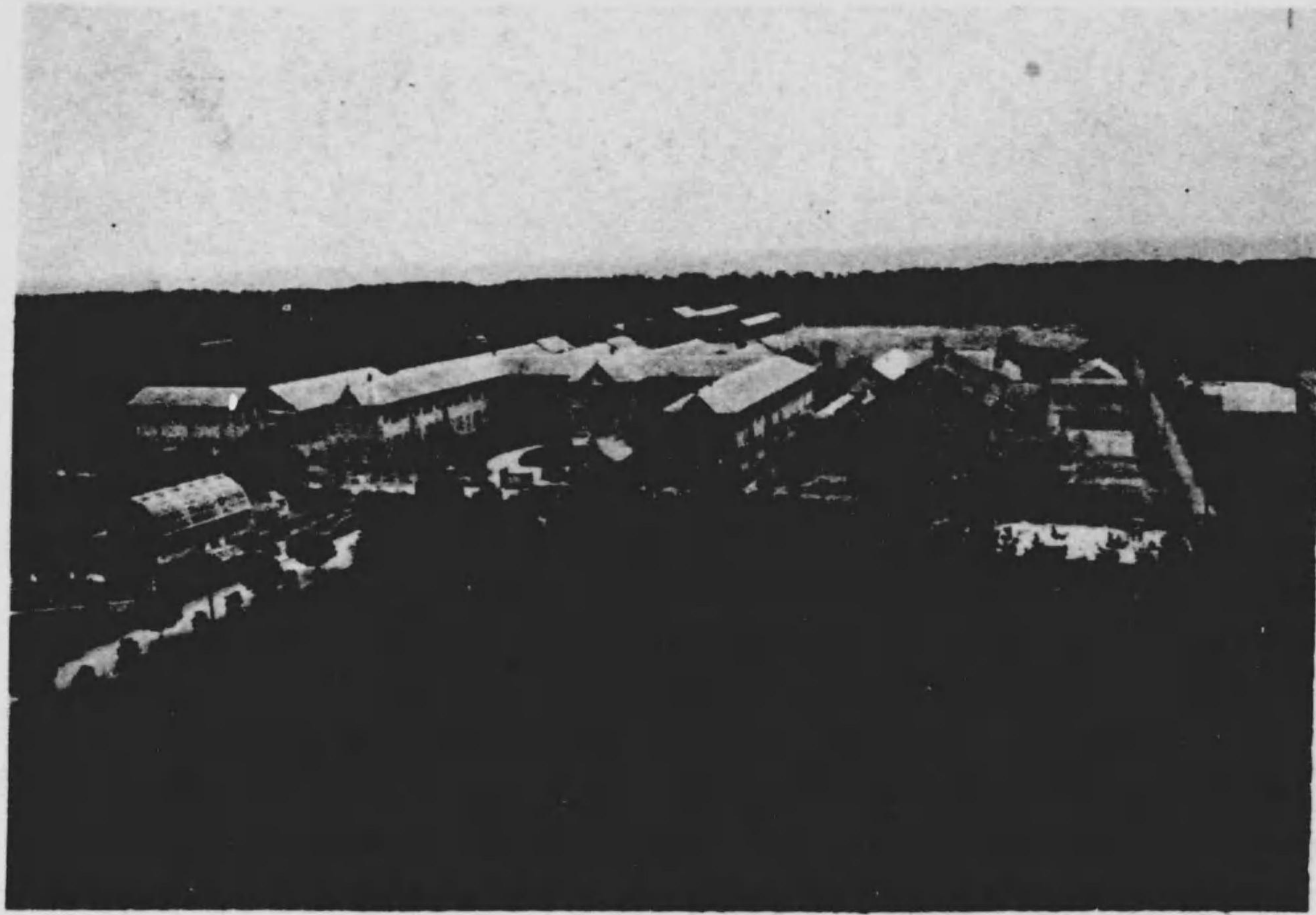
72

三重高等農林學校一覽

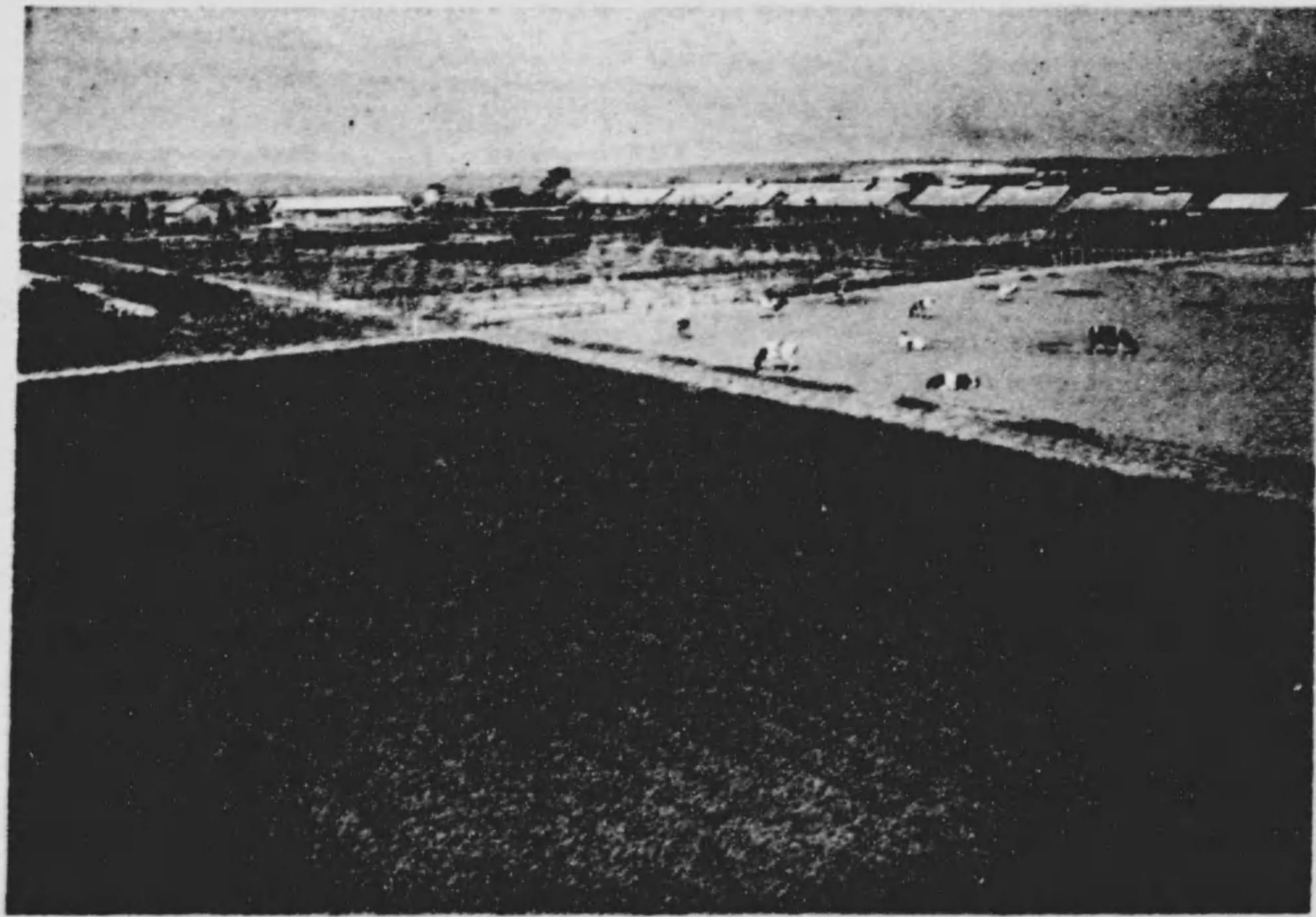
昭和十六年度



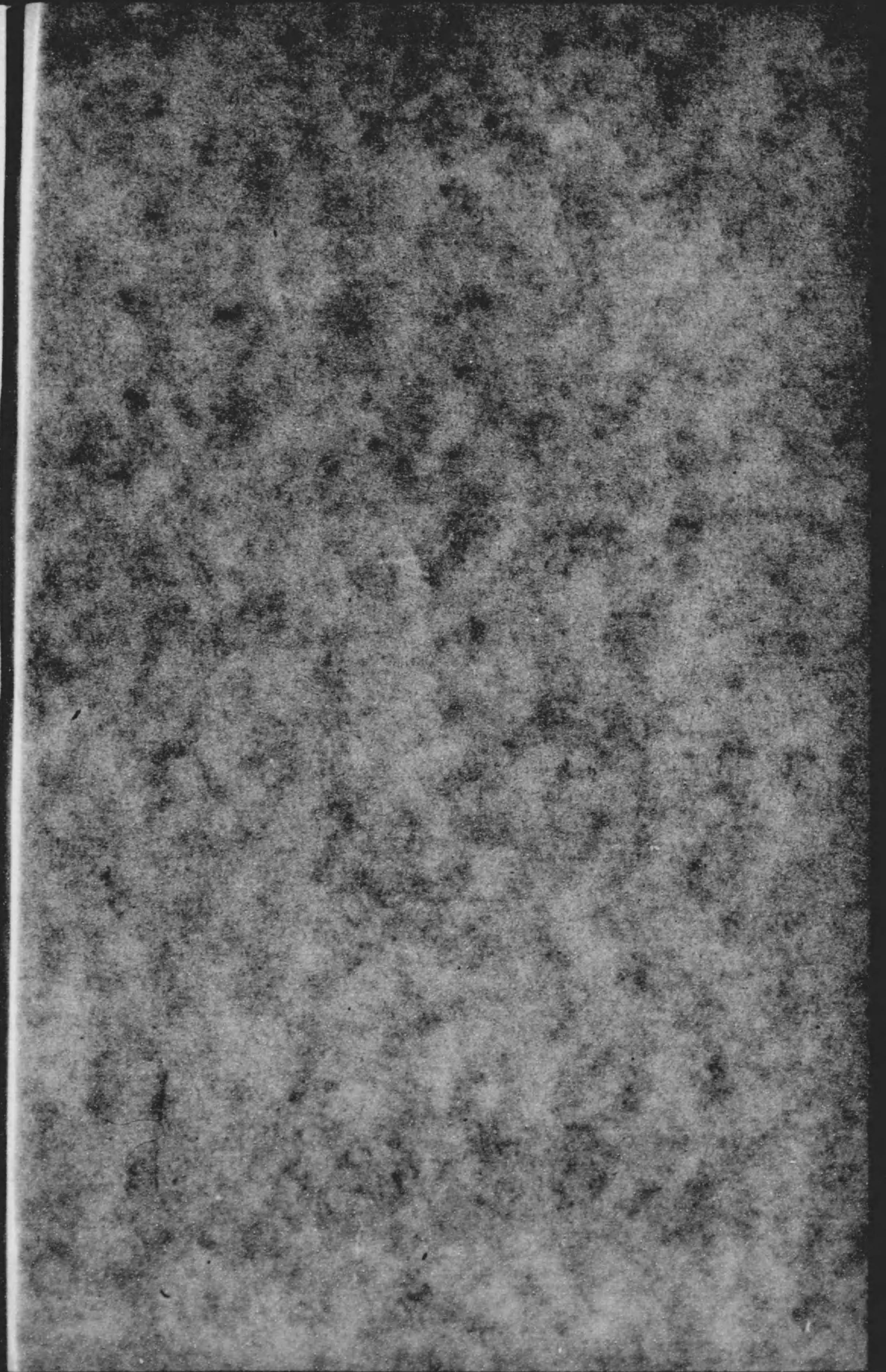




校 會 全 景



實 驗 農 場



校歌

- 一
 み空のみどり樹のみどり
 いましめかはし陸みあひ
- 二
 波のみどりの國原に
 つどへるわれら健男兒
- 三
 林につちに秘めらるゝ
 天の使命は重けれど
 自然の富を拓くべき
 われらの詩こゝにあり
- 四
 明けゆく伊勢の海原に
 暮るゝ鈴鹿の山の上に
 のぞむ希望の陽の光
 仰ぐ理想の星の影
- 五
 研鑽思索實習に
 用ふるまゝにいよゝ湧く
 刻苦の月日かさぬれど
 われらの力人も知れ
- 八咫の御鏡八束稻
 神の威靈はいたゞけり
 國の基をうち堅め
 ゆるぎはさせじ秋津島

三重高等農林學校一覽

昭和十六年度

發行所寄贈本



- 一、文部省直轄諸學校官制(抄)
- 二、文部省直轄諸學校職員定員令(抄)
- 三、實業學校令(抄)
- 四、專門學校令(抄)
- 五、實業學校卒業生ノ專門學校入學ニ關スル件(抄)
- 六、公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル者ノ指定(抄)
- 七、文部省直轄學校外國人特別入學規程(抄)
- 八、臺灣朝鮮人文部省直轄諸學校入學ニ關スル件



九、三重高等農林學校規程

第三 學年曆

第四 規則

一、三重高等農林學校規則

二、三重高等農林學校農村工業實科規程

第五 細則

一、事務規程

二、物品會計細則

三、圖書館規程

四、農林博物館規程

五、農場規程

二七 二六 二五 二四 二三 二二 二一 二〇 一九 一八 一七 一六 一五 一四 一三 一二 一一 一〇 〇九 〇八 〇七 〇六 〇五 〇四 〇三 〇二 〇一

291
72

六、植物園規程

七、總代規程

八、學生制服規程

九、寄宿舍規程

十、寄宿料規程

十一、授業料徵收規程

十二、校旗規程

十三、通學生規程

十四、三重高等農林學校特設警防團規程

十五、三軍寮警防隊規程

十六、外國人特別入學細則

第六 職員

第七 學生

一、學生氏名

二七 二六 二五 二四 二三 二二 二一 二〇 一九 一八 一七 一六 一五 一四 一三 一二 一一 一〇 〇九 〇八 〇七 〇六 〇五 〇四 〇三 〇二 〇一

二、學生數

一三

三、地方別學生數

一三

第八 卒業生

一三

一、卒業生氏名

一三

二、卒業生年度別數

一三

三、卒業後ノ狀況

一三

四、卒業生地方分布ノ狀況

一三

第九 敷地、建物

一七

附錄

三重高等農林學校報國園規則

一九二

三重高等農林學校報國園基本金規則

一九五

三重高等農林學校報國隊規則

一九六

三重高農同窓會會則

一九七

建物配置圖

一九七

第一 沿革

大正八年政府ハ高等教育機關創設及擴張ノ計畫ヲ樹テ第四十一帝國議會ノ協賛ヲ經其ノ一トシテ高等農林學校ヲ三重縣下ニ設置スルニ決シ八年九月位置ヲ津市上濱町ニ定ム次テ敷地ノ買收並地上工事ニ着手シ十年三月其ノ工ヲ終フ之ヨリ先主重縣ハ本校設置ヲ議アルヲ聞クヤ大正八年七月臨時縣會ヲ開キ創立費ニ對シ四拾四萬五千圓ヲ政府ニ寄附スルコトヲ議決シ九年三月其ノ手續ヲ了ス大正十年八月本館其ノ他附屬校舍ノ新築工事ニ着手ス爾來沿革ノ大要ヲ舉ク



十二月廿日 勅令第四百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正ヲ加ヘ本校ノ設置ヲ公布、勅令第四百五十七號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正ヲ加ヘ本校ノ職員定員ヲ校長一人、教授五人、助教二人、書記四人ト定メ、文部事務官兼東京高等師範學校教授上原種美本校校長兼文部事務官ニ任セラレ

同月廿二日 文部省告示第五百七號ヲ以テ本校ノ位置ヲ三重縣津市上濱町ニ定メ大正十一年四月ヨリ授業ヲ開始スル旨告示、同告示第五百十二號ヲ以テ本校ノ事務ハ當分ノ間文部省内ニ於テ之ヲ取扱フ旨告示セラレ

同月廿五日 雨天體操場及本館附屬建物新築竣工ス

大正十一年

沿革

- 一月十二日 文部省令第一號ヲ以テ本校規程ヲ公布セラル
- 同月十六日 本校規則ヲ制定ス
- 同月十七日 文部省告示第十一號ヲ以テ實業學校卒業生(但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ實業學校卒業生ニシテ志望學科ト同種類ノ學科ヲ修メタル者ニ限ル)ヲ本校ノ入學ニ關シ中學校卒業生ト同等以上ノ學カヲ有スルモノト指定セラル
- 三月一日 校章ヲ制定ス
- 同月十四日 文部省告示第六十三號ヲ以テ本校ノ事務ハ三月十六日ヨリ三重縣津市上濱町本校内ニ於テ之ヲ取扱フ旨告示セラレ雨天體操場ヲ以テ臨時事務所ニ充ツ
- 四月一日 大正十一年度入學志願者三百二十名中ヨリ農學科、農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス
- 同月五日 本館新築工事完成シ雨天體操場ヨリ事務所ヲ移轉ス
- 同月八日 寄宿舎並其ノ附屬建物新築竣工ス
- 同月十二日 校長上原種美兼文部事務官ヲ免セラレ學校長專任トナル
- 同月二十日 事務規程ヲ制定ス
- 同月廿二日 第一回入學式ヲ舉行ス
- 同月廿五日 始業式ヲ舉行シ翌日ヨリ授業ヲ開始ス
- 同月廿九日 勅令第二百四十二號ヲ以テ本校職員定員中教授五人ヲ九人ニ、助教授二人ヲ七人ニ改正セラル

- 五月十日 本校實驗農場初耕式ヲ舉行ス
- 七月二日 鎌田文部大臣來校視察セラル
- 同月廿七日 學級總代規程ヲ制定ス
- 九月二日 授業料徵收規程ヲ制定ス
- 同月十一日 學生制服規程ヲ制定ス
- 同月十三日 寄宿舎規程、寄宿料規程ヲ制定ス
- 同月十四日 通學生規程ヲ制定ス
- 十月三日 教育ニ關スル勅語謄本及戊申詔書謄本ヲ下賜セラル
- 十一月四日 皇后陛下宇治山田市へ 行啓ニ付職員學生一同津扉ニ奉迎ス
- 同月七日 皇后陛下宇治山田市ヨリ 還啓ニ付職員學生一同津扉ニ奉送ス
- 十二月廿八日 養蠶室及農場建物新築竣工ス

大正十二年

- 一月卅一日 非常警備及手配規程ヲ制定ス
- 二月廿八日 實驗室新築竣工ス
- 三月廿八日 運動場工事竣工ス
- 同月三十日 大正十二年度入學志願者四百六十六名中ヨリ農學科、農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス

四月十二日 第二回入學式ヲ舉行ス

同月廿一日 物品會計細則ヲ制定ス

五月 八日 勅令第二百二十九號ヲ以テ本校職員定員中教授九人ヲ十五人ニ、助教授七人ヲ十人ニ、書記四人ヲ五人ニ改正セラル

大正十三年

一月廿六日 皇太子殿下御成婚ノ禮ヲ行ハセラルルニ付奉祝式ヲ舉行ス

二月廿三日 皇太子殿下並 同妃殿下 神宮御參拜ノ爲御來縣ニ付職員學生一同津驛ニ奉迎ス

同月廿四日 皇太子殿下並 同妃殿下御來縣ニ付上原校長御機嫌ヲ奉伺ス

同月廿五日 皇太子殿下並 同妃殿下還啓ニ付職員學生一同津驛ニ奉送ス

三月三十日 講堂、畜舎其ノ他五棟新築竣工ス

四月 一日 大正十三年度入學志願者二百八十三名中ヨリ農學科四十二名、農業土木學科四十二名及林學科四十名ノ入學ヲ許可ス

同月十五日 第三回入學式ヲ舉行ス

五月十六日 勅令第三百三十三號ヲ以テ本校職員定員中教授十五人ヲ十八人ニ、助教授十人ヲ十二人ニ、書記五人ヲ六人ニ改正セラル

六月二十日 圖書館、書庫、武道場、農業機械室其ノ他五棟新築竣工ス

八月十五日 酪農室、燻蒸室外二棟新築竣工ス

同月十九日

實驗農場ハ從來灌溉、排水ノ便ヲ缺キ加フルニ鹽害亦尠カラサリシヲ以テ耕地ノ根本的整備改良ヲ企テ本年三月二十三日其ノ工事ニ着手灌溉、排水、電動裝置外十六點ノ施設ヲ竣成ス

十月 十日

校歌ヲ作定ス

同月廿六日

中橋前文部大臣來校視察セラル

十一月 一日

本校開校式ヲ舉行ス岡田文部大臣、柴垣文部省建築課長、荒木京都帝國大學總長、山岡三重縣知事、三條西神宮大宮司其ノ他朝野ノ名士約五百名ノ來賓アリ爾來此日ヲ以テ本校記念日ト定ム

同月 二日

第一回陸上運動會ヲ舉行ス

同月 十一日

乾草室、羊舎、鶏舎、豚舎外二棟新築竣工ス

同月 三十日

高橋農商務大臣來校視察セラル

十二月 四日

本校規則中入學ニ關スル項ヲ改正ス

同月 六日

特別研究室新築竣工ス

同月 十七日

圖書館規程ヲ制定ス

同月 二十日

官舎四棟及附屬建物新築竣工ス

同月 三十日

蠶種貯藏庫、作物栽培實驗室、簡易堆肥及水肥舎新築竣工ス

大正十四年

一月 廿二日

文部省告示第十二號ヲ以テ本校卒業生ハ農學科ニ在リテハ農業、動物又ハ植物、農業土木學科ニ在リテハ數學ニ關シ中等學校教員無試験檢定ヲ受クルコトヲ得ルモノト指定セラル

二月十五日 本校所屬演習林トシテ三重縣一志郡八幡村所在平倉國有林四百五十七町八反六畝八歩ヲ農商務省ヨリ移管ヲ受ク

同月十八日 農産製造室、林産製造室、飼料室新築竣工ス

同月廿七日 本校内ニ三重縣立實業教員養成所ヲ設置ス

三月十四日 温室新築竣工ス

同月十七日 第一回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十八名、農業土木學科二十八名及林學科二十三名ニ卒業證書ヲ授與シ農業土木學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

同月廿三日 本校規則中授業料ニ關スル規定ヲ改正ス

同月卅一日 本校正門前ノ土地八百十二坪ヲ購入シ見本植物園ヲ設置ス

四月一日 勅令第八十一號ヲ以テ本校職員定員中助教授十二人ヲ十一人ニ改正、大正十四年度入學志願者三百六十一名中ヨリ農學科、農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス

同月十五日 第四回入學式ヲ舉行ス

五月十日 天皇 皇后兩陛下御結婚滿二十五年御祝典ヲ執リ行ハセラルルニ付奉祝式ヲ舉行ス

同月廿七日 文部省令第二十七號ヲ以テ本校規程中各學科ノ學科目及其ノ程度ヲ改正、本校規則モ同様改正ス

大正十五年

三月十七日 第二回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十四名、農業土木學科二十五名及林學科三十二名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科二名、農業土木學科選科一名及林學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

四月一日 大正十五年度入學志願者四百四十五名中ヨリ農學科四十一名、農業土木學科四十二名及林學科四十名ノ入學ヲ許可ス

同月十五日 第五回入學式ヲ舉行ス

十二月四日 聖上陛下 御惱御平癒祈願式ヲ舉行シ式後上原校長並職員學生各代表伊勢神宮ニ參拜御平癒祈願ヲ爲ス

昭和元年

十二月廿五日 天皇陛下 崩御アラセラレタルニ付奉悼式ヲ舉行ス

昭和二年

二月三日 演習林寄宿舎新築竣工ス

同月七日 大正天皇御大喪儀ニ付遙拜式ヲ舉行ス上原校長ハ上京鹵簿内奉送ヲ爲シ職員並學生各總代ハ鹵簿ヲ奉送ス

同月十四日 今上天皇陛下朝見ノ儀ニ於テ賜ハリタル 勅語ノ奉讀式ヲ舉行ス

三月十七日 第三回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十七名、農業土木學科三十一名及林學科二十二名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

同月廿二日 本校實驗農場續キノ土地千六百六十坪餘ヲ買收シテ花卉園ヲ擴張ス

同月卅一日 固定温床新築竣工、外國人特別入學細則ヲ制定ス

四月一日 昭和二年度入學志願者五百十二名中ヨリ農學科四十六名、農業土木學科四十二名及林學科四十五名ノ入學ヲ許可ス

四月十五日 第六回入學式ヲ舉行ス
 五月十二日 三土文部大臣來校視察セラル
 九月十二日 水野文部大臣來校視察セラル
 十二月廿七日 勅令第三百六十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正本校職員定員中ニ助手二人ヲ加ヘラル

昭和三年

一月十六日 校長上原種美歐米各國へ出張不在中教授増淵次助校長代理ヲ命セラル
 三月十七日 第四回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十六名、農業土木學科三十名及林學科二十九名ニ卒業證書ヲ授與ス
 同月二十日 藥品庫増築竣工ス
 同月廿八日 有毒瓦斯處理室新築竣工ス
 四月一日 昭和三年度入學志願者六百四十四名中ヨリ農學科四十一名、農業土木學科四十一名及林學科四十名ノ入學ヲ許可ス
 同月九日 本校規則第一條ヲ改正ス
 四月十五日 第七回入學式ヲ舉行ス
 十月廿九日 勅令第二百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正「生徒監」ヲ「生徒主事」ニ改メ、「生徒主事補」ヲ加ヘラル
 十一月十日 御即位禮奉祝式並ニ御大禮記念御眞影奉安殿地鎮祭ヲ舉行ス

同月十五日 天皇 皇后兩陛下 神宮御親謁ノ爲 行幸啓在ラセラレ本校生産ノ果實ヲ献上ス
 同月十九日 天皇 皇后兩陛下津驛御通過ニ付職員學生一同奉迎ス
 同月二十日 天皇 皇后兩陛下神宮御親謁ノ際職員學生一同鹵簿ヲ奉拜ス
 十一月廿二日 天皇 皇后兩陛下津驛御通過ニ付職員學生一同奉送ス
 十二月十三日 上原校長歸朝ニ付増淵教授校長代理ヲ免セラル

昭和四年

三月十六日 第五回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十二名、農業土木學科三十名及林學科二十三名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス
 同月廿八日 本校規則中授業料ニ關スル規定ヲ改正ス
 四月一日 昭和四年度入學志願者六百八十六名中ヨリ農學科四十五名、農業土木學科四十二名及林學科四十二名ノ入學ヲ許可ス
 同月十五日 第八回入學式ヲ舉行ス
 五月九日 天皇陛下 神宮御親謁ノ爲昨秋 行幸ノ御砌特別ノ御思召アラセラレタルニ依リ本校栽植ノ伊勢菊苗六十種中ヨリ四十種ヲ選ヒ献上ス
 同月十日 校旗規程ヲ制定ス
 同月十七日 校旗上成式ヲ舉行ス
 六月五日 天皇陛下大阪城東練兵場ニ於テ二府五縣下ニ於ケル學生生徒等御親閱ニ付本校學生百二十名教官引率

シ分列部隊ニ參加御親閱ノ光榮ニ浴シ上原校長御親閱場ニ參列シ分列式ヲ陪觀ス
十月 二日 神宮式年御遷宮執リ行ハセラルルニ付奉拜式ヲ舉行ス

上原校長 皇大神宮御遷宮式ニ參列又學生代表八十名職員引率シ神域内ニ於テ之ヲ奉拜ス

同月 五日 豐受大神宮御遷宮式執リ行ハセラルルニ付學生代表九十名職員引率シ神域内ニ於テ奉拜ス

十一月 一日 本校創立記念日ニ付校内ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス

同月 十四日 農業工學實驗室新築竣工ス

十二月 五日 熊澤一衛氏寄附ニ係ル御大禮記念 御眞影奉安殿新築竣工ス

昭和五年

二月 七日 高松宮殿下御結婚奉告ノ爲御參宮ニ付上原校長及職員津驛ニ奉迎送ヲ爲ス

三月 十六日 第六回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十八名、農業土木學科三十三名及林學科三十六名ニ卒業證書

ヲ、林學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

四月 一日 昭和五年度入學志願者九百三十三名中ヨリ農學科四十四名、農業土木學科四十四名及林學科四十一名

ノ入學ヲ許可ス

同月 十五日 第九回入學式ヲ舉行ス

同月 廿一日 本校校友會寄附ニ係ル弓道場竣工ス

十月 十四日 天皇陛下 皇后陛下ノ 御眞影ヲ下賜セララル

同月 十五日 御眞影拜戴式ヲ舉行ス

同月 三十日 教育ニ關スル勅語漢發滿四十年記念式ヲ舉行ス

十一月 十五日 本校演習林内ニ平倉神社ヲ建設シ鎮座祭ヲ舉行ス

昭和六年

二月 五日 曩ニ御下賜ノ 天皇陛下 皇后陛下 御眞影ヲ奉還シ新ニ 天皇陛下 皇后陛下 御眞影ヲ拜戴ス

三月 十五日 第七回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十九名、農業土木學科三十五名及林學科二十九名ニ卒業證書

ヲ、外國人特別生一名ニ修了證書ヲ授與ス

同月 卅一日 熱帶植物温室竣工ス

四月 一日 昭和六年度入學志願者七百九十八名中ヨリ農學科四十四名、農業土木學科四十五名及林學科四十四名

ノ入學ヲ許可ス

同月 十五日 第十回入學式ヲ舉行ス

六月 廿六日 農場規程ヲ制定ス

昭和七年

一月 三十日 土壌作業室新築竣工ス

二月 廿九日 校旗規程中旗手任命ニ關スル規定ヲ改正ス

三月 十五日 第八回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十九名、農業土木學科三十七名及林學科三十五名ニ卒業證書

ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

同月 廿八日 更衣室新築竣工ス

- 四月一日 昭和七年度入學志願者千六百十六名中ヨリ農學科四十四名、農業土木學科四十四名及林學科四十三名ノ入學ヲ許可、學生制服規程中作業服ノ制式ヲ改正ス
- 同月十五日 第十一回入學式ヲ舉行ス
- 同月廿六日 三重高農拓殖研究会ヲ設立ス
- 同月廿一日 滿洲國語及滿蒙事情ニ關スル講座ヲ新設シ本校學生ノ外之ヲ一般ニ公開ス
- 六月一日 本校規則中授業料減免ニ關スル規定ヲ改正ス
- 九月十五日 學生健康相談所ヲ新設ス
- 同月三十日 銃器室及物置ノ新築、武道場ノ増築竣工ス
- 十月九日 本校校友會寄附ニ係ル記念「プール」竣工ス
- 十一月一日 本校開校十周年記念式ヲ舉行ス文部大臣代理菊池實業學務局長、農林大臣代理大島農林技師、京都及北海道兩帝國大學總長代理、官公私立高等專門學校長三十名、廣瀨三重縣知事、其ノ他朝野ノ名士約五百名ノ來賓アリ右記念式ニ引續キ十年勤續職員表彰式、記念「プール」寄贈式、記念同窓會館寄贈式ヲ舉行ス
- 十一月二日 記念祝典行事トシテ農業、林業及農業土木、農業機械、滿蒙產業、校勢、實業補習教育ニ關スル各展覽會、活動寫眞、音樂會、本校生産品即賣、角力大會等ヲ開催校内ヲ一般ニ公開シ又夜間記念講演會ヲ開ク
- 同月三日 前日同様各種祝典行事ヲ催シ校内ヲ一般ニ公開シ又柔道、劍道、庭球、弓道、「ラグビー」ノ大會ヲ開ク

- 同月五日 記念祝典ノ一行事トシテ上原校長、職員總代、各學科各學年總代及卒業生總代同伴 伊勢神宮へ參拜奉告並祈願ヲ爲ス
- 同月十六日 天皇陛下大阪城東練兵場ニ於テ二府五縣下ニ於ケル學生生徒等御親閱ニ付本校學生六十三名教官引率分列部隊ニ參加御親閱ノ光榮ニ浴ス
- 十二月廿七日 勅令第三百九十五號ヲ以テ本校職員定員中助教授十一人ヲ十人ニ、助手二人ヲ一人ニ改メラル

昭和八年

- 三月十五日 第九回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十五名、農業土木學科三十九名及林學科二十八名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科二名ニ修了證書ヲ授與ス
- 四月一日 昭和八年度入學志願者一千七百名中ヨリ農學科四十五名、農業土木學科四十三名及林學科四十五名ノ入學ヲ許可ス
- 同月十五日 第十二回入學式ヲ舉行ス
- 同月廿八日 文部省告示第二百三號ヲ以テ本校内ニ第二拓殖訓練所ヲ設置セラレ上原校長所長ノ事務ヲ委任セララル
- 六月一日 拓殖訓練所入所志願者百十七名中ヨリ三十九名ノ入所ヲ許可ス
- 同月十一日 拓殖訓練所ノ授業ヲ開始ス
- 六月十八日 拓殖訓練所開所式ヲ舉行ス
- 十一月十日 國民精神作興ニ關スル詔書漢發十周年記念式ヲ舉行ス
- 十二月廿三日 皇太子殿下御降誕ニ付奉祝式ヲ舉行ス

昭和九年

- 二月十一日 皇太子殿下御降誕ヲ記念スル爲職員學生一同植樹ヲ爲ス
- 三月一日 自動車車庫増築竣工ス
- 同月四日 大農具室新築竣工ス
- 同月六日 李王殿下台臨御視察アラセラレ記念御植樹遊ハサル
- 同月九日 拓殖訓練所入所志願者百二十名中ヨリ三十七名ノ入所ヲ許可ス
- 同月十五日 第十回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科四十二名、農業土木學科四十二名及林學科三十九名ニ卒業證書ヲ授與シ次テ拓殖訓練所第一回修了證書授與式ヲ舉行シ三十四名ニ修了證書ヲ授與ス
- 同月廿五日 拓殖訓練所第一回修了生神戸港出帆渡滿入植ノ途ニ就ク
- 同月廿九日 本館敷地南部ノ接續地三千三百四十九坪ヲ購入シ果樹園、促成栽培圃及植物見本園ヲ擴張ス
- 四月一日 昭和九年度入學志願者千四百四十七名中ヨリ農學科四十名、農業土木學科四十名及林學科三十九名ノ入學ヲ許可ス
- 同月十六日 第十三回入學式ヲ舉行ス
- 同月廿五日 拓殖訓練所第二回入所式ヲ舉行ス
- 二月十六日 拓殖訓練所寄宿舎ノ新築竣工ス
- 三月十五日 第十一回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科四十名、農業土木學科四十名及林學科三十五名ニ卒業證書ヲ

昭和十年

- 授與シ農業土木學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス次テ拓殖訓練所第二回修了證書授與式ヲ舉行シ三十三名ニ修了證書ヲ授與ス
- 同月三十日 養蠶室ノ改築、昆蟲飼育實驗室、孵卵器室ノ新築及圖書閱覽室ノ増築何レモ竣工ス
- 四月一日 昭和十年度入學志願者一千五百名中ヨリ農學科四十一名、農業土木學科四十名及林學科四十二名ノ入學ヲ許可ス
- 同月二日 昭和十年度拓殖訓練所入所志願者百十一名中ヨリ四十一名ノ入所ヲ許可ス
- 同月十三日 第十四回入學式ヲ舉行ス
- 同月廿二日 拓殖訓練所第三回入所式ヲ舉行ス
- 九月廿六日 拓殖訓練所第二回修了生敦賀港出帆渡滿入植ノ途ニ就ク
- 十月十八日 松田文部大臣來校視察セラル
- 十一月廿三日 新嘗祭ヲトシ尊農祭ヲ舉行ス
- 十二月四日 客月二十八日御降誕ノ親王殿下御命名式ヲ行ハセラルルニ付奉祝式ヲ舉行ス
- 同月五日 拓殖訓練所農具室新築竣工ス

昭和十一年

- 二月十五日 農林博物館新築竣工ス
- 三月十五日 第十二回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十六名、農業土木學科三十七名及林學科三十七名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス次テ拓殖訓練所第三回修了證書授與式ヲ舉行シ三十五

名ニ修了證書ヲ授與ス

三月卅一日 昭和十一年度入學志願者一千五百四名中ヨリ農學科四十名、農業土木學科三十七名及林學科四十三名ノ入學ヲ許可、外國人特別入學規程ニ依ル志願者二十三名中ヨリ滿洲國人農學科へ三名、林學科へ一名、中華民國人農業土木學科へ一名入學ヲ許可ス

四月 十日 拓殖訓練所入所志願者百二十四名中ヨリ四十一名ノ入所ヲ許可ス

同月 廿五日 第十五回入學式ヲ舉行ス

五月 二日 拓殖訓練所第四回入所式ヲ舉行ス

六月 十三日 本校事務規程中改正ヲ加へ且農林博物館規程並植物園規程ヲ制定ス

同月 廿三日 拓殖訓練所第三回修了生下關港出帆渡滿入植ノ途ニ就ク

同月 廿七日 御田植祭ヲ行フ

九月 廿四日 本校開校十周年記念トシテ本校同窓會ノ寄附ニ係ル三翠會館新築竣工ス

十月 十四日 本日及十五日全國農業專門學校長協議會ヲ開催ス

十二月 廿八日 防空處置規程ヲ制定ス

昭和十二年

二月 三日 農産加工室新築竣工ス

同月 廿五日 拓殖訓練所規則ノ一部ヲ改正ス

三月 十五日 第十三回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科四十一名、農業土木學科四十一名、林學科三十五名ニ卒業證

書ヲ授與シ選科農學科二名、農業土木學科三名、林學科二名ニ修了證書ヲ授與ス次テ拓殖訓練所第四回修了證書授與式ヲ舉行シ三十三名ニ修了證書ヲ授與ス

同月 十七日 拓殖訓練所收納室新築竣工ス

四月 一日 昭和十二年度入學志願者一千四百三十九名中ヨリ農學科四十名、農業土木學科四十一名及林學科四十一名ノ入學ヲ許可ス

同月 十二日 第十六回入學式ヲ舉行ス

六月 一日 拓殖訓練所入所志願者四十七名中ヨリ三十一名ノ入所ヲ許可ス

同月 五日 皇太后陛下津驛御通過ニ付職員學生一同奉迎ス

同月 六日 皇太后陛下宇治山田市ニ御駐泊ニ付上原校長 御機嫌ヲ奉伺シ同日拜謁ヲ賜ハル

同月 八日 皇太后陛下津驛御通過ニ付職員學生一同奉送ス

八月 四日 勅令第三百八十八號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正本校職員ノ各項中生徒主事及生徒主事補ノ各欄ニ「一人」ヲ加ヘラル

同月 十日 農林博物館増築竣工ス

十二月 十三日 拓殖訓練所規則ノ一部ヲ改正ス

昭和十三年

三月 十五日 第十四回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科三十九名、農業土木學科三十一名、林學科四十一名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス次テ拓殖訓練所第五回修了證書授與式ヲ舉行シ十九名

ニ修了證書ヲ授與ス

四月 一日 昭和十三年度入學志願者千六百四十八名中ヨリ農學科四十三名、農業土木學科四十二名及林學科四十

二名ノ入學ヲ許可ス

同月 六日 拓殖訓練所入所志願者二百二十三名中ヨリ三十九名ノ入所ヲ許可ス

同月 七日 文部省令第十一號ヲ以テ本校規程中改正ヲ加ヘ本校ニ農村工業實科ヲ設置、本校規則中農村工業實科

ニ關スル規定ヲ加ヘ、農村工業實科規程ヲ制定ス

同月 十二日 第十七回入學式ヲ舉行ス

同月 廿五日 農村工業實科生徒制服ニ關スル内規ヲ制定、農村工業實科入學志願者百三十八名中ヨリ三十三名ノ入

學ヲ許可ス

同月 廿七日 本校事務規程中農村工業實科ニ關スル規定ヲ加フ

五月 二日 農村工業實科ノ授業ヲ開始ス

六月 二十日 本日ヨリ五日間拓殖訓練所ニ於テ文部省主催集團勤勞作業指導者講習會ヲ開ク

十二月 十日 支那事變ニ於テ名譽ノ戰死ヲ遂ケタル本校卒業生五英靈ノ慰靈祭ヲ執行ス

昭和十四年

三月 十五日 本科第十五回、農村工業實科第一回、拓殖訓練所第六回卒業證書授與式ヲ舉行シ本科農學科三十八名、

農業土木學科三十六名、林學科三十八名ニ卒業證書ヲ、農村工業實科二十九名ニ修業證書ヲ、拓殖訓

練所三十名ニ修了證書ヲ授與ス

同月 廿七日 昭和十四年度入學志願者千五百九十三名中ヨリ農學科四十七名、農業土木學科四十五名及林學科四十

三名ノ入學ヲ許可ス

同月 卅一日 校長上原種美東京農業教育專門學校長ニ轉任、教授高橋隆道校長ニ任セラレ

四月 十一日 農村工業實科入學志願者七十三名中ヨリ三十五名ノ入學ヲ許可ス

同月 十二日 拓殖訓練所入所志願者百三十名中ヨリ四十名ノ入學ヲ許可ス

同月 十九日 第十八回入學式ヲ舉行ス

同月 廿七日 拓殖訓練所第七回入所式ヲ舉行ス

五月 廿二日 天皇陛下宮城前廣場ニ於テ青少年學徒並ニ教職員等ヲ御親閱ニ付本校學生十名教官引率分列部隊ニ參

加御親閱ノ光榮ニ浴シ高橋校長御親閱場ニ參列シ分列式ヲ陪觀ス

八月 十六日 青少年學徒ニ賜ハリタル勳語贈本ヲ下賜セラレ

昭和十五年

三月 十五日 本科第十六回、農村工業實科第二回、拓殖訓練所第七回卒業證書授與式ヲ舉行シ本科農學科三十五名、

農業土木學科四十二名、林學科三十八名ニ卒業證書ヲ、選科農學科一名、林學科一名ニ修了證書ヲ、

農村工業實科二十九名ニ修業證書ヲ、一名ニ研究證書ヲ、拓殖訓練所二十三名ニ修了證書ヲ授與、蔬

菜室新築竣工ス

同月 卅一日 昭和十五年入學志願者千六百七十三名中ヨリ農學科五十名、農業土木學科五十名及林學科四十八名ノ

入學ヲ許可ス

- 四月 八日 本日ヨリ九日間紀元二千六百年記念植林ヲ行フ
- 同月 十一日 農村工業實科入學志願者八十七名中ヨリ三十六名ノ入學ヲ許可ス
- 同月 十二日 拓殖訓練所入所志願者九十六名中ヨリ二十九名ノ入所ヲ許可ス
- 同月 二十日 第十九回入學式ヲ舉行ス
- 同月 廿三日 拓殖訓練所第八回入所式ヲ舉行ス
- 五月 三十日 勅令第三百五十九號ヲ以テ本校職員定員中助教授十人ヲ九人ニ改正セラル
- 六月 十日 天皇陛下 神宮御親拜ニ付職員學生一同宇治山田市ニ於テ齒簿ヲ奉拜ス
- 九月 廿九日 支那事變ニ於テ名譽ノ戰死ヲ遂ケタル本校卒業生十四英靈ノ慰靈祭ヲ執行ス
- 十月 三十日 教育ニ關スル勅語漢發滿五十年記念式ヲ舉行ス
- 十一月 一日 本校校友會ヲ解消シ本校報國團ノ結成式ヲ行フ
- 同月 十日 紀元二千六百年式典執リ行ハセラルルニ付奉祝式ヲ舉行ス

昭和十六年

- 三月 十二日 本科第十七回、農村工業實科第三回、拓殖訓練所第八回卒業證書授與式ヲ舉行シ本科農學科四十六名、農業土木學科四十名、林學科三十七名ニ卒業證書ヲ、選科農學科二名ニ修了證書ヲ、農村工業實科三十名ニ修業證書ヲ、拓殖訓練所二十八名ニ修了證書ヲ、同中華民國新民會依託生五名ニ修業證書ヲ授與ス

同月 廿三日 昭和十六年度入學志願者六百十三名中ヨリ農學科四十五名、農業土木學科八十名及林學科四十一名ノ

入學ヲ許可ス

- 四月 十一日 農村工業實科入學志願者百十一名中ヨリ三十八名ノ入學ヲ許可ス
- 同月 十二日 拓殖訓練所入所志願者百十三名中ヨリ三十四名ノ入所ヲ許可ス
- 同月 二十一日 第二十回入學式ヲ舉行ス
- 五月 一日 拓殖訓練所第九回入所式ヲ舉行ス
- 同月 十六日 皇后陛下 神宮御親拜ニ付職員十一名及各科第三學年生ハ宇治山田市ニ於テ 齒簿ヲ奉拜シ其ノ他ノ職員學生ハ津縣ニ於テ奉送ス
- 六月 三日 勅令第六百五十九號ヲ以テ本校職員定員中教授十八人ヲ二十一人ニ、助教授九人ヲ十一人ニ、助手一人ヲ二人ニ、書記六人ヲ七人ニ改正セラル
- 同月 六日 寄宿舎規程ノ一部ヲ改正ス
- 九月 十五日 三重高等農林學校特設警防團規程、三翠寮警防隊規程ヲ制定、大正十二年一月三十一日制定非常警備及手配規程、昭和十二年一月十一日制定防空處置規程ヲ廢止ス
- 同月 十八日 學級總代規程ノ一部ヲ改正ス

第二 法令

一、文部省直轄諸學校官制(抄)

(明治二十六年八月 勅令第八十六號)

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

- | | | | |
|------------|------------|------------|----------|
| 東京女子高等師範學校 | 奈良女子高等師範學校 | 東京農業教育專門學校 | 盛岡高等農林學校 |
| 鹿兒島高等農林學校 | 上田蠶絲專門學校 | 東京高等蠶絲學校 | 京都高等蠶絲學校 |
| 鳥取高等農業學校 | 三重高等農林學校 | 宇都宮高等農林學校 | 岐阜高等農林學校 |
| 宮崎高等農林學校 | 千葉高等園藝學校 | 東京高等農林學校 | 帶廣高等獸醫學校 |

(以下省略)

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

- | | | | | | |
|----|----|------|----|----|-------|
| 校長 | 教授 | 生徒主事 | 助教 | 書記 | 生徒主事補 |
|----|----|------|----|----|-------|

前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニ依リ事務官又ハ助手ヲ置クコトヲ得

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ奏任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒主事ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第十條ノ二 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事補ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事補ハ判任トシ其

ノ他ノ學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ判任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ケ

第十條ノ三 事務官ハ奏任トス校長ノ命ヲ承ケ庶務會計ヲ掌理ス

第十條ノ四 助手ハ判任トス教授又ハ助教教授ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補助ニ從事ス

第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若ハ學校長ニ於テ

特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

二、文部省直轄諸學校職員定員令(抄)

(大正十年十二月 勅令第四百五十七號)

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

三重高等農林學校

- | | | | | | | |
|------|--------|--------|-------|------|------|---------|
| 校長一人 | 教授二十一人 | 生徒主事一人 | 助教十一人 | 助手二人 | 書記七人 | 生徒主事補一人 |
|------|--------|--------|-------|------|------|---------|

三、實業學校令(抄)

(大正九年十二月 勅令第五百六十四號改正)

第一條 實業學校ハ實業ニ從事スル者ニ須要ナル知識技能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼テ徳性ノ涵養ニカムヘキモノトス

- 第二條 實業學校ノ種類ハ工業學校農業學校商業學校商船學校水産學校其ノ他實業教育ヲ爲ス學校トス
- 歌醫學校ハ農業學校ト看做ス
- 第二條ノ二 實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス
- 實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

四、專門學校令(抄)

(明治三十六年三月
勅令第六十一號)

- 第一條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス
- 專門學校ニ於テハ人格ノ陶冶及國體觀念ノ養成ニ留意スヘキモノトス
- 專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ
- 第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得
- 前項檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム
- 第六條 專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス
- 第七條 專門學校ニ於テハ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得
- 第八條 官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其メ程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム
- 第十二條 第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

五、實業學校卒業生ノ專門學校入學ニ關スル件(抄)

(大正十三年三月十二日
文部省告示第九號)

- 專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ左記ノ者ヲ專門學校入學ニ關シ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業生ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定ス
- 一、男子實業學校卒業生
- 但シ國民學校初等科修了程度ヲ以テ入學資格トスルモノニ在リテハ修業年限五年、國民學校高等科修了程度ヲ以テ入學資格トスルモノニシテ晝間授業ヲ爲スモノニ在リテハ修業年限三年、夜間授業ヲ爲スモノニ在リテハ修業年限四年又ハ之ト同等以上ノ實業學校ノ卒業生ニ限ル

六、公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル者ノ指定(抄)

(大正八年七月八日
文部省告示第九十二號)

- 明治四十年文部省令第二十八號公私立實業學校教員資格ニ關スル規程第一條第三號ニ依リ指定スルコト左ノ如シ
- 一、實業學校ノ教員タルコトヲ得ル者左ノ如シ
- 官立公立實業專門學校本科卒業生

七、文部省直轄學校外國人特別入學規程(抄)

(明治三十四年十一月十一日
文部省令第十五號)

- 第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ
 第三條 帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可ス
 ヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
 第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ
 第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料、入學料及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得
 第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

八、臺灣、朝鮮人文部省直轄諸學校入學ニ關スル件 (明治四十四年四月) (文部省令第十六號)

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若ハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

九、三重高等農林學校規程 (大正十一年一月十二日) (文部省令第一號)

第一條 三重高等農林學校ノ修業年限ハ三年トス
 第二條 三重高等農林學校ノ學科ハ農學科、農業土木學科及林學科トス
 第三條 三重高等農林學校各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要アル場合ニ於テハ每週教授時數ヲ増減シ又休業期間ニ於テ實習實驗ヲ課シ若ハ臨時講義ヲ聽カシムルコトアルヘシ

(學科課程省略)

第四條 本校卒業者又ハ他ノ實業專門學校卒業者ニシテ本校所定ノ學科目ニ關シ更ニ研究セントスル者ハ研究生トシテ二年以内在學セシムルコトヲ得
 第五條 各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇學修セントスル者ハ選科生トシテ入學セシムルコトヲ得
 第六條 三重高等農林學校ニ農村工業實科ヲ置ク
 第七條 農村工業實科ニ關スル規程ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ學校長之ヲ定ム

十、三重高等農林學校卒業者無試驗檢定ニ關スル件 (大正十四年一月二十二日) (文部省令第十二號)

明治三十六年文部省告示第三十號教員無試驗檢定ニ關スル指定學校名及學科目中左ノ通改正ス
 鳥取高等農業學校ノ次ニ左ノ如ク加フ
 三重高等農林學校

農學科	農業
動物	動物 (特別講義及實驗ニ於テ動物ニ關スル科目每週七時間以上ヲ修メ其ノ成績優等ナル者ニ限ル)
植物	植物 (特別講義及實驗ニ於テ植物ニ關スル科目每週七時間以上ヲ修メ其ノ成績優等ナル者ニ限ル)
農業土木學科	數學 (當該科目成績優等ナル者ニ限ル)

第三學年曆

四月一日 學年始第一學期始
 同月三日 神武天皇祭
 同月五日 春季心身鍛鍊終
 同月六日 第一學期授業始
 同月廿九日 天長節
 七月二十日 第一學期授業終
 同月廿一日 夏季心身鍛鍊始
 八月卅一日 第一學期終
 九月一日 第二學期始
 同月十日 夏季心身鍛鍊終
 同月十一日 第二學期授業始
 秋分日 秋季皇靈祭
 十月十七日 神嘗祭

十一月一日 本校記念日
 同月三日 明治節
 同月廿三日 新嘗祭
 十二月廿四日 第二學期授業終
 同月廿五日 大正天皇祭冬季心身鍛鍊始
 同月卅一日 第二學期終
 一月一日 四方拜第三學期始
 同月十日 冬季心身鍛鍊終
 同月十一日 第三學期授業始
 二月十一日 紀元節
 春分日 春季皇靈祭
 三月廿四日 第三學期授業終
 同月廿五日 春季心身鍛鍊始
 同月卅一日 第三學期終學年終

第四規則

一、三重高等農林學校規則

(大正十一年一月十六日制定)

第一章 總則

第一條 本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ農林及農業土木ニ關スル高等ノ學術技藝ヲ教授シ併セテ人格ヲ陶冶シ國體觀念ヲ養成スルヲ以テ目的トス

第二條 本校ニ農學科、農業土木學科及林學科ヲ置ク

第三條 各學科ノ修業年限ハ三年トス

第四條 本校ニ研究生、選科生及農村工業實科ヲ置クコトアルヘシ

用ス 研究生及選科生ニ關シテハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本科生ニ關スル規定ヲ準

農村工業實科ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第二章 學科目及其ノ程度

第五條 各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要アル場合ニ於テハ各學科目ノ每週教授時數ヲ増減スルコトアルヘシ

學科目	農學科			林學科			農業土木學科		
	第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二
英語	四	四	四	三	三	三	三	三	三
物理學及氣象學	二	二	二	(三)	三	三	三	二	二
化學及分析	三	三	三		(三)	一			
動物學及昆蟲學	三	(二)三	(二)二	二	二	(三)一			
植物學及植物病理學	(二)四	四	(二)四	(二)一	(二)二	(三)三			
礦物學及地質學		二	二						
作物學及育種學	二	二	二	二	二	二			
養蠶學	(不定時)二			(不定時)二	(不定時)一				

農場實習(回数)	農學實驗及實習(回数)	合計	特別講義及實驗	獨逸語	教育學	植民政策	財政學	行政法大意	獸醫學大意
四		(不定時) (二)二八							
四		(二)二八							
四		(四)二八							
三	一	(不定時) (五)二七							
三	二	(不定時) (五)二七							
三	四	(三)二六							
二	三	(二〇) (七)一九	(七)	(三)	(三)	(三)	(三)	(三)	(三)
二	三	(二八) (七)一九	(七)	(三)	(三)	(三)	(三)	(三)	(三)
二	三	(二〇) (三)一六	(三)	(三)					(三)

林學大意	應用菌學	家畜榮養論	植物榮養論	法學通論	經濟學	農政學	農業經營學	農產製造學	農業工學	農具論	土壤學及肥料學	實驗遺傳學	畜產學	園藝學
										二				
										一	二			
											二			二
					二		三				二		二	二
					二		三				二	二	二	二
					二		三	二	二		二	二	二	二
(三)	(三)		(三)	二		二		二	二				二	二
(三)		(三)	(三)	二		二		二	二				二	二
(三)		(三)		二		二		三	二				二	

規則

農業土木學科

學科目	學年			第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
	第一學年	第二學年	第三學年									
修身	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
體操	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
英語	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
數學	6	6	6	3	3	3	3	3	3	3	3	3
物理學及氣象學	4	4	4									
植物學及植物生理學	3	3	3									
礦物學及地質學	3	3	3									
化學	2	2	2									
幾何	2	2	2									
應用力學		2	2									
應用水理學		2	2									
測量學	4	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2

三四

規則

材料及施工法	道路及橋梁	農業水利學	耕地整理論	農業機械學	原動機及揚水機	作物學	園藝學	土壤學及肥料學	農業經營學	農政學	農業土木法規	經濟學	法學通論	設計及製圖
								2						
								2						
6								2						6
8								2						8
13														13
13														13
13														13
15														15

三五

學科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二
英語	二	二	二	一	一	一	三	三	三
數學	四	四	三	三	三	一			
物理學及氣象學	二	二	二	(三)三					
化學及分析	三	三	三		(三)一				
地質學及土壤學	二	二	二						
森林動物學及昆蟲學	二	二	二						
森林植物學及樹病學	三	(三)三	二						

林學科

計畫演習	合	獨逸語	植民政策	行政法大意	林學大意
實驗及實習(回数)	三				
計	二	三			
畫	三	三			
演	三	三			
習	三	三			
	三	四			
	四	四			
	四	五			
不定時	二	(九)三	(三)	(三)	(三)
同上	二	(九)三	(三)	(三)	(三)
同上	二	(六)三	(三)		(三)

法學通論及行政法大意	經濟學及財政學	林政學	森林法規	森林管理法	林產製造學	森林理水及砂防工學	森林工學	森林經理學	森林利用學	森林保護學	造林學	林價算法及林業較利學	測樹學	森林測量學
														三
											一			三
											二			三
二	二					二	二	三	二		二	一	一	一
二	二					三	二	三	三		二	一	一	一
二	二					三	二	三	三		三	一	一	
二	二	四	二	二	三					二				
二	二	四	二	二	三					一				

狩獵術	農學大意	植民政策	教育學	特別講義及實驗	合計	林學實驗及實習(回数)	森林演習	森林事務見習
					二九	二		
					三〇 (三)	二		
					二九 (二)	二		
					二九 (三)	四	不定時	
					二九 (三)	四	同上	
					三〇	四	同上	二
	二	二	二	二	二五 (六)	三	同上	不定時
	二	二	二	二	二四 (八)	三	同上	同上
					二 (二)		同上	同上

備考 各學科每週教授時數中括弧()ヲ附スルモノハ實驗ノ時數トシ括弧()ヲ附スルモノハ應學科ニ在リテハ選擇科目ノ時數、農業土木學科及林學科ニ在リテハ隨意科目ノ時數トス但シ選擇科目ハ二科目以上ヲ選擇セシムルモノトス

本表ノ外體操ニ關シテハ各學科各學年共四日以上ノ野外演習ヲ課スルモノトス

第三章

學年、學期及休業日

第六條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第七條 學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期 自四月一日 至八月三十一日

第二學期 自九月一日 至十二月三十一日

第三學期 自一月一日 至三月三十一日

第八條 休業日ハ左ノ如シ但シ休業日ト雖實習實驗ヲ課シ又ハ臨時講義ヲ聽カシム

ルコトアルヘシ

一、日 曜 日

一、祝日、大祭日

一、本校記念日 (十一月一日)

一、春季休業 (自三月二十五日至四月五日)

一、夏季休業 (自七月二十一日至九月十日)

一、冬季休業 (自十二月二十五日至一月十日)

第四章

入學、在學、休學及退學

第九條 入學ノ期ハ每學年ノ始トス但シ臨時入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條 入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正、志望鞏固ナル男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該

當シ且入學檢定ニ合格シタル者タルヘシ

一、中學校卒業生

二、實業學校卒業生

但シ國民學校初等科修了程度ヲ以テ入學資格トスルモノニ在リテハ修業年限
五年、國民學校高等科修了程度ヲ以テ入學資格トスルモノニ在リテハ修業年限
爲スモノニ在リテハ修業年限三年、夜間授業ヲ爲スモノニ在リテハ修業年限
四年、又ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者

三、前號ニ該當スル者ノ外專門學校入學者檢定規程第十一條ニ依リ一般專門學校

ノ入學ニ關シ無試験檢定ノ指定ヲ受ケタル者

四、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試験檢定合格者

前項第一號乃至第三號ニ該當スル學校ノ在學者ニシテ當該學校長ヨリ其ノ年三月
末日マテニ卒業スヘキ見込アリト認定セラレタルモノハ其ノ證明ヲ以テ入學ヲ願
出ツルコトヲ得

第十一條 入學檢定ハ學力檢定、身體檢查及口頭試問ニ依リ之ヲ行フ

第十二條 學力檢定ヲ分チテ試験檢定及無試験檢定トス

第十三條 試驗檢定ハ國語、英語、數學、物理、化學、動物及植物ノ中三學科目以上ニ就キ中學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ

第十四條 無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ル者ハ中學校又ハ實業學校卒業者ニシテ在學中第三學年、第四學年及第五學年(實業學校ニ在リテハ之ニ相當スル各學年)ノ學業成績ノ席次首位ヨリ數ヘテ全數ノ十分ノ一以內ニ在ル者トス但シ卒業ノ翌年度ヲ經過セサル者ニ限ル

前項ノ場合中學校又ハ實業學校在學者ニ付テハ最終學年ノ第一學期及第二學期ノ平均學業成績ノ席次ヲ以テ最終學年ノ席次ト看做ス

第十五條 無試驗檢定ニ依リ入學ヲ許可スヘキ人員ハ各學科募集人員ノ三分ノ一以內トス

無試驗檢定ニ依リ選拔セラレザリシ者ハ試驗檢定ニ應スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ第十六條ノ書類並入學檢定料ヲ要セス

第十六條 入學志願者ハ第二條ニ掲クル學科ニ就キ其ノ志望學科ヲ定メ左ノ書類ニ入學檢定料ヲ添へ學校長ニ差出スヘシ

一、大學願書(第一號書式)

二、履歷書

三、當該學校長ノ卒業證明書又ハ卒業見込證明書(卒業シタル場合ニハ遲滯ナク更

ニ卒業證明書ヲ差出スヲ要ス)若ハ專門學校入學者試驗檢定合格證明書

四、寫眞入學願出前六箇月以內ニ撮影シタル脫帽半身手札形

五、無試驗檢定ヲ受クル者ニ在リテハ身體檢查書(在學中最後ノ身體檢查書寫)

前項ノ外入學志願者ハ別ニ學業成績書(第二號書式)ヲ當該學校長ヲ經テ差出スヘシ
第十七條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ二十日以內ニ保證人ノ連署ヲ以テ誓書(第三號書式)及戶籍抄本ヲ差出スヘシ

第十八條 保證人ハ本人ノ父兄又ハ丁年以上ノ親近者ニシテ本校ニ於テ適當ト認メタルモノタルヘシ

前項ノ父兄又ハ親近者ナキトキハ學生ノ身上ニ關シ一切ノ事件ニ付其ノ責ニ任スルニ足ルヘキ者ヲ以テ保證人ト爲スコトヲ得

第十九條 保證人死去若ハ前條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ速ニ誓書

ヲ差出スヘシ

第二十條 保證人改姓、改名、改印、轉居等ヲ爲シタルトキハ其ノ旨速ニ届出ツヘシ

第二十一條 學生ハ本校所定ノ制服、制帽ヲ着用スヘシ

第二十二條 學生疾病又ハ事故ニ依リ缺席スル者ハ其ノ事由ヲ記シ三日以内ニ届出ツヘシ但シ疾病ノ爲缺席七日以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

第二十三條 學生疾病又ハ事故ニ依リ引續キ三箇月以上修業スルコト能ハサルトキハ保證人ノ連署ヲ以テ願書ヲ學校長ニ差出シ許可ヲ得テ一箇年以内休學スルコト

ヲ得但シ疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

休學ヲ許可セラレタル者ハ休學期間滿了ノ時ヨリ原級ノ課程ヲ修ムヘシ但シ休學期間中ト雖其ノ事故消滅シタルトキハ願ニ依リ詮議ノ上休學ヲ解除スルコトアルヘシ

第二十四條 學生改姓、改名、改印、轉籍等ヲ爲シタルトキハ其ノ旨速ニ届出ツヘシ但シ改姓、改名、轉籍ノ届出ニハ戶籍抄本ヲ添附スルヲ要ス

第二十五條 學生ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ他ノ學校ニ入學シ又ハ他ノ

學校若ハ官署ニ於ケル各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受クルニハ其ノ事由ヲ具シ保證人ノ連署ヲ以テ學校長ニ願出ツヘシ

第二十六條 學生疾病又ハ事故ニ依リ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ保證人ノ連署ヲ以テ學校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

第二十七條 本校ヲ退學シタル者再入學ヲ願出テタルトキハ缺員アル場合ニ限り詮議ノ上試験ヲ行ヒ原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ但シ場合ニ依リ試験ヲ省略ス試験ノ全部ヲ省略シタルトキハ入學檢定料ヲ徴收セス

第二十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ學籍ヲ除ク

- 一、 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二、 學業劣等若ハ身體虛弱等ニ依リ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三、 正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者
- 四、 授業料ノ納付ヲ怠リ出席停止一箇月以上ニ亘ル者

第五章 表彰及懲戒

第二十九條 學生品行方正ニシテ學業ニ精勵シ其ノ成績優等ナル者其ノ他其ノ行爲他ノ模範ト爲スニ足ルト認メタル者ハ之ヲ選抜シテ特待生ト爲シ又ハ他ノ方法ヲ以テ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

特待生ニハ授業料ヲ徵收セス

特待生學業ヲ怠リ又ハ品位ヲ傷フ行爲アルトキハ特待生タルコトヲ罷ム

第三十條 學生校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ其ノ本分ヲ失フト認メタルトキハ其ノ輕重ニ依リ戒飭停學又ハ放校ニ處ス

第六章 修業及卒業

第三十一條 各學年ノ課程修了ハ該學年ニ於ケル勤惰及學業ノ成績等ヲ考查シテ之ヲ定ム

第三十二條 前條ノ考查ニ合格セサル者ハ次學年ノ始ヨリ原級ノ課程ヲ再修セシム但シ場合ニ依リ詮議ノ上假進級ヲ爲サシメ再考查ヲ行フコトアルヘシ

第三十三條 已ムヲ得サル事故ニ依リ試験ニ缺席シタル者追試験ヲ受ケンコトヲ願出ツルトキハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十四條 第三學年ノ終ニ於テハ卒業論文ヲ提出セシメ又ハ卒業試問ヲ行フ

第三十五條 第三學年ノ課程ヲ修了シ卒業論文又ハ卒業試問ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第三十六條 第三學年ノ成績考查ニ合格セサル者ニハ本人ノ希望ニ依リ詮議ノ上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第三十七條 本校卒業生ハ其ノ修得セル學科ニ從ヒ農學得業士、農業土木學得業士又ハ林學得業士ト稱スルコトヲ得

第三十八條 成績考查ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 研究生

第三十九條 本校卒業者又ハ他ノ實業專門學校卒業者ニシテ本校所定ノ學科目ニ關シ更ニ研究セントスル者ハ詮議ノ上研究生トシテ二年以内在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十條 研究生タラントスル者ハ其ノ研究セントスル事項及在學期間ヲ具シタル願書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第四七一條 研究生其ノ研究事項ヲ結了シタルトキハ研究報告書ヲ作り指導教官ヲ經テ之ヲ學校長ニ差出スヘシ

研究ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ研究證書ヲ授與ス

第八章 選科生

第四十二條 各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇學修セントスル者ハ詮議ノ上選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十三條 選科生ニシテ在學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第九章 入學檢定料、授業料及實驗實習費

第四十四條 入學檢定料ハ金五圓トス入學願書ト共ニ納付スヘシ

第四十五條 授業料ハ一學年本科生ハ金八拾圓、選科生ハ金五拾五圓トス研究生ニハ授業料ヲ徴收セス

第四十六條 授業料ハ一學年ヲ左ノ三期ニ分チ每期ノ始ニ於テ之ヲ徴收ス

本科生 選科生

第一期 自四月至八月 金參拾貳圓 金貳拾參圓

第二期 自九月至十二月 金貳拾八圓 金貳拾圓

第三期 自一月至三月 金貳拾圓 金拾貳圓

第四十七條 研究生及選科生ニハ實驗實習ニ要スル費用ノ全部若ハ一部ヲ徴收スルコトアルヘシ

第四十八條 入學檢定料、授業料及實驗實習費ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖之ヲ返付セス

第四十九條 本科學生中卒業後實業學校ノ教職ニ從事セントスル志望確實ナル者ニハ授業料ヲ免除スルコトアルヘシ

前項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ實業學校教員養成規程ニ依リ卒業後實業學校ノ教職ニ從事スル義務アルモノトス

第四十九條ノ二 學生中學資ノ支辨極メテ困難ナリト認ムル者ニハ家庭ノ事情及性行、學業成績等ヲ調査ノ上授業料ヲ減免スルコトアルヘシ

前項授業料ノ減免ハ毎學年ノ始ニ於テ之ヲ定ム但シ學年ノ中途ニ於テ之ヲ定メタルトキハ次ノ徵收期分ヨリ減免ス

第四十九條ノ三 前條ニ依リ授業料ノ減免ヲ受クル者ニシテ其ノ事情止ミタリト認メタル場合又ハ學業ヲ怠リ若ハ校則ニ悖ル行爲アリタル場合ハ其ノ翌月ヨリ授業料ヲ徵收ス授業料ノ月割額ハ一學年分ノ十分ノ一トス

第五十條 停學ヲ命シ若ハ休學ヲ許可シタル者ニハ次期ヨリ授業料ヲ徵收セス各學期始業日以後授業料徵收期日以前ニ停學休學又ハ退學シタルトキハ其ノ期ノ授業料ハ一學年分ノ十分ノ一トシ指定ノ日ニ於テ之ヲ徵收ス

第五十一條 休學又ハ停學ヲ解除セラレタル者若ハ特待生タルコトヲ罷メラレタル者ニハ其ノ期ヨリ授業料ヲ徵收ス

第五十二條 授業料ハ定日マテニ納付スヘシ但シ定日以後ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ入學許可ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ納付スヘキモノトス

第五十三條 授業料ヲ定日ニ納付セサルトキハ之ヲ催告シ尙納付ヲ怠ル場合ハ出席ヲ停止ス

第十章 寄宿舎

第五十四條 寄宿舎ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム

附則

第四十五條及第四十六條ハ昭和四年度入學者ヨリ之ヲ適用シ其ノ以前ノ入學者ニ對シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

第四十九條ノ二及第四十九條ノ三ハ昭和七年六月一日ヨリ之ヲ施行ス
第一號書式

入學願書

志望學科 第一 何學科
第二 何學科

試験檢定 (又ハ無試験檢定)

受験希望場所 何地 (但シ試験場所ヲ二箇所以上トシ廣告シタル場合)

私儀今般御校前記ノ學科ニ入學志望ニ付御許可相成度入學檢定料相添へ此段相願候也

本籍

規則

五二

年月日

住所(受信ノ場所)

氏名 (印) (氏名ニ片假名ヲ附スヘシ)

年月日生

三重高等農林學校長氏名殿

履歷書(同一紙裏面ヨリ始ム)

學業

- 一、何年何月ヨリ何學校ニ入學、何年何月何學校卒業又ハ何年何月ヨリ何年何月マテ何某ニ就キ何學修業
- 一、何年何月何日何學校ニ於テ專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定合格證明書ヲ受ク等

職業

- 一、何年何月何官職拜命又ハ何業ニ從事、何年何月退官、廢業又ハ現今何官在職、何業從事等
- 兵役

第二號書式

學業成績書

- 一、何年何月何隊入營、何年何月滿期歸休、除隊又ハ補充國民軍編入等
- 賞罰
- 一、何年何月何所ニ於テ何々ノ賞罰ヲ受ク等

氏名

右者本校在學中三年間ノ學業成績左記ノ通ニ候也

年 月 日 學校長 氏 名 (印)

三重高等農林學校長氏名殿

學科目	學年	第 學年	第 學年	最 終 學 年
何	々			
何	々			
何	々			

規則

五三

平均點數				
席次	人中	人中	人中	人中
修了年次	昭和	昭和	昭和	昭和
年次	年	年	年	年
番	番	番	番	番

注意 本書ハ當該學校長ヨリ直接本校々長ニ差出スモノトス

第三號書式

誓書

私儀今般御校へ入學許可相成候ニ付テハ校規命令及訓育ノ御趣旨ヲ遵守シ專心學業ヲ勉勵可致候仍テ保證人連署ヲ以テ誓書如此候也

本籍

住所

族籍 戶主又ハ何某何男若ハ弟等

氏

名印

年月日

年月日生

本籍

住所

族籍 職業 本人トノ關係

右保證人 氏

名印

年月日生

三重高等農林學校長氏名殿

二、三重高等農林學校農村工業實科規程

(昭和十三年四月七日制定)

第一條 農村工業實科ハ農村工業ニ關スル實務ニ從事セントスル者又ハ其ノ指導者
タラントスル者ニ必要ナル知識技能ヲ授ケ併セテ農村振興ニ關スル信念ヲ涵養ス
ルヲ以テ目的トス

第二條 修業年限ハ一年トス

第三條 學科目及每週授業時數左ノ如シ但シ必要アル場合ニ於テハ各學科目ノ每週
授業時數ヲ増減スルコトアルヘシ

規則

五五

學科目	授業時間		
	第一學期	第二學期	第三學期
修身及公民科	一	一	一
體操	二	二	二
農村工業論	二	一	一
應用物理	四	三	
製造化學	四	三	
貯藏	四	二	
原料及工藝材料	二		
農林產加工	五	五	四
農林產製造	六	六	八
畜產及水產加工	一	三	五
農產工藝	三	四	四
木竹工藝	三	三	二

金屬工藝	二	三	四
雜工藝			四
農村工業機械	三	四	四
意匠及圖案			三
商品及賣買		二	四
產業組合及法規	二	二	二
計	四四	四四	四四

備考 一、本表ノ每週授業時數ハ講義及實習實驗ノ時數トス
 二、體操ノ中教練ハ昭和十二年文部省訓令第二十六號學校教練教授要目中專門學校程度ノ學校ニ準シ之ヲ行フモノトス

第四條 入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正、身體強健、志操堅實ニシテ左ニ該當シ且入學檢定(試問、身體檢査)ニ合格シタル者タルヘシ

一、實業學校
但シ國民學校初等科修了程度ヲ以テ入學資格トスルモノニ在リテハ修業年限五年、國民學校高等科修了程度ヲ以テ入學資格トスルモノニ在リテハ修業年限四年又ハ之ト同等以上ノ學校ニ在リテハ修業年限四年又ハ之ト同等以上ノ學校
 卒業後又ハ之ト同等以上ノ素養アリト認めタル者

第五條 入學志願者ハ入學願書、履歷書、卒業證明書又ハ卒業見込證明書(卒業シタル場合ニ業證明書ヲ差出スラ要ス)及寫眞(入學願出前六箇月以内ニ撮影シタル脱帽半身手札形)ニ入學檢定料(參圓)ヲ添へ學校長ニ差出スヘシ

前項ノ外入學志願者ハ別ニ學業成績書、性行調書及身體檢查書ヲ當該學校長ヲ經テ差出スヘシ

第六條 所定ノ課程ヲ修了シタル者ニハ修業證書ヲ授與ス

第七條 所定ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選修セントスル者ハ詮議ノ上選修生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第八條 授業料ハ一箇年金四拾圓トシ第一期(自四月至八月)拾六圓、第二期(自九月至十二月)拾四圓、第三期(自一月至三月)拾圓ニ分チ每期ノ始ニ於テ之ヲ徵收ス

選修生ノ授業料ハ一箇年金貳拾五圓トシ前項ノ三期ニ拾圓、九圓、六圓ニ分チ每期ノ始ニ於テ之ヲ徵收ス

第九條 所定ノ課程ヲ修了シタル者ニシテ既修ノ事項ニ關シ更ニ研究セントスル者ハ在學ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ノ者ハ授業料ノ納付ヲ要セス但シ實驗實習ニ要スル費用ノ全部若ハ一部ヲ徵收スルコトアルヘシ

第十條 本規程ニ特別ノ定メナキモノハ總テ三重高等農林學校規則ヲ準用ス

附 則

本規程ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第五 細則

一、事務規程 (大正十一年四月二十日制定)

第一章 總則

- 第一條 校務ヲ掌理スル爲本校ニ庶務課、會計課、教務課、學生課、圖書館、農林博物館、農學科、農業土木學科、林學科、農村工業實科、農場、植物園及演習林ヲ置ク
- 第二條 各課、各館、農場、植物園及演習林ニ長ヲ置キ各科ニ主事ヲ置ク
- 第三條 課長及館長ハ教官又ハ書記ノ中ヨリ學校長之ヲ命シ主事、農場長、植物園長及演習林長ハ教官ノ中ヨリ學校長之ヲ命ス
- 第四條 校務ハ總テ學校長ノ決裁ヲ經ルニアラサレハ施行スルコトヲ得ス但シ事ノ輕易ニシテ先例アルモノハ各主管者ニ於テ之ヲ專行スルコトヲ得
- 第五條 各主管者ハ學校長ノ命ヲ受ケ所管ノ事務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス
- 第六條 所屬職員ハ主管者ノ指揮ヲ受ケ其ノ事務ニ從事ス
- 第七條 各主管者事故アリテ執務スルコト能ハサルトキハ所屬首席者其ノ事務ヲ代

理ス但シ時宜ニ依リ特ニ代理ヲ命スルコトアルヘシ

第八條 分掌セル校務ノ相關聯スルモノハ之ヲ合議スヘシ事務ノ所屬不明ナルモノアルトキハ學校長ノ指定ヲ受ケ之ヲ處理スヘシ

第二章 分掌

第九條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、御眞影及勅語謄本ニ關スル事項
- 二、學校長ノ官印及學校印ノ保管ニ關スル事項
- 三、公文書類ノ接受發送及其ノ整理保管ニ關スル事項
- 四、庶務課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理保管ニ關スル事項
- 五、儀式ニ關スル事項
- 六、官吏及雇員等ノ進退、賞罰及身分ニ關スル事項
- 七、紋位及紋勳ニ關スル事項
- 八、規則ノ制定、改廢及命令傳達ニ關スル事項
- 九、學校一覽及記錄編纂ニ關スル事項

- 一、統計報告ニ關スル事項
- 二、法律命令ノ加除訂正ニ關スル事項
- 三、名簿、履歷書及出勤簿ニ關スル事項
- 三、會議ニ關スル事項
- 四、宿直ニ關スル事項
- 五、庶務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
- 六、他ノ主管ニ屬セサル一切ノ事項

第十條 會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、歳入歳出豫算及決算ニ關スル事項
- 二、物品ノ出納及保管ニ關スル事項
- 三、金錢ノ出納及保管ニ關スル事項
- 四、官有財産及資金ノ監理ニ關スル事項
- 五、建物及校地ノ使用營繕ニ關スル事項
- 六、物品購入及不用品處分ニ關スル事項

- 七、備人ノ進退、賞罰及取締ニ關スル事項
- 八、校舍内外ノ洒掃ニ關スル事項
- 九、建物及校地ノ警備取締ニ關スル事項
- 一〇、電燈、電話、瓦斯、給水及煖房ニ關スル事項
- 二、會計課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理保管ニ關スル事項
- 三、會計課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
- 三、其ノ他會計ニ關スル一切ノ事項

第十一條 教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、教室、講堂、教具、教材ノ設備及整理保管ニ關スル事項
- 二、教授事項ノ分擔及日課ノ配當ニ關スル事項
- 三、授業及休業ニ關スル事項
- 四、學生募集並ニ入學檢定ニ關スル事項
- 五、學生ノ入學、退學、休學及學籍ニ關スル事項
- 六、成績考查、進級及卒業ニ關スル事項

- 七、 教官會議ニ關スル事項
 - 八、 修學旅行ニ關スル事項
 - 九、 學事報告ニ關スル事項
 - 一〇、 教務課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項
 - 一一、 教務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
 - 一二、 參觀人ニ關スル事項
 - 一三、 其ノ他教務ニ關スル一切ノ事項
- 第十二條 學生課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、 學生ノ訓育並ニ賞罰ニ關スル事項
 - 二、 學生ノ風紀取締ニ關スル事項
 - 三、 學生ノ衛生及身體檢查ニ關スル事項
 - 四、 學生ノ集會及印刷物ニ關スル事項
 - 五、 學生ノ願届ニ關スル事項
 - 六、 學生ノ兵役ニ關スル事項

- 七、 學生ノ入退舍、外泊、通學、入院、歸省及旅行ニ關スル事項
 - 八、 寄宿舍ノ取締及管理ニ關スル事項
 - 九、 寄宿舍ノ炊事及出入商人ニ關スル事項
 - 一〇、 非常事變ニ關スル事項
 - 一一、 學生課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項
 - 一二、 學生課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
 - 一三、 其ノ他學生取締ニ關スル一切ノ事項
- 第十三條 圖書館ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、 圖書ノ出納、整理及保管ニ關スル事項
 - 二、 圖書ノ貸付ニ關スル事項
 - 三、 書庫及閱覽室ニ關スル事項
 - 四、 官報、新聞、雜誌、年報、一覽等ノ整理保存ニ關スル事項
 - 五、 圖書館ニ關スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
 - 六、 圖書館ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項

七、圖書ノ調査ニ關スル事項

八、其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項

第十四條 農林博物館ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、標本模型類ノ出納陳列及保管ニ關スル事項

二、標本模型類ノ觀覽ニ關スル事項

三、標本模型類ノ蒐集ニ關スル事項

四、博物館ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項

五、博物館ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項

六、其ノ他標本模型類ニ關スル一切ノ事項

第十五條 農學科、農業土木學科、林學科及農村工業實科ニ於テハ各左ノ事項ヲ管掌ス

一、當該學科ニ屬スル學科目ノ教授ニ關スル事項

二、前號ニ伴フ建物、試驗地及物品ノ整理保管ニ關スル事項

三、教授要旨及教授細目ノ編纂整理ニ關スル事項

四、教授分擔ニ關スル事項

五、事業功程ニ關スル事項

六、林學科ニ於テハ林學實習場ニ關スル事項

七、其ノ他當該學科ニ關スル事項

第十六條 農場ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、農場ノ經營管理ニ關スル事項

二、農事實驗實習ニ關スル事項

三、養蠶實習ニ關スル事項

四、家畜飼育管理ニ關スル事項

五、農產製造及畜產製造實習ニ關スル事項

六、生産物處分ニ關スル事項

七、所屬建物、物品ノ整理保管ニ關スル事項

八、其ノ他農場ニ關スル事項

第十七條 植物園ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、植物見本園、竝構内庭園ノ手入及清潔整頓其ノ他經營管理ニ關スル事項

- 二、植物ノ蒐集栽植ニ關スル事項
 - 三、生産物處分ニ關スル事項
 - 四、其ノ他植物園ニ關スル一切ノ事項
- 第十八條 演習林ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、演習林ノ經營管理ニ關スル事項
 - 二、森林演習ニ關スル事項
 - 三、生産物處分ニ關スル事項
 - 四、所屬建物、物品ノ整理保管ニ關スル事項
 - 五、其ノ他演習林ニ關スル事項

二、物品會計細則 (大正十二年四月二十一日制定)

第一條 本校物品會計ハ物品會計規則及文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ本則ニ據リ處理スヘシ

第二條 物品ノ種別ハ左ノ項目ニ從ヒ之ヲ區分スヘシ

- 備品
 - 通常備品 〔共用〕
 - 學術用備品 〔器具、標本、機械具〕
 - 動物
 - 圖書

- 消耗品
 - 通常消耗品
 - 實驗用消耗品 〔藥品、材料、肥料、雜品、飼料、肥料、種苗〕

第三條 備品ニハ品名、番號及校名ヲ記載シタル標札ヲ附スヘシ之ヲ各部局ニ支給スル場合ハ更ニ其ノ部局名ヲ記入スルモノトス但シ之ヲ附スルコト能ハサル物品ニ付テハ適當ノ方法ニ依リ整理スヘシ

第四條 各部局ニ於テ物品ノ支給ヲ受ケントスルトキハ其ノ品名、數量及需要ノ事由

等ヲ記載セル請求書ヲ會計課ニ差出スヘシ但シ註文上仕様書及圖解等ヲ要スルモノハ之ヲ添附スヘシ

第五條 會計課ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ物品ノ在庫品ナルトキハ學校長ノ許可ヲ經テ直ニ支給ノ手續ヲ爲シ之ヲ當該物品監守者又ハ物品取扱主任ニ交付シ新ニ購入ヲ要スルモノハ價格ヲ記シ學校長ノ許可ヲ經テ購入及支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 通常所要ノ物品ハ會計課ニ於テ一箇年ノ所要高ヲ豫定シ學校長ノ許可ヲ經テ一回若ハ數回ニ取纏メ購入ノ手續ヲ爲シ之ヲ倉庫ニ藏置シ各部局ノ請求ニ應シテ支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 各部局ニ於ケル實驗實習上生産シタル物品ハ當該物品取扱主任ニ於テ其ノ品名、數量、評價及引繼年月日ヲ記載シ之ヲ物品會計官吏ニ引繼クヘシ

第八條 前條生産物又ハ保管轉換若ハ寄贈ニ係ル物品ハ物品會計官吏ニ於テ其ノ品名、數量及價格若ハ評價ヲ附シ學校長ノ許可ヲ經テ藏置、賣却又ハ支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條 各部局ノ備品ニ付物品監守者、消耗品ニ付物品取扱主任一名若ハ數名ヲ置ク其ノ監守區域及取扱物品ノ種目ハ別ニ之ヲ定ム

物品監守者及物品取扱主任ハ各自物品ノ使用又ハ取扱ニ關シ其ノ責ニ任スヘシ
第十條 職員執務用机、椅子類及被服類ハ専用備品トシ專用者各自之ヲ監守シ其ノ責ニ任スヘシ

第十一條 職員及傭人ノ新任轉免ノ際ハ會計課ハ其ノ都度専用備品ノ支給、返付ノ事ニ當ルヘシ

第十二條 物品監守者又ハ物品取扱主任物品ノ支給ヲ受ケタルトキハ直ニ備品ハ監守簿ニ、消耗品ハ受拂簿ニ記帳シ現物ト對照ノ上所定ノ用紙ニ領收ノ印ヲ捺捺シ遲滞ナク物品會計官吏ニ返付スヘシ但シ備品ニ在リテハ監守簿ニ物品備付ノ場所ヲ摘記シ其ノ所在ヲ明ニシ消耗品ニ在リテハ其ノ受拂殘高ヲ明確ニスヘシ

第十三條 物品監守者變更シタルトキハ新舊監守者及會計課員立會ノ上現品ト關係書類トヲ照合シ引繼ヲ爲スヘシ引繼了シタルトキハ新舊監守者連署シ其ノ旨物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ報告スヘシ

第十四條 物品監守者間ニ於テ物品監守換ノ必要ヲ生シタルトキハ其ノ旨會計課ニ通知シ制規ノ手續ヲ經テ現品ノ受授ヲ爲スヘシ

第十五條 物品監守者監守中ノ物品ニシテ自然ニ毀損シ修理ヲ要スルモノアルトキハ所定ノ請求書ヲ添ヘ會計課ニ差出スヘシ
會計課ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ學校長ノ許可ヲ經テ修理ノ手續ヲ爲スヘシ

第十六條 物品監守者監守中ノ物品不用トナリ又ハ毀損シ修理ヲ加フルモ使用ノ見込ナキモノアルトキハ其ノ旨所定ノ物品返付用紙ニ記載シ現品ト共ニ會計課ニ差出シ物品會計官吏ノ受領證ヲ受ケ物品監守簿ニ其ノ事由、年月日ヲ記載シ之ヲ抹消シ置クヘシ

第十七條 監守物品ノ標札ノ汚損若ハ紛失シタルモノアルトキハ物品監守者ハ直ニ會計課ニ通告シ更ニ標札ノ貼付ヲ受クヘシ

第十八條 監守物品ニシテ紛失シタルモノアルトキハ物品監守者ハ其ノ品名、數量、番號等ヲ取調ヘ其ノ實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作り物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ申

報スヘシ

第十九條 不用ニ歸シタル物品又ハ毀損ノ物品ニシテ修理使用ノ見込ナキモノアルトキハ物品會計官吏ニ於テ處分案ヲ具シ學校長ノ決裁ヲ受クヘシ

第二十條 使用中ノ物品ハ物品會計官吏左ノ各項ニ依リ之ヲ監督スヘシ

一、 備品ハ毎年一回以上物品出納簿ト各部局物品監守簿トヲ照合シ更ニ監守簿ト現品トヲ照査スルコト

二、 消耗品ハ每學期一回以上物品出納簿ト消耗品受拂簿トヲ照合シ更ニ受拂簿ト現在品トヲ照査スルコト

三、 前項ノ調査ニ於テ物品ノ亡失、毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品ノ使用上ニ付意見アルトキハ學校長ニ申報シ其ノ決裁ヲ受クヘシ

第二十一條 物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

一、 備品出納及支給簿、

本簿ニハ圖書以外ノ備品ヲ第二條ノ物品種別ニ從ヒ各冊ニ別チ種別順、品目毎ニ

細則

細別シ口座ヲ設ケ品名、數量、價格、番號、年月日、納人等ヲ登記シ供用、在庫ノ現數並物品ノ出納ヲ明ニスヘシ

貴重物品ニ付テハ其ノ製作番號又ハ現品タルヲ知ルニ足ル事項ヲ關係書ニ記入スヘシ

二、圖書出納簿

本簿ニハ圖書ノ部門別ニ從ヒ圖書名、部數、冊數、價格、番號、納人等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ

三、消耗品出納簿

本簿ニハ通常消耗品ニ在リテハ帳簿、用紙類、筆墨、印肉類、郵便切手類、印刷物類、薪炭、油類、雜品類、雜用品類、實驗用消耗品ニ在リテハ實驗材料及雜品類、藥品類、肥料類、飼料類、種苗類等ニ區別シ品名、數量、價格、年月日、納人等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ但シ通常消耗品ニ在リテハ品目毎ニ細別シ口座ヲ設ケ登記スヘシ

四、生産品出納簿

本簿ニハ實驗實習ニ依ル生産品又ハ製造品ノ品名、數量、價格、年月日等ヲ登記シ其

ノ出納ヲ明ニスヘシ

五、專用備品支給簿

本簿ニハ職員又ハ傭人ニ支給スル專用備品ノ品名、數量、番號、價格、年月日等ヲ登記シ物品會計官吏ト其ノ支給ヲ受クルモノトノ受授ヲ明ニスヘシ

第二十二條 各部局物品監守者又ハ物品取扱主任ニ於テハ物品ノ出納監守ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

一、備品監守簿

本簿ニハ圖書以外ノ監守物品ノ品名、數量、番號、價格、年月日等ヲ登記シ監守物品ノ現況ヲ知ルト共ニ現品ノ照査ニ便ナラシムヘシ

二、圖書監守簿

本簿ニハ部門毎ニ口座ヲ設ケ圖書名、部數、冊數、價格、年月日等ヲ登記シ圖書ノ現況ヲ知ルト共ニ現品ノ照査ニ便ナラシムヘシ

三、消耗品受拂簿

本簿ニハ郵便切手類以外ノ消耗品ヲ消耗品出納簿ノ順序ニ基キ品目毎ニ口座ヲ

設ク數量及受拂ノ年月日ヲ登記シ受拂者ノ證印ヲ押捺セシムヘシ
四、郵便切手類受拂簿

本簿ハ庶務課ニ之ヲ備ヘ種別毎ニ口座ヲ設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ登記シ當該
物品取扱主任ハ常ニ帳簿ノ殘高ト現品トヲ照查スヘシ

第二十三條 本校ニ物品檢閲委員ヲ置キ定期臨時ノ二種ニ分チ毎年一回以上實地ニ
就キ左ノ各項ヲ檢査セシム但シ定期檢閲ハ八月トシ臨時檢閲ハ臨時必要アリト認
メタル場合ニ於テ之ヲ執行ス

一、物品保管ノ適否

二、備品使用ノ適否

三、消耗品消費ノ適否

四、物品缺損ノ有無

五、帳簿ト現品トノ對照

第二十四條 物品檢閲委員ハ委員長一名、委員若干名トシ職員中ヨリ學校長之ヲ命ス

第二十五條 物品檢閲ハ在庫品ニ在リテハ物品會計官吏、使用中ノ物品ニ在リテハ物

品監守者、消耗品ニ在リテハ物品取扱主任ニ就キ其ノ保管ニ屬スル物品ノ全部ヲ精
細ニ檢査スヘシ

前項ノ檢閲ヲ受クル者ハ實地ニ就キ檢閲委員ノ質問ニ對シ答辯スヘシ

第二十六條 物品檢閲委員檢査ヲ了シタルトキハ帳簿ニ其ノ年月日ヲ記シ署名スヘ
シ

第二十七條 物品檢閲上物品ニ缺損アリタルトキハ檢閲委員ニ於テ當該責任者ヨリ
補填ノ方法及期限ヲ明記シタル始末書ヲ徴スヘシ

第二十八條 物品檢閲委員其ノ檢閲ヲ了シタルトキハ檢閲ノ顛末ニ意見ヲ具シ關係
書類ヲ添ヘ十五日以内ニ委員長ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ

第二十九條 本則ニ據ル諸帳簿並諸表ハ別紙様式ニ依リ調製スヘシ

備品監守區域及消耗品取扱種目表

部 局 名	備 品 監 守 區 域	消耗品取扱種目
庶務課	校長室、講堂、貴賓室、會議室、應接室、奉安殿、庶務課室	郵便切手及端書
教務課	普通教室、教官室、教務課室	通常消耗品中教授用ノモノ
會計課	會計課室及他ノ部局ニ屬セサル箇所	通常消耗品
學生課	寄宿舎、學生集會所、消防器具置場、銃器室、武道場、學生控所、學生課室、弓道場、更衣室	
圖書館	圖書館、書庫	
農林博物館	博物館	
植物學實驗室	植物及植物病理實驗室、培養基製造室、定溫器室、細菌室、博物教室、硝子室	實驗用消耗品
動物學實驗室	動物研究室、昆蟲研究室、顯微鏡寫真室、顯微鏡實驗室、昆蟲學實驗室、昆蟲飼育室	同
物理學實驗室	物理實驗室、物理器具機械室、電池室、教官室、物理教室、氣象觀測所、發電機室	同
化學實驗室	分析室、天秤室、化學器具機械室、試藥室、教官室、化學教室、藥品庫、瓦斯發生室、蒸餾室、農産製造室、農産加工室、有毒瓦斯處理室	同
養蠶學實驗室	養蠶室、蠶種貯藏庫、乾燥室	同
園藝學實驗室	園藝研究室、果樹園	同

實驗農場園藝實習場	溫室、熱帶植物溫室、固定溫床、土壤作業室、蔬菜室、花卉園、蔬菜園	實驗用消耗品
畜産學實驗室	畜産實驗室、家畜家禽舎、飼料室、煙煙室、酪農室、秤場、孵卵器室	同
作物實驗室	作物實驗室、作物栽培實驗室	同
農政研究室	農政研究室	
農業土木學科	農業水利研究室、機械研究室、應用力學研究室、材料實驗室、機械實驗室、農業土木測量機械室、農業土木學科製圖室、農業工學實驗室	實驗用消耗品
林 學 科	森林理水及砂防工研究室、森林利用研究室、造林及經理研究室、林政研究室、林學實驗室、林學測量機械室、林學製圖室、林産製造室、演習林	同
農村工業實科	實科事務室及同教室	同
實 驗 農 場	農場管理室及實習室、作業室、收納室、穀物庫、農業器具機械室、堆肥舎、物置、藁置場、簡易堆肥及水肥舎、煙蒸室、農夫詰所、ポンプ室	同 通常消耗品中事務用ノモノ
農業機械製作室	農業機械製作室	實驗用消耗品

三、圖書館規程 (大正十三年十二月十七日制定)

總 則

第一條 本校圖書館ハ本校ノ圖書ヲ保管シ本校職員及學生ノ閱覽又ハ貸付ニ供ス

第二條 圖書ヲ分チテ普通圖書及特別圖書ノ二種トス

第三條 本校卒業者、官廳學校職員、公私團體ノ役員又ハ個人ニシテ學校長ノ許可ヲ經タルモノハ圖書ヲ閱覽シ又ハ之ヲ借受クルコトヲ得

第四條 本館員ノ外圖書ノ出納ヲ爲スコトヲ得ス
圖書 閱覽

第五條 閱覽室ハ休業日ヲ除ク外毎日之ヲ開ク但シ開閉ノ時限ハ變更ノ都度之ヲ揭示ス

第六條 學生閱覽室ニ入ラントスルトキハ圖書閱覽票ヲ館員ニ渡シ置キ退場ノ際之ヲ受取ルヘシ

第七條 圖書ヲ借覽セントスル者ハ所定ノ圖書閱覽傳票用紙ニ相當事項ヲ記入シ館員ニ差出シ、圖書ヲ借受ケ閱覽了ラハ直ニ之ヲ返納スヘシ但シ閱覽冊數ハ一時二三冊ヲ超ユルヲ得ス

第八條 圖書ハ必ス閱覽室ニ於テ閱覽スヘシ、閱覽室備付ノ圖書及雜誌類ハ定メタル席ニ於テ閱覽シ、閱覽了ラハ直ニ所定ノ位置ニ納メ置クヘシ

第九條 閱覽室ニ在リテハ靜肅ヲ旨トシ音讀、談話、喫煙等ヲ爲スヘカラス

第十條 閱覽室ニハ圖書、文房具ノ外他ノ物品ヲ携帯スルコトヲ得ス

第十一條 圖書閱覽票ハ他ニ轉貸スルコトヲ許サス

圖書 貸付

第十二條 圖書ヲ借受ケントスル者ハ所定ノ圖書借受證用紙ニ相當事項ヲ記入シ捺印ノ上館員ニ差出スヘシ

第十三條 圖書借受ノ冊數ハ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス但シ學校長若ハ當該學科主任教官ノ證明ニ依リ圖書館長ノ承諾ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

教官 五冊 其ノ他 二冊

第十四條 教授上又ハ事務上必要アルトキハ前條ノ外圖書ヲ借受ケ研究室又ハ事務室ニ之ヲ備付クルコトヲ得此ノ場合ニハ當該學科主任教官又ハ課長其ノ保管ノ責ニ任スルモノトス

第十五條 圖書館ニ所藏スル教科書ニ就キテハ每學年ノ始メ當該教官ニ於テ豫メ冊數ヲ取纏メ借受ノ申出アルトキハ之ヲ貸付スルコトアルヘシ但シ當該教官其ノ保管ノ責ニ任スルモノトス

第十六條 特別圖書及普通圖書ノ中辭書、諸學科ニ通スル參考書及閱覽室備付ノ圖書ハ之ヲ貸出スコトヲ得ス但シ學校長ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 新着ノ圖書雜誌等ハ受入後一週間ハ之ヲ貸付セス

第十八條 凡テ借受ケタル圖書ハ他ニ轉貸スルコトヲ許サス但シ第十四條ニ依ル圖書ハ第十二條ノ手續ヲ準用シテ他ニ貸付スルコトヲ得

第十九條 學生ニシテ圖書ヲ借受ケタルモノハ十日以内ニ之ヲ返納スヘシ若シ引續キ借受ノ必要アルトキハ更ニ第十二條ノ手續ニ依ルヘシ但シ第十五條ニ依リ借受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十三條ニ依リ職員ノ借受ケタルモノ及第三條ニ依リ借受ケタルモノノ借受期間ハ一箇月以内トス

第二十條 凡テ借受ケタル圖書ハ夏季及冬季休業前又ハ每學年ノ終ニ於テ指定ノ期日マテニ悉皆返納スヘシ但シ第十四條ニ依ルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 夏季及冬季休業中圖書ヲ借受ケントスル者アルトキハ職員ハ圖書館長學生ハ圖書館長及當該學科教官ノ許可ヲ得タルモノニ限り之ヲ貸付クルコトヲ得

但シ該圖書ハ夏季ニ於テハ九月十五日マテニ、冬季ニ於テハ一月十五日マテニ返納スヘシ

第二十二條 貸付シタル圖書ハ第十三條、第十四條及第十五條ノ孰レニ依ルモノタルヲ問ハス臨時返納セシメ之ヲ點檢スルコトアルヘシ但シ第十四條ニ依ル圖書ニ就キテハ時宜ニ依リ本館員出張ノ上點檢スルコトヲ得

第二十三條 職員退職、轉任ノ場合、學生卒業、退學、休學等ノ場合ハ其ノ借受ケタル圖書ヲ直ニ返納スヘシ

圖書檢索

第二十四條 各部長及教官公務上必要アルトキハ圖書館員ノ承諾ヲ得テ書庫内ニ入り圖書ノ檢索ヲ爲スコトヲ得

第二十五條 圖書ヲ檢索スル者ハ圖書ノ位置ヲ錯亂セサルハ勿論出納者ニ障礙ヲ及ホササル様注意スヘシ

制 裁

第二十六條 借受ケタル圖書ハ借受者其ノ保存ノ責ニ任シ若シ紛失、汚損等ノ行爲ア

ルトキハ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシメ又ハ之ヲ修補セシム但シ時宜ニヨリ相當ノ代價ヲ以テ辨償セシムルコトアルヘシ

第二十七條 本則ニ違背シタルモノ其ノ他本館員ニ於テ必要アリト認ムルモノアルトキハ一定ノ期間又ハ無期限ニ圖書ノ閱覽及貸付ヲ禁スルコトアルヘシ

第二十八條 圖書ヲ辨償セシメ又ハ閱覽貸付ヲ禁スヘキモノアリト認ムルトキハ圖書館長ハ豫メ意見ヲ具シ學校長ニ稟申スヘシ

四、農林博物館規程

(昭和十一年六月十三日制定)

第一條 本校農林博物館ハ農林ニ關スル各種ノ標本模型類ヲ陳列保管シ本校教授資
料ト爲スト共ニ職員及學生ノ研究ニ資シ併セテ一般公衆ノ觀覽ニ供ス

第二條 標本模型類ハ之ヲ農業、農業土木、林業、農山村副業、滿蒙及其ノ他ノ數部ニ分チ更ニ之ヲ類別シ整理陳列ス

第三條 標本模型類ノ蒐集、出納、陳列其ノ他必要ナル事項ニ關シテハ館長ハ部類別ニ

從ヒ關係教官ト合議ノ上之カ處理ヲ爲スモノトス

前項合議ヲ爲スヘキ關係教官ハ學校長之ヲ指定ス

第四條 本館ハ休業日ヲ除ク外毎日之ヲ開ク但シ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在
ラス

本館開閉ノ時限ハ之ヲ揭示ス

第五條 本校ノ職員及學生以外ノ者ニシテ入館セントスルトキハ館員ノ許可ヲ受ク
ヘシ

第六條 觀覽者ハ館員ノ承諾ヲ得スシテ陳列品ニ觸ルコトヲ許サス

第七條 陳列品ハ之ヲ館外ニ持出スコトヲ得ス但シ教官ニシテ教授上又ハ研究上必
要アル場合ハ館長ノ許可ヲ得テ一週間ヲ限り持出スコトヲ得
前項持出品ニ就テハ當該教官之カ保管ノ責ニ任スルモノトス

第八條 觀覽者ニシテ陳列品ノ模寫、模造又ハ撮影等ヲ爲サムトスルトキハ館員ノ許
可ヲ受クヘシ

第九條 觀覽者ハ館内ニ於テ喫煙ヲ爲スヘカラス

第十條 觀覽者陳列品又ハ器物ヲ毀損シタルトキハ相當ノ辨償ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第十一條 館員ニ於テ必要アリト認ムル場合ハ觀覽者ニ退場ヲ命シ又ハ其ノ携帶品ヲ檢閲スルコトアルヘシ

五、農場規程 (昭和六年六月二十六日制定)

第一條 場務ヲ處理スル爲農場ニ左ノ九部ヲ置ク

- 一、總務部
- 二、作物部
- 三、園藝部
- 四、栽桑部
- 五、養蠶部
- 六、畜産部

七、農産製造部

八、林産製造部

九、森林苗圃部

第二條 各部ニ主任ヲ置キ教官ノ中ヨリ學校長之ヲ命ス
主任ハ農場長ノ指示ニ依リ部務ヲ處理ス

第三條 各部ニ於テ處理スヘキ事務凡ソ左ノ如シ但シ事務ニシテ二部以上ニ關聯スルモノニ就テハ關係各部ハ總務部ヲ經協議ノ上之ヲ處理スルモノトス

一、總務部

- (一) 農場ノ一般的經營管理ニ關スル事項
- (二) 生産物處分ニ關スル事項
- (三) 肥料及通常消耗品ノ購入、配給ニ關スル事項
- (四) 傭人ニ關スル事項
- (五) 各種事業ニ對スル經濟調査ニ關スル事項
- (六) 氣象觀測ニ關スル事項

- (七) 農場主任會議ニ關スル事項
- (八) 公文書類ノ審議立案及整理保管ニ關スル事項
- (九) 他部ニ屬セサル土地建物物品ノ整理保管ニ關スル事項

二、作物部

- (一) 普通作物及特用作物ニ關スル事項
- (二) 専用器具機械共用農具及動力ニ關スル事項
- (三) 灌溉排水ニ關スル事項
- (四) 關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

三、園藝部

- (一) 園藝ニ關スル事項
- (二) 園藝生産物加工ニ關スル事項
- (三) 専用器具機械ニ關スル事項
- (四) 關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

四、栽桑部

- (一) 栽桑ニ關スル事項
- (二) 専用器具機械ニ關スル事項
- (三) 關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

五、養蠶部

- (一) 養蠶ニ關スル事項
- (二) 養蠶生産物加工ニ關スル事項
- (三) 専用器具機械ニ關スル事項
- (四) 關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

六、畜産部

- (一) 家畜家禽ニ關スル事項
- (二) 畜産物加工ニ關スル事項
- (三) 飼料作物ニ關スル事項
- (四) 厩肥ノ製造ニ關スル事項

- (五) 専用器具機械ニ關スル事項
- (六) 關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項
- 七、 農産製造部
 - (一) 農産製造ニ關スル事項
 - (二) 専用器具機械ニ關スル事項
 - (三) 關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項
- 八、 林産製造部
 - (一) 林産製造ニ關スル事項
 - (二) 専用器具機械ニ關スル事項
 - (三) 關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項
- 九、 森林苗圃部
 - (一) 森林苗圃ニ關スル事項
 - (二) 専用器具機械ニ關スル事項

(三) 關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

第四條 各部ハ左ノ事項ニ關スル書類ヲ總務部ニ提出スヘシ

- 一、 毎年度學生實驗實習計畫
 - 二、 毎年度事業計畫及經費豫算
 - 三、 前年度事業成績
 - 四、 各學期學生實驗實習成績
 - 五、 物品ヲ購入シタルトキハ其ノ品目數量及價格
 - 六、 其ノ他總務部ニ於テ必要ト認ムル事項
- 前項中第一號乃至第四號ニ就テハ總務部ニ於テ各總括編成ノ上農場長ニ提出シ農場長ハ之ヲ農場主任會議ノ議ニ附スヘシ
- 前項中第一號及第二號ニ關シ實施上變更ヲ生シタルトキ又ハ各部既定計畫以外臨時實施ヲ要スヘキ事項ヲ生シタルトキハ之ヲ總務部ニ報告スヘシ但シ其ノ重要ナルモノニ就テハ豫メ變更案又ハ實施案ヲ總務部ニ提出シ農場主任會議ノ議ヲ經ルヲ要ス

第五條 農場主任會議ハ各部主任ヲ以テ組織シ農場長之ヲ主宰ス
 農場長必要アリト認ムルトキハ農場主任會議ニ各部所屬職員又ハ其ノ他本校職員
 ノ列席ヲ求ムルコトヲ得

第六條 各部所屬職員以外ノ職員ニシテ本場ニ於テ實驗ヲ爲サントスル場合ハ豫メ
 其ノ計畫ヲ總務部ニ申出テ農場長ノ許可ヲ受クヘシ但シ其ノ重要ナルモノニ就テ
 ハ農場長ハ農場主任會議ヲ經テ之ヲ決ス

六、植物園規程 (昭和十一年六月十三日制定)

第一條 植物園ハ各種ノ植物ヲ栽植シ本校教授資料ト爲スト共ニ職員及學生ノ研究
 ニ資シ併セテ校庭ノ美化ヲ圖ルモノトス

第二條 園務ヲ處理スル爲植物園ニ左ノ二部ヲ置ク

一、植物見本園部

二、構内庭園部

第三條 各部ニ主任ヲ置キ教官又ハ書記ノ中ヨリ學校長之ヲ命ス
 主任ハ園長ノ指揮ヲ承ケ部務ヲ處理ス

第四條 各部ニ於テ處理スヘキ事項凡ソ左ノ如シ

- 一、植物見本園部
- (一) 植物見本園ノ手入及清潔整頓其ノ他經營管理ニ關スル事項
 - (二) 植物ノ蒐集栽植ニ關スル事項
 - (三) 生産物處分ニ關スル事項
 - (四) 其ノ他植物見本園ニ關スル一切ノ事項

- 二、構内庭園部
- (一) 構内庭園ノ手入及清潔整頓其ノ他經營管理ニ關スル事項
 - (二) 植物ノ栽植及庭園ノ風致美化ニ關スル事項
 - (三) 其ノ他構内庭園ニ關スル一切ノ事項

七、總代規程

(大正十一年七月二十七日制定)

- 第一條 各學科各級ニ總代及副總代各一名ヲ置ク
 - 第二條 總代ハ其ノ級ヲ代表シ學校ト學生及各級間ノ圓滑ヲ圖リ兼テ級ノ統一秩序及風紀ノ振作ニ努ムヘシ
 - 第三條 副總代ハ總代ヲ補佐シ總代事故アルトキハ之ヲ代理ス
 - 第四條 總代及副總代ハ各學年ノ始ニ於テ學校長之ヲ任命ス
 - 第五條 總代及副總代ノ任期ハ一箇年間トス
 - 第六條 總代又ハ副總代ニシテ其ノ任ニ適セスト認ムルモノアルトキハ學校長ハ之ヲ免シ更ニ總代又ハ副總代ヲ任命スルコトアルヘシ
- 前項ニ依ル總代又ハ副總代ノ任期ハ其ノ殘期間トス

八、學生制服規程

(大正十一年九月十一日制定)

第一條 學生ノ制服ハ左ノ如シ

帽子

地質 黑絨

前章 金色如圖

眼底 黑革

頤紐 黑革(幅三分)

釦 金色圓形

帶布 黑色綾織(幅一寸五分)

制式 如圖

衣

地質 黑サード(但シ夏ハ黑セル)

釦 金色如圖

規則

襟章 左襟ニ農學科ハA、農業土木學科ハE、林學科ハFノ金字ヲ附ス
制式 如圖

袴

地質 衣ニ同シ
制式 如圖

靴 黑色但シ教練ノ際ハ編上靴若ハ深護謨靴ニ限ル教練ノ際ハ茶褐色ノ卷
脚絆ヲ用フヘシ

外套ヲ着用スル場合ハ黒又ハ黒味勝質素ノ地質ノモノヲ選フヘシ

第二條 制服ヲ着用スヘキ場合ハ左ノ如シ

一、本校ニ出入スルトキ但シ寄宿生ノ舍内ニ在ルトキハ此ノ限ニ在ラス

二、本校學生タルコトヲ表示スルトキ

三、其ノ他本校ヨリ特ニ指定シタルトキ

第三條 實習實驗等ニ従事スルトキハ所定ノ作業服(地質カツラギ織茶褐色制式如圖)
ヲ着用セシムルコトアルヘシ但シ必要アル場合ニハ教練ノ際ニモ之ヲ着用セシム

第四條 疾病其ノ他ノ事故ニ依リ制服ヲ着用スルコト能ハサル者ハ生徒主事ノ許可
ヲ得テ和服ヲ着用スルコトヲ得

第五條 冬服、夏服ノ着用期間左ノ如シ

冬服 自十月一日
至五月十五日

夏服 自五月十六日
至九月三十日 但シ第一學年生ハ五月一日ヨリ之ヲ着用スルコトヲ得

第六條 夏服着用期間ハ略帽(麥藁)帶布黒無地織前章正帽ノ場合ニ同シヲ用フルコト
ヲ得

第七條 學生外出スルトキハ制服又ハ袴、制帽ヲ着用スヘシ

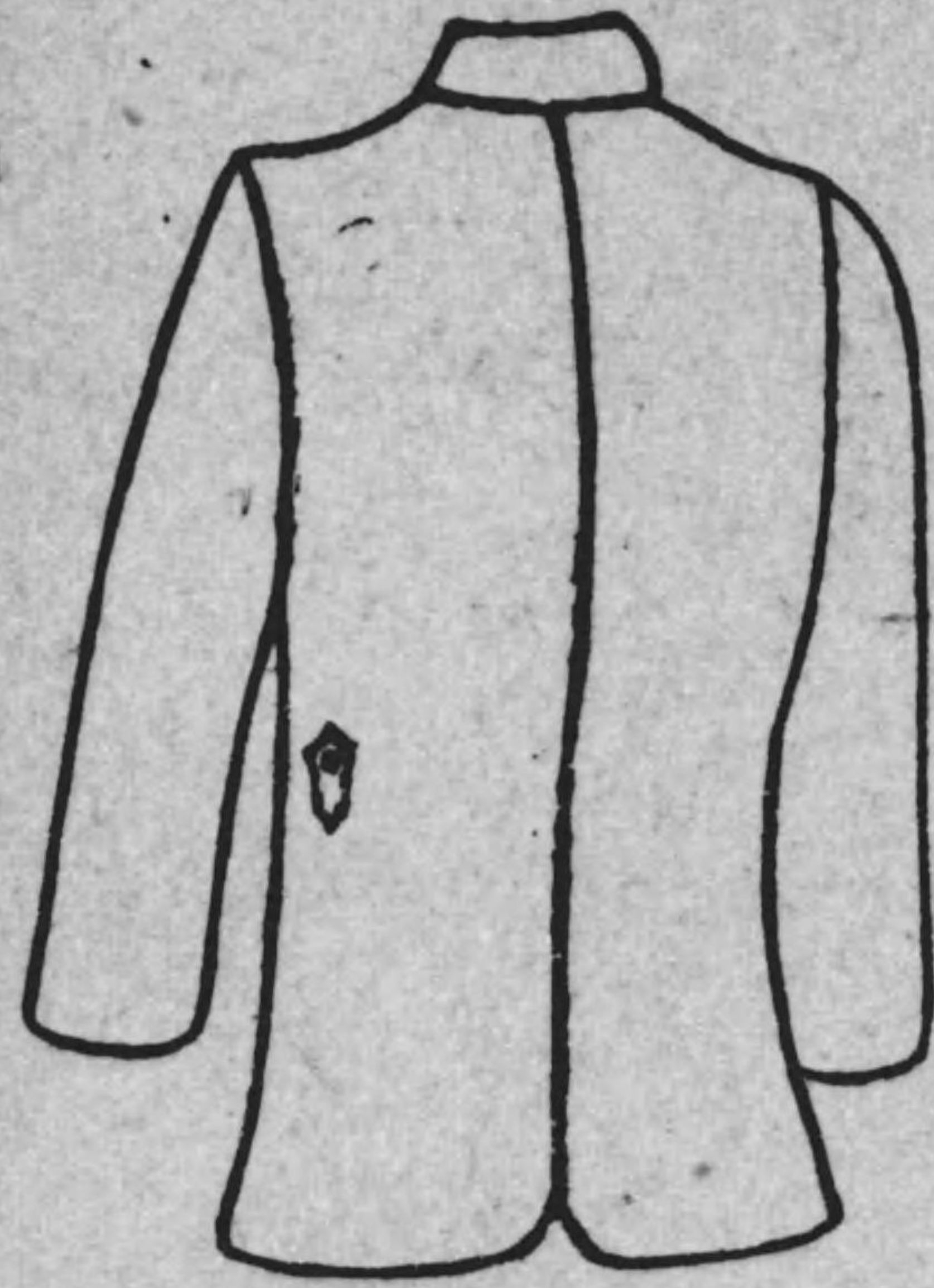
第八條 新入學生ハ五月一日マテニ制服ヲ調製着用スヘシ

第九條 選科生ニハ本規定ヲ準用ス但シ衣ニ襟章ヲ附セサルモノトス

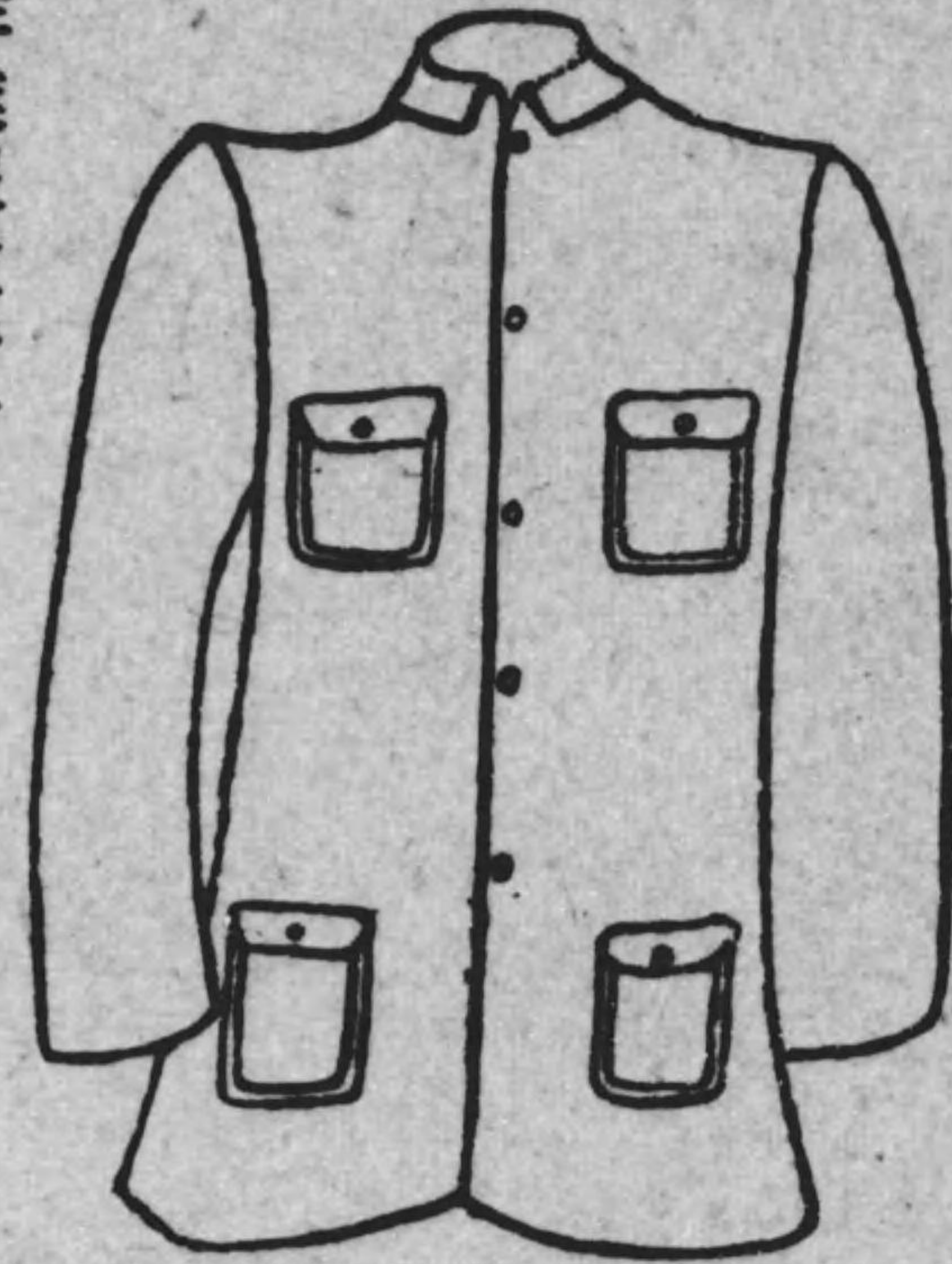
附則

- 一、第三條ノ改正ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 二、第三條改正規定施行ノ際現ニ在學スル者ニ對シテハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得
- 三、作業服規程ハ昭和四年四月一日限り之ヲ廢止ス

網
則



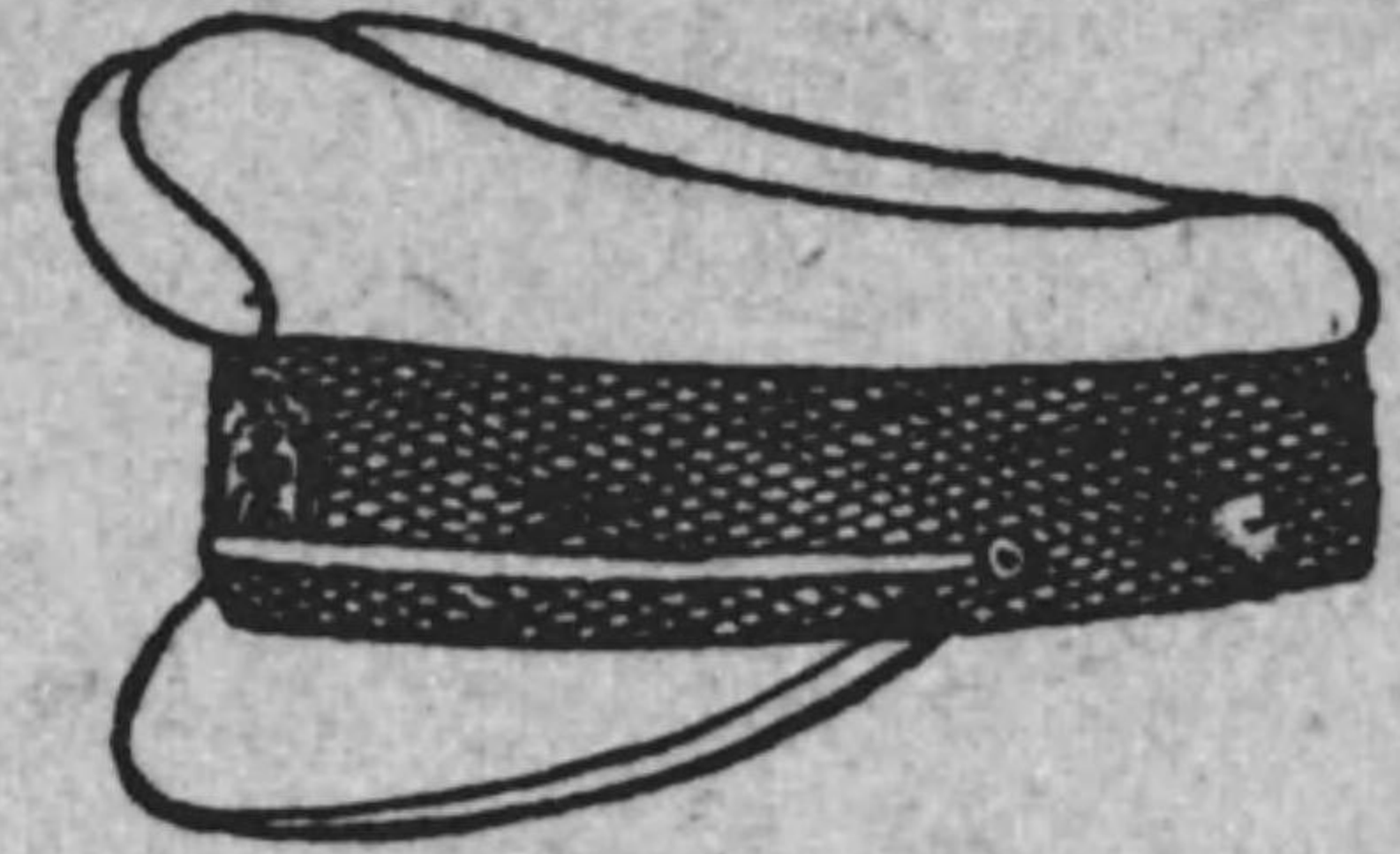
作業服衣背面



作業服衣前面



略
帽



正
網
帽
則

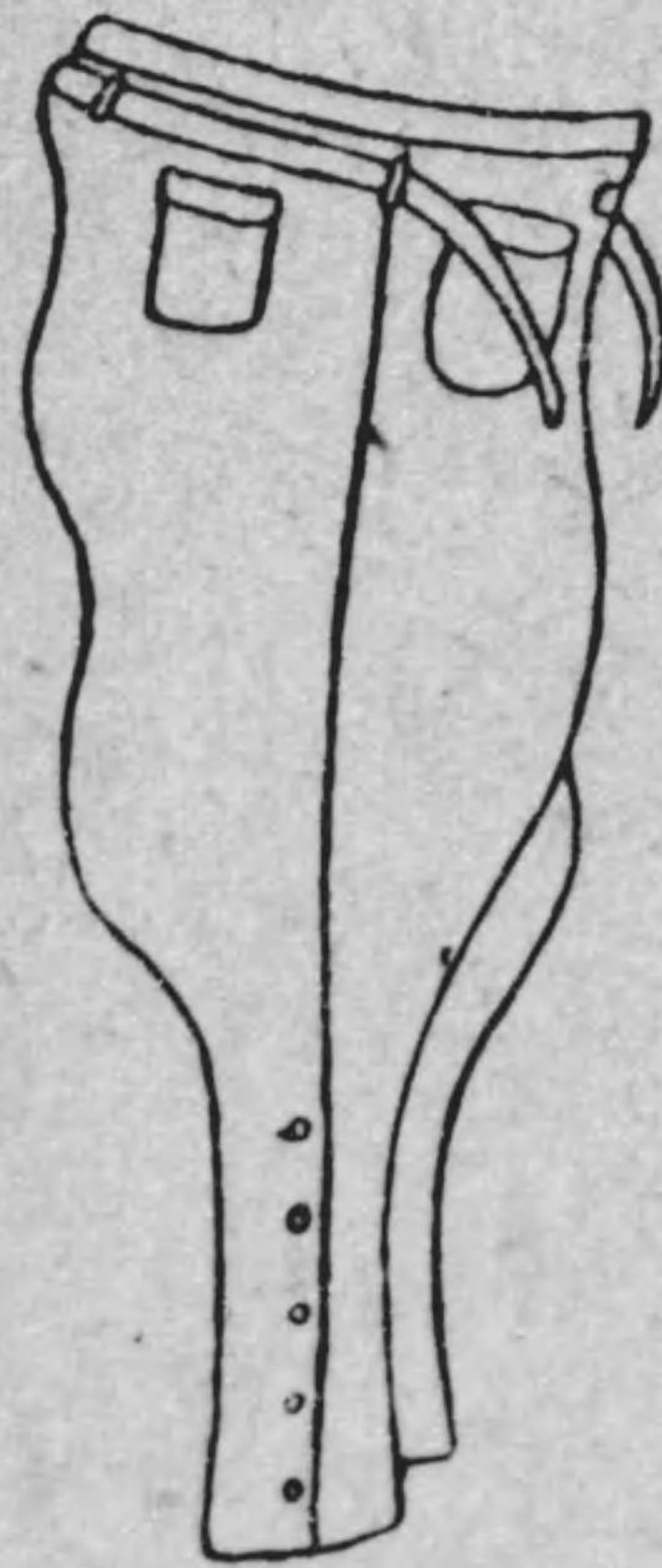


鈕

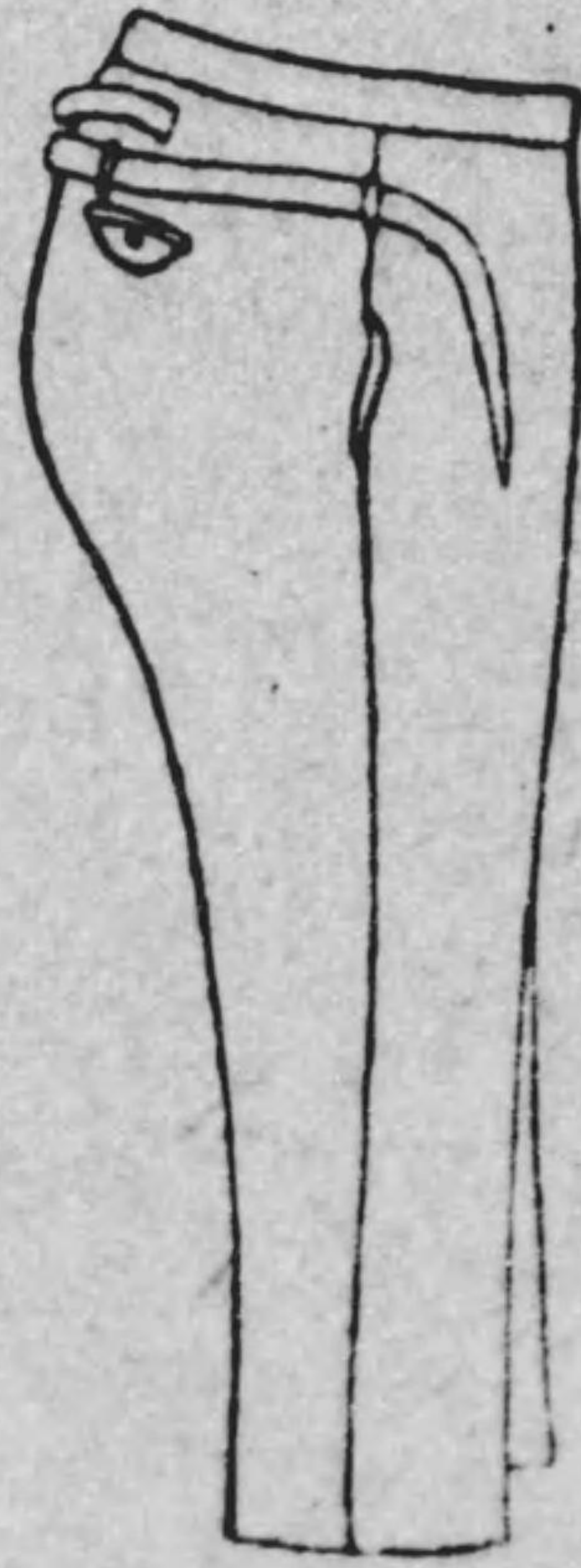


前
章

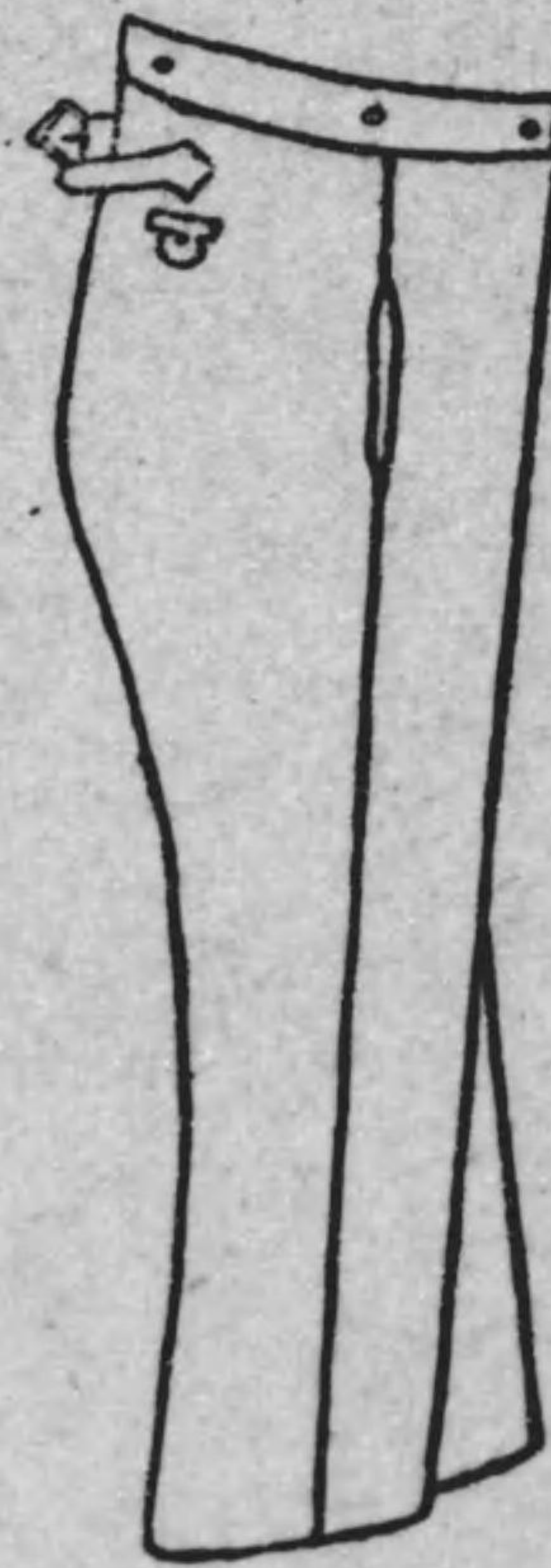
九九



林學科作業服袴

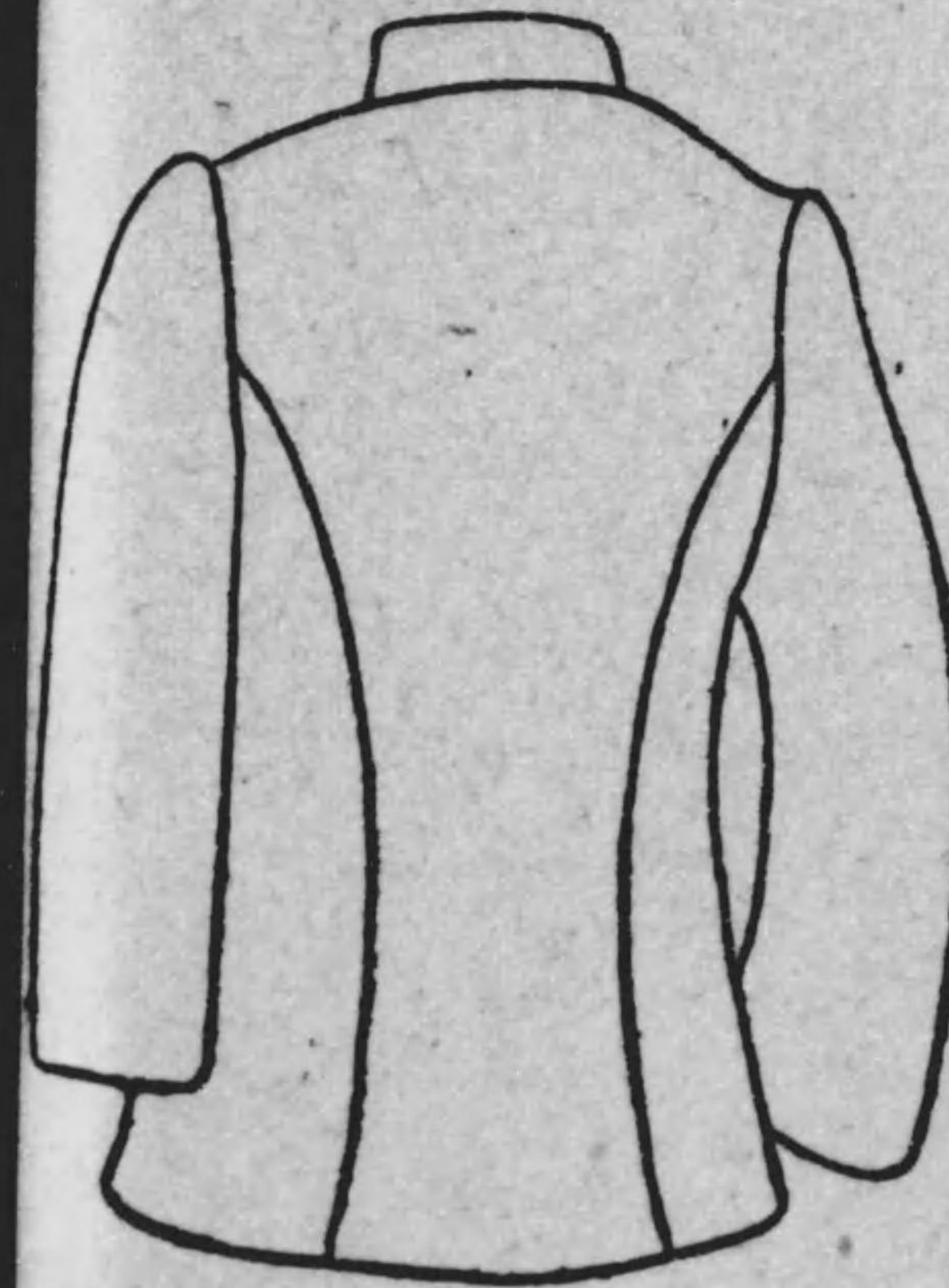


農學
農業土木學科作業服袴



袴

面
背
衣



面
前
衣



九八

四、第一條中衣地質ノ項ノ改正ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本改正規定施行以前ノ入學者ニ對シテハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

九、寄宿舎規程 (大正十一年九月十三日制定)

第一條 本校寄宿舎ハ三翠寮ト稱シ本校學生ヲシテ心身ノ修鍊ニ努メ併セテ協同生活ヲ體得セシムル所トス

第二條 學生入舎ノ際ハ保證人連署ノ上入舎願ヲ學校長ニ差出スヘシ

第三條 舎生ハ猥リニ退舎スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル事由ニ依リ退舎セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ノ上學生課長ヲ經テ學校長ニ願出ツヘシ但シ疾病ニ因ルモノハ學校醫ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第四條 寄宿舎ニ委員若干名室總代若干名ヲ置ク

委員ハ學校長之ヲ命シ室總代ハ學生課長之ヲ命ス

委員及室總代ノ任期ハ一學期間トス

第五條 委員ハ學生課長生徒主事及舎監ノ指揮ヲ承ケ舎生ノ善導提撕ニ努メ風紀衛生會計炊事其ノ他舎内一般ノ事ニ當ル

第六條 室總代ハ室内整理ノ責ニ任シ兼テ室員ヲ代表ス

第七條 各室員ノ配當ハ學生課長之ヲ定ム

第八條 舎内日課時限ハ學校長ノ許可ヲ受ケ學生課長之ヲ定ム

第九條 日課ハ嚴ニ勵行シ苟クモ違背スヘカラス

第十條 舎内ニアリテハ靜肅ヲ旨トシ他人ノ勉學及安眠等ヲ妨害スル所爲アルヘカラス

第十一條 常ニ室内外ノ清潔整頓ニ努メ舎内ニ於テ不潔穢汚ノコトナキ様留意スヘシ

第十二條 常ニ火氣ノ取扱ニ注意シ決シテ危險ノ所爲アルヘカラス

第十三條 室内ノ設備ハ猥リニ所定ノ位置ヲ變ヘ又ハ模様更ヘテ爲スヘカラス

第十四條 修養上必要ノ書類及物品ノ外ハ舎監ノ許可ヲ得ルニアラサレハ携帯スルコトヲ得ス

- 第十五條 舍内ノ物品ヲ毀損又ハ亡失シタルトキハ之ヲ辨償セシム若シ毀損者亡失者判明セサルトキハ舍内又ハ室内一同ノ者ヲシテ之ヲ辨償セシム
- 第十六條 舍内ニ於テハ上草履ヲ用フヘシ
- 第十七條 火災其ノ他非常ノ事變ニ際シテハ別ニ定ムル三翠寮警防隊規程ニ從ヒ災害ノ防止ニ盡カスヘシ
- 第十八條 疾病ニ罹リタルトキ又ハ金錢物品ヲ紛失シタルトキハ速ニ其ノ旨學生課又ハ舍監ニ届出ツヘシ
- 第十九條 已ムヲ得サル事由ニヨリ定時外喫飯ヲ要スル者ハ舍監ノ許可ヲ受クヘシ
- 第二十條 外來者トノ面會ハ必ス應接室ニ於テ爲スヘシ
- 第二十一條 人員點檢ノ際ハ所定ノ場所ニ於テ舍監ノ點呼ニ應スヘシ但シ疾病其ノ他ノ事故ニ依リ點呼ヲ受クルコト能ハサル者ハ其ノ旨届出ツヘシ
- 第二十二條 已ムヲ得サル事由ニヨリ所定ノ時限外ニ外出セントスルトキハ豫メ舍監ノ許可ヲ受クヘシ
- 第二十三條 已ムヲ得サル事由ニヨリ點檢時限ニ遅レテ歸舍シタルトキハ即刻舍監ニ届出ツヘシ

届出ツヘシ

- 第二十四條 已ムヲ得サル事由ニヨリ外泊、歸省又ハ旅行セントスルトキハ豫メ其ノ事由、日數及宿泊先ヲ記シ舍監ニ願出テ許可ヲ受クヘシ
- 歸舍ノ際ハ直ニ宿泊先ノ證明書ヲ差出スヘシ
- 外出中俄ニ外泊ノ必要ヲ生シ前項ノ手續ヲ履ム能ハサルトキハ速ニ其ノ事由ト宿泊先トヲ届出テ歸舍ノ際宿泊先ノ證明書ヲ差出スヘシ
- 第二十五條 食費及諸雜費ハ指定ノ日ニ必ス之ヲ支拂フヘシ

十、寄宿料規程 (大正十一年九月十三日制定)

- 第一條 本校寄宿舎ニ入舎スル者ハ寄宿料ヲ納付スヘシ但シ特待生ニハ之ヲ免除ス
- 第二條 寄宿料ハ一箇年拾六圓五拾錢トス
- 第三條 寄宿料ハ一箇年ヲ左ノ三期ニ分チ之ヲ徵收ス
- 第一期 自四月 至八月 金 六 圓

第二期 自九月 金 六 圓

第三期 自十一月 至三月 金四圓五拾錢

第四條 寄宿料ハ第一期ハ四月十一日ヨリ同十五日マテ第二期ハ九月十一日ヨリ同十五日マテ第三期ハ一月十一日ヨリ同十五日マテニ本校會計課ヘ納付スヘシ

第五條 半途入舎スル者ハ其ノ期ノ寄宿料ヲ一箇月金壹圓五拾錢トシ月割ヲ以テ入舎ノ日ヨリ五日以内ニ納付スヘシ

前項ニ依リ算出シタル金額其ノ期ノ全額ヨリ多キトキハ其ノ期ノ全額トス

第六條 寄宿料徵收期日以前ニ退舎スルモノハ一箇月金壹圓五拾錢ノ月割ヲ以テ即時納付スヘシ

第七條 一旦納付シタル寄宿料ハ半途退舎スルト雖モ之ヲ返付セス

第八條 寄宿料ヲ期限内ニ納付セサルトキハ本人ニ催告シ尙納付ヲ怠ル者ハ本校規則第二十八條ニ準シ處分ス

十一、授業料徵收規程

(大正十一年九月 二日制定)

第一條 授業料ハ左ノ期間内ニ之ヲ徵收ス

第一期 四月十一日ヨリ同十五日マテ

第二期 九月十一日ヨリ同十五日マテ

第三期 一月十一日ヨリ同十五日マテ

第二條 本校規則第五十條第二項第五十一條ノ規定ニ該當スルモノハ其ノ事項發生ノ日ヨリ五日以内ニ授業料ヲ納付スヘシ

第三條 授業料ヲ徵收期限マテニ納付セサルトキハ之ヲ催告シ催告後尙怠納五日以上ニ亘ル者ハ其ノ出席ヲ停止ス但シ特別ノ事情ニ依リ會計課ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四條 實驗實習費ヲ徵收スルトキハ別ニ其ノ金額及徵收日ヲ告示ス

第二條及第三條ノ規定ハ實驗實習費ニ關シ之ヲ準用ス

十二、校旗規程 (昭和四年五月十日制定)

第一條 校旗ハ本校ヲ代表スル徽幟トス
第二條 校旗ハ左ノ制式ニ依ル

(制式略ス)

第三條 校旗ニ對シテハ職員學生常ニ敬虔ノ念ヲ以テ之ヲ尊重擁護スヘシ

第四條 校旗ハ校長室ニ保管シ其ノ出納ハ庶務課長之ヲ掌ル但シ非常ノ場合ニ於テハ職員學生ハ校旗ニ對シ臨機ノ處置ヲ爲スモノトス

第五條 校旗出場ノ場合左ノ如シ

- 一、全校ノ行動ニシテ學校ヲ表示スルトキ
- 二、本校ニ於ケル重要ナル儀式舉行ノトキ
- 三、其ノ他學校長ノ特ニ必要ト認メタルトキ

第六條 校旗捧持ノ爲族手一名副族手二名ヲ置ク

族手ハ校旗ノ捧持ニ任ス副族手ハ常ニ族手ニ伴ヒ必要アル場合之ニ代ルモノトス

第七條 族手及副族手ハ第二學年生中品行方正ニシテ體位勝レ學業成績優秀ナル者ニ就キ毎年一月學校長之ヲ命ス

族手及副族手事故アルトキハ學校長ハ臨時族手及副族手ヲ命スルコトアルヘシ

十三、通學生規程 (大正十一年九月十四日制定)

第一條 通學生ハ本校ニ於テ適當ト認ムル宿所ニ寄宿スヘキモノトス

第二條 通學生其ノ宿所ヲ定メントスルトキハ豫メ宿所願ヲ差出し生徒主事ノ認可ヲ受クヘシ宿所變更ノ場合亦同シ

宿所願記載事項ニ變更ヲ生シタル場合ハ直ニ其ノ旨届出ツヘシ

第三條 通學生ハ本校學生二名以上同宿スヘシ但シ父兄其ノ他尊屬ノ居所ヨリ通學スル者又ハ已ムヲ得サル事情アル者ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 通學生ノ宿所ニシテ不適當ナリト認ムルモノアルトキハ日ヲ限り之ヲ變更セシムヘシ

第五條 通學生ハ本校所定ノ標札ニ姓名ヲ記載シ之ヲ宿所ノ門戸ニ掲クヘシ但シ本校ノ學籍ヲ脱シタルトキ又ハ休學中ノ者ニシテ學校所在地ヲ去ラントスルトキハ直ニ標札ヲ學生課ニ返付スヘシ

第六條 通學生ニシテ旅行、外泊又ハ歸省一週間以上ニ亘ルトキハ其ノ事由ヲ具シ豫メ學生課ニ届出ツヘシ

第七條 通學生ノ宿所ハ本校職員隨時之ヲ點檢スヘシ

十四、三重高等農林學校特設警防團規程

(昭和十六年九月十五日制定)

第一條 本團ハ三重高等農林學校特設警防團ト稱ス

第二條 校內ノ出火、空襲等非常災變ニ際シテハ本規程ノ定ムル所ニ依リ之カ處置ヲ爲スモノトス

第三條 本團ハ本校職員、學生及備人ヲ以テ組織ス

第四條 本團ニ團長一名、副團長一名ヲ置ク

第五條 本團ニ總務、防災、運搬、警戒、防毒救護ノ五掛ヲ置キ各掛ニ掛長一名ヲ置ク

第六條 團長ハ學校長之ニ當リ團ヲ統轄ス副團長ハ團長之ヲ命シ團長ヲ輔佐シ團長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第七條 各掛長ハ團長之ヲ命ス

掛長ハ團長ノ命ヲ受ケ掛務ヲ處理スルモノトス但シ掛長不在ナルトキハ該掛ノ上席者臨機其ノ任務ヲ代行スルモノトス

第八條 各掛ノ分掌事項大要左ノ如シ

總務掛

- 一、外部トノ交渉、連絡、報告ニ關スル事項
- 一、警報ノ接受並ニ傳達ニ關スル事項
- 一、各掛ノ連絡ニ關スル事項
- 一、物品ノ調達、修理、配給及給養ニ關スル事項
- 一、其ノ他他掛ニ屬セサル事項

防災掛

- 一、防火ニ關スル事項
- 一、工作ニ關スル事項
- 一、其ノ他防災ニ關スル事項

運搬掛

- 一、校内ノ書類、圖書、器具、機械等ノ運搬ニ關スル事項
- 一、搬出物ノ監視ニ關スル事項

警戒掛

- 一、御眞影、勅語、勝本ノ奉安ニ關スル事項
- 一、校内ノ警戒取締ニ關スル事項
- 一、空襲監視ニ關スル事項
- 一、燈火管制ニ關スル事項
- 一、交通整理ニ關スル事項

防毒救護掛

- 一、防毒ニ關スル事項

- 一、傷病者ノ救護並ニ看護ニ關スル事項
- 一、避難者ノ收容ニ關スル事項

第九條 職員、學生及傭人ノ各掛所屬ハ每學年ノ始ニ於テ團長之ヲ令達ス但シ時ノ狀況ニ依リ臨機他掛ノ援助ニ當ラシムルコトアルヘシ

第十條 校内ノ出火、近火其ノ他非常災變ヲ發見シタル場合ハ應急ノ處置ヲ講スルト共ニ執務時間中ニ在リテハ團長、總務掛長ニ他ノ時間ニ在リテハ右ノ外宿直員、寄宿舎舎監ニモ急報スヘシ

第十一條 職員、學生及傭人ハ警報ニ依リ直ニ所定ノ任ニ就クヘシ

第十二條 左ノ非常用具ハ各掛ニ於テ能ク之ヲ整頓保管シ時々之カ點檢試用ヲ行ヒ火急ノ場合ニ支障ナカラシムヘシ

一、仰筒 一、窩口及刺股

一、消火器 一、鋸、掛矢及頭巾(刺子)

一、消火栓及同筒先 一、運搬用擔架(ツツク袋)

一、玄蕃桶 一、防毒面、防毒服

- 一、水 糞 一、提電燈、蠟燭及マツチ
- 一、梯子 子

第十三條 警防處置上遺憾ナキヲ期スル爲毎學期一回以上之カ演習ヲ行ヒ訓練ヲ爲スモノトス

十五、三翠寮警防隊規程 (昭和十六年九月十五日制定)

- 一、本隊ハ休日又ハ夜間等ニ於ケル校內ノ出火、空襲等非常災變ニ際シ警防上應急ノ措置ヲ爲スモノトス
- 二、本隊ハ三翠寮舍監並ニ寮生ヲ以テ組織ス
- 三、本隊ノ指揮ハ學生課長又ハ當直舍監之ニ當リ時ノ狀況ニ依リ迅速ニ臨機ノ措置ヲ爲スモノトス
- 四、本隊ニ防災、運搬、警戒ノ三掛ヲ置キ各掛ニ掛長一名ヲ置ク各掛長ノ任務並ニ各掛ノ分掌事項ハ警防團ニ準スルモノトス

五、隊員ノ所屬部署左ノ如シ

- 防 災 掛 東寮及西寮
- 運 搬 掛 南 寮
- 警 戒 掛 北 寮

六、本校特設警防團員集合シ各任務ニ就キタル時ハ本隊ヲ解キ直ニ警防團所屬ノ部署ニ就クモノトス

十六、外國人特別入學細則 (昭和二年三月三十一日制定)

- 第一條 文部省直轄學校外國人特別入學規程ニ依リ外國人ニシテ本校ノ教授ヲ受ケントスルモノアルトキハ設備上支障ナキ場合ニ限り入學ヲ許可スルコトアルヘシ
- 第二條 前條ノ志願者ハ其ノ學修セントスル學科目ヲ定メ入學願書、履歷書、修業學校長ノ修業證明書並ニ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館或ハ監督署ノ紹介書ヲ添ヘ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 志願者ノ學力ヲ試験ニ依リ檢定スル必要アル場合ハ入學檢定料金五圓ヲ徵收ス

第四條 疾病其ノ他已ムテ得サル事由ニ依リ休學又ハ退學セントスル者ハ入學出願ノ際紹介ヲ受ケタル官署ヲ經テ出願スヘシ

第五條 在學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第六條 本細則ニ定ナキモノハ總テ本校規則中選科生ニ關スル規定ヲ準用ス

附則

第七條 朝鮮人及臺灣人ニシテ特別入學ヲ願出ツルモノアルトキハ當分ノ内本細則ニ依リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第六 職員

學校長

從四位 勳四等 農學士 高橋隆道

教授

林政學、財政學、法學通論、行政法大意、森林法規

從四位 勳四等 林學士 川田繁治郎

物理學、氣象學、數學、應用物理

從四位 勳五等 理學博士 北川久五郎

森林利用學、林産製造學、數學

陸軍 從四位 勳五等 農學博士 關谷文彦

化學及分析、土壤學、肥料學、礦物學、地質學、製造化學

正五位 勳五等 農學士 稻川次郎

農業經營學、農政學、經濟學、産業組合及法規、賣買論

正五位 勳五等 農學士 中野清作

動物學、昆蟲學、實驗遺傳學、英語

從五位 勳五等 農學博士 大町文衛

園藝學、植物學

陸軍 從五位 勳六等 農學士 藤村次郎

作物學、育種學、農學大意

從五位 勳六等 農學士 植田宰輔

職員

職員

養蠶學、英語、養蠶實習

森林經理學、造林學、林價算法及林業裁判學、森林管理法

植民政策、獨逸語

農業工學、應用水理學、測量學

農業水利學、農業土木法規、耕地整理論

畜產學、家畜榮養論、獸醫學、畜產加工、獨逸語

森林理水及砂防工學、森林測量學、森林利用學

數學、物理及實驗、英語

測量學、農業工學、測量學實習

植物學及植物病理學、植物生理學、應用菌學、貯藏

生徒主事

修身、教育學、英語

從五位 勳六等 篠田平三郎

從六位 學六 肥後純

從六位 陸軍少尉 鄉原保

從六位 農學士 小柳彌

從六位 學六 烏居菅生

從六位 學六 穴釜雄三

從六位 學七 伏谷伊一

從六位 學七 井上國勝

從七位 勳八等 近坂百一

從七位 學七 岩田吉人

(兼) 教授 植田宰輔

文正 學七 士位 荒井瑞雄

助教

園藝學、園藝實習、農產加工、原料

森林工學、測量實習

森林保護學、狩獵術、森林植物學、林產製造實習

農產製造學、農產製造實習、農產加工、水產加工

農村工業論、雜工藝、商品學

應用力學、測量實習

原動機及揚水機、農業機械學、農具論、金屬工藝、機械實習

幾何畫、幾何畫實習、測量實習

體操、農場實習

作物學、農場實習

生徒主事補

正七位 勳七等 進 武雄

(兼) 生徒主事補 野知里 慶助

陸軍中尉 從七位 勳六等 馬岡隆清

勳八等 農化學得業士 長瀬重藏

農學得業士 大柿護

陸軍少尉 正八位 農業土木學得業士 生津好雄

農業土木學得業士 外山義治

農業土木學得業士 行方文吾

陸軍中尉 從七位 勳五等 功五級 農學得業士 仲森秀夫

農學得業士 松浦近信

正七位 勳七等 野知里 慶助

講師

職員

職員

支那語、滿蒙事情

農村副業

支那語

農産製造、化學、農場實習

工藝材料、木竹工藝

農産工藝

意匠及圖案

農學大意

實驗遺傳學

滿蒙事情

都市計畫

造園學

應用力學

一二八

勳七等 沼上 勳

正六位 勳六等 福井 武治

陸軍少尉 正八位 一色 龜之助

陸軍少尉 正八位 農學得業士 原田 昇

西胤 晟之輔

農學得業士 富野 耕治

從六位 森川 一郎

從五位 勳六等 横川 十二

從五位 勳六等 農學博士 農學士 宇田 一

滿蒙开拓青少年義勇軍訓練所長 勳六等 農學士 加藤 完治

都市計畫東京地方委員會技師 勳五等 工學士 石川 榮耀

大阪市公園課長 從四位 勳五等 農學士 森 一雄

京都帝國大學教授 正五位 勳四等 工學士 澤井 八洲男

公民科

農業機械學

海外事情

林政學、森林法規

國立公園論

森林植物生態學

農村工業論

園藝加工

雜論

庶務課

從四位 勳三等 法學士 木村 正義

九州帝國大學教授 正五位 勳五等 農學博士 農學士 森 周六

南國產業株式會社取締役 農學士 有村 貫一

東京帝國大學名譽教授 正三位 勳二等 林學博士 林學士 蘭部 一郎

厚生 正五位 林學博士 林學士 田村 剛

林業試驗場技師 從四位 勳四等 農學博士 林學士 河田 杰

農林省畜産製品課長 正五位 勳五等 農學士 見坊 象光

農林技師 從五位 勳六等 農學士 岩崎 康男

日本雜語協會副會長 星野 佐紀

課長心得 嘸託 正七位 勳八等 古賀 勝次

助教授兼書記 大柿 護

書記 五十嵐 正雄

職員

會計課

嘱託 遠山友來
雇 鷺山ゆり

課長 物品會計官 勳八等 藤原佐之吉

(兼) 助手 兼書記 清水 敦

書記 別所忠雄

書記 市川多喜男

嘱託 正七位 勳七等 池田松太郎

嘱託 勳七等 近藤米三郎

嘱託 勳七等 增井幸次郎

雇 杉本 彰

雇 野崎廣助

雇 安達光弘

教務課

課長

教授 北川久五郎

(兼) 書記 市川多喜男

嘱託 渡邊健吾

雇 西口良男

學生課

課長

教授兼生徒主事 植田幸輔

生徒主事 荒井瑞雄

生徒主事補兼助教授 野知里慶助

舍監助教授 外山義治

舍監助教授 行方文吾

舍監書記 重倉龜太郎

舍監嘱託 坂本二郎

職員

一三三

圖書館

館長

舎監 囑託 山本芳郎
囑託 西胤晟之輔
雇 青山治子

農林博物館

館長

生徒主事 荒井瑞雄
書記 藤枝偶一
勳七等 牧戸寛一
囑託

學科主事、農場長、植物園長、演習林長

農學科主事
農業土木學科主事

(兼)書記 市川多喜男
教授 大町文衛
教授 中野清作
教授 烏居菅生

林學科主事

農村工業實科主事

農場長

植物園長

演習林長

囑託

教授 川田繁治郎
教授 稻川次郎
教授 藤村次郎
教授 藤村次郎
教授 川田繁治郎

體操及教練

體操及教練

體操

劍道教師

劍道教師

柔道教師

柔道教師

職員

正陸軍少尉 坂本二郎
從陸軍中尉 山本芳郎
正陸軍少尉 飯田正郎

近藤信勝
山本則重
山中良一
藤園秀圓

一三三

職員

弓道教師

配屬將校

教練

校醫

獸醫

助手

農場勤務

農學科勤務

化學教室勤務

科學研究

科學研究

一三四

市川博

陸軍大佐
正五位勳三等功五級

平嶋芳郎

醫學博士醫學士

橋本正之

醫學博士醫學士

森谷等

藤幸次郎

清水敦

工藤仙次

內藤秀男

村田幸穂

增田稔

農學科勤務

農學科勤務

農學科勤務

林學科勤務

農學科及氣象觀測勤務

物理學實驗室勤務

林學科勤務

農學科勤務

林學科勤務

林學科勤務

農學科勤務

農學科勤務

農業土木學科勤務

職員

一二五

米田喜代次

中河留藏

山本義春

中川更一

齋藤一彦

行村修

藤原弘

岡村良雄

伊藤英文

加藤多賀代

中村幸子

小濱明子

松田信子

農學科勤務

工手

農業土木學科勤務

佃 信子

吉田茂三郎

第七 學生

(昭和十六年九月一日現在)

一、學生氏名

(五十音順)

農學科第三學年

養場 雅武(山梨)	足利 知巳(廣島)	浦口 宗隆(三重)	小 椋 正(岐阜)
大木 房太郎(大分)	川口 信夫(愛知)	木村 太郎(新潟)	黒宮 秋夫(愛知)
佐藤 顯義(愛知)	柴田 庫太郎(靜岡)	清水 徳郎(三重)	杉原 武夫(三重)
曾根 博美(和歌山)	高 沖 博(廣島)	高木 眞一(秋田)	田 上 清(茨城)
寺田 由永(新潟)	富 永 博(熊本)	中島 弘矣(岐阜)	中 村 敬(福岡)
中森 茂樹(三重)	夏秋 英久(三重)	西原 典則(福岡)	林 正裕(三重)
樋口 博(福岡)	廣澤 歳幸(大分)	藤田 欽一(東京)	堀家 俊雄(宮崎)
増田 哲朗(福井)	南 敬二(奈良)	宮本 芳治(三重)	村 上 周行(廣島)
本橋 精一(東京)	安 田 弘(愛知)	山下 松男(大阪)	山本 一郎(靜岡)
山本 哲夫(三重)	山本 良夫(岐阜)	吉岡 忠夫(兵庫)	高 澤 孚(滿洲國)

學生

農學科第二學年

赤司 武公(佐賀)	飯田 一衛(群馬)	石川 武(高知)	市木 善一(滋賀)
浦川 彰(三重)	大畑 實秀(島根)	岡本 重信(大分)	奥田 三郎(京都)
倉澤 和孝(長野)	小林 實(三重)	坂田 忠雄(大阪)	靜永康丸(三重)
品川 清晴(山口)	菅沼 眞一(静岡)	鈴木 隆(神奈川)	角田 安世(三重)
高田 說三(兵庫)	高橋 貞郎(福島)	田中 修(山口)	戸町 忠和(愛知)
富林 寬(大阪)	中島 達(石川)	中田 正(石川)	中谷 治(奈良)
生江 光喜(福島)	西浦 純次(大阪)	野田 脩次(東京)	橋本 勝衛(石川)
藤川 保一(愛知)	藤田 寬二(山口)	松前 時好(熊本)	水谷 喜世治(三重)
瑞原 春吉(朝鮮)	水野 俊一(奈良)	水野 直志(静岡)	森 喜作(静岡)
森 道久(京都)	横澤 小八(長野)	吉井 靖和(奈良)	千世 摩(滿洲國)

農學科第一學年

赤井 武治(和歌山)	淺田 弘(愛知)	新井 勇(長野)	石崎 寬(岐阜)
伊藤 左千代(岐阜)	稻垣 卓二(愛知)	今井 英夫(大阪)	岡田 績(大阪)
香川 俊一(香川)	北村北洋三郎(滋賀)	木村 信雄(奈良)	日下 孝之(京都)

草間 由雄(長野)	栗山 修(大阪)	極樂地 巖(兵庫)	酒井 益美(兵庫)
篠田 光雄(新潟)	白石 徹志(京都)	菅沼 四郎(長野)	世木 茂(京都)
瀨口 純一(京都)	竹内 稔雄(和歌山)	田中 昌一(島根)	長尾 章(三重)
中世古 正郎(三重)	西村 太郎(大阪)	西村 禮治(京都)	新田 邦夫(香川)
丹羽 交一(三重)	野村 茂(京都)	橋本 一郎(和歌山)	服部 卓二(三重)
福井 治夫(京都)	藤井 宗三郎(京都)	藤本 幸平(奈良)	細川 八朗(東京)
牧野 善智(愛知)	三浦 廣司郎(秋田)	宮野 榮一(廣島)	森 孝春(鳥取)
山崎 正美(佐賀)	山田 順造(長野)	吉田 美夫(山口)	萩 壽山(滿洲國)
楊 邁之(滿洲國)			

農業土木學科第三學年

市川 與作(福岡)	伊藤 信男(三重)	稻森 一雄(三重)	浦山 寬(富山)
大倉 清信(三重)	大畑 昇一(静岡)	大津 實(大分)	柿沼 克美(福島)
梶間 敏雄(三重)	加藤 喜一(新潟)	河田 一衛(岡山)	小熊 幸男(三重)
輿水 文藏(山梨)	後藤 裕行(三重)	齊藤 英夫(岐阜)	櫻井 芳水(福岡)
清水 勝一(山梨)	菅原 新助(宮城)	杉山 哲朗(静岡)	高橋 惠一(熊本)
武内 一位(大分)	谷 豊(三重)	外山 武彦(愛知)	豊田 充穗(三重)

中村 吉隆(京都) 西潟 義一(新潟) 西川 勝(三重) 西村 福重(奈良)
 西山 文雄(長野) 野場 鎮太郎(愛知) 服部 英夫(三重) 樋口 勝美(三重)
 細川 周造(京都) 松井 壽一(三重) 松本 太郎(和歌山) 宮脇 康次(和歌山)
 安原 研三(岡山) 山下 源彦(三重) 横田 良次郎(東京) 轟 尙志(滿洲國)

農業土木學科第二學年

赤塚 實(三重) 伊藤 敏幸(三重) 市川 清(愛知) 岩田 弘(三重)
 上野 弘(兵庫) 梅本 新二郎(京都) 岡田 一男(兵庫) 岡田 昇(三重)
 尾本 時敏(愛知) 加來 秀吉(福岡) 加藤 舜治(愛知) 工藤 欣一(秋田)
 熊本 德視(佐賀) 黒川 俊一(三重) 坂下 孝夫(三重) 崎下 彰(愛知)
 佐脇 二三雄(三重) 鹽崎 卓雄(三重) 高橋 司(岡山) 田窪 一重(愛媛)
 立松 幹雄(愛知) 筒井 清弘(高知) 中居 鶴夫(福岡) 中村 訓次(千葉)
 西村 順(兵庫) 登林 賢明(岐阜) 橋本 三朗(三重) 波多野 竹男(静岡)
 廣岡 芳郎(奈良) 深見 正(和歌山) 福岡 彦一(福井) 福田 功(三重)
 増田 輝男(静岡) 松尾 登代彦(福岡) 松岡 義男(神奈川) 美濃部 博美(三重)
 宮門 政雄(三重) 宮林 秀三(富山) 森倉 康夫(三重) 森平 良忠(愛知)
 矢野 文男(三重) 山田 正恭(香川) 横山 一郎(大阪) 森平 良忠(愛知)

農業土木學科第一學年甲組

石田 一雄(青森) 石橋 正巳(三重) 江原 久市(山口) 江利川 淳(埼玉)
 大橋 廣(愛知) 梶ヶ谷 保治(神奈川) 河原 富美雄(兵庫) 菊田 榮一(三重)
 北住 薫(三重) 北田 稔(三重) 後藤 重芳(大分) 齋藤 澄男(埼玉)
 櫻井 正一(滋賀) 澁谷 良一(三重) 杉森 秀夫(三重) 田川 專之輔(大阪)
 田中 眞(鳥根) 立川 美龜太(三重) 都築 新(愛知) 辻 逸郎(大阪)
 仲田 勇(静岡) 長木 一(愛知) 西岡 卓二(三重) 長谷川 正明(兵庫)
 萩本 定(鳥根) 平田 守一(石川) 廣住 富夫(愛知) 松浦 芳雄(群馬)
 松永 小彌太(静岡) 前並 克巳(三重) 丸山 宰(福岡) 宮脇 源太郎(愛媛)
 村田 恒男(三重) 村山 邦夫(福岡) 藪崎 英明(兵庫) 山川 勇藏(三重)
 山下 幹郎(三重) 喜田 勝彦(鹿兒島) 吉永 正義(山口) 葭葉 壽久(栃木)

農業土木學科第一學年乙組

安宅 清(廣島) 井沼 士朗(和歌山) 井上 富夫(廣島) 上馬 良夫(兵庫)
 奥山 忠(岡山) 大重 信彰(鹿兒島) 上坂 博(京都) 榎本 牧生(三重)
 木山 慶三(鳥取) 黒川 惇一(三重) 桑名 彌助(高知) 小林 正美(滋賀)

佐藤久忠(高知)	澁澤大三(東京)	庄田文夫(岡山)	住吉恒夫(大阪)
瀨川正俊(大阪)	田地野直哉(新潟)	高見林(長野)	竹田策三(熊本)
坪井久夫(靜岡)	戸上誓(熊本)	中江聖(京都)	中嶋實(愛知)
中津原正(三重)	西口信成(三重)	平井重義(廣島)	平野勝實(福岡)
福澤達一(長野)	牧野俊衛(三重)	松下實(靜岡)	松島正之(福井)
松田信男(和歌山)	村上旭男(三重)	山下恒夫(福井)	山本頁石(三重)
吉住昌久(福岡)	吉田誠(愛知)	吉武保(福岡)	吉本功(高知)
渡邊靖六(三重)			

林學科第三學年

青木惇(岐阜)	赤木 薰(岡山)	赤木正則(廣島)	新井永司(埼玉)
安藤巖(愛知)	伊尾木稔(高知)	伊藤清藏(青森)	伊藤三美(福岡)
打矢德美(秋田)	岡田隆夫(三重)	岡野谷敬(靜岡)	小野龜八郎(福岡)
大澤健治(京都)	大槻健三郎(長野)	鹿子木元男(熊本)	川田庄一(山形)
菊池徹(宮城)	木谷一雄(奈良)	木村雄一(秋田)	小西正臣(和歌山)
小林治(秋田)	小松義只(高知)	澁谷欣治(富山)	進三津治(福岡)
鈴木瑞生(三重)	中川宏(東京)	中村昌弘(德島)	西田敏之(福岡)

林學科第二學年

西田嘉正(滋賀)	西四辻公裕(東京)	畑生信雄(福岡)	花見猛志(福岡)
平松 鎮(愛知)	蛭田光一(福岡)	福士逸郎(青森)	細川盛登(廣島)
山崎良次(鹿兒島)	山本武夫(和歌山)	湯川丈八(長崎)	横尾重喜(佐賀)
吉川正水(高知)	吉原三生(三重)	董連乘(滿洲國)	

淺井史朗(愛知)	麻生力雄(佐賀)	蛇川庄五郎(秋田)	粟津起一(熊本)
池龜彬(新潟)	池田登美男(奈良)	飯島一和(長野)	五百藏正道(高知)
梅田四郎(三重)	奥山重夫(三重)	小原吉男(石川)	笠井藤四郎(三重)
金兒隆(三重)	金子宏(高知)	北村哲夫(長野)	小松忠藏(山形)
阪口利彦(三重)	代々木敢吾(廣島)	鳥林立夫(滋賀)	鳥谷秀雄(青森)
高倉和男(茨城)	高橋忠六郎(秋田)	田中健也(京都)	谷川太門(富山)
富田圭三(滋賀)	中島 潔(熊本)	長野順一(神奈川)	野村行雄(高知)
濱住芳一(德島)	原 林次(埼玉)	原田勇一(福岡)	土方公男(神奈川)
藤田正治(富山)	松永佐兵衛(三重)	森尾喜一郎(山口)	柳原利夫(富山)
山本紀夫(和歌山)	吉村 貢(三重)	轟 龍驥(滿洲國)	

林學科第一學年

- | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 岩崎 明(高知) | 鴨崎 一永(三重) | 宇津木 正(滋賀) | 小野 雅夫(三重) |
| 奥矢 治祐(三重) | 大友 榮一(秋田) | 笠川 明(東京) | 門屋 勝郎(愛媛) |
| 北川 正辰(高知) | 小池 慶男(長野) | 小出 殷大(靜岡) | 駒井 正一(北海道) |
| 小谷内 三郎(石川) | 權野 泰弘(大阪) | 坂本市 藏(佐賀) | 佐藤 次郎(福島) |
| 佐藤 政基(岩手) | 佐野 次郎(岡山) | 下村 茂(和歌山) | 田澤 兵司(長野) |
| 田村 守(大阪) | 丹生 久(兵庫) | 角田 正治(福島) | 寺本 良三(和歌山) |
| 成相 光邦(鳥根) | 西村 忠(滋賀) | 野呂 利雄(三重) | 白米 清信(三重) |
| 早川 吉郎(岐阜) | 東 惣重郎(滋賀) | 東卷原 清(高知) | 堀内 善之(奈良) |
| 前田 孝光(富山) | 三浦 伸(奈良) | 水谷 恒郎(三重) | 村田 治(三重) |
| 森 讓(宮城) | 盛口 良平(奈良) | 八木 博(三重) | 倭 薰(兵庫) |
| 山副 博志(京都) | 山本 善富(和歌山) | | |

農學科選科

岩瀬 茂基(愛知)

農業土木學科選科

過 立先(中華民國) 潘 松華(中華民國)

林學科選科

山本 潔美(和歌山)

農村工業實科

- | | | | |
|------------|-------------|-----------|------------|
| 伊東 哲雄(長野) | 池山 紋男(三重) | 奥田 武生(三重) | 奥山 政範(三重) |
| 本田 欣平(福岡) | 大塚 明(宮崎) | 小城 清(京都) | 正司 竹郎(佐賀) |
| 鈴木 貞雄(新潟) | 田崎 顯(長崎) | 高瀬 早苗(福井) | 武田 守宏(臺灣) |
| 谷川 勝(宮崎) | 德田 芳衛(靜岡) | 中川 常吉(三重) | 永江 順三(廣島) |
| 二宮 健(愛媛) | 野瀬 拓(高知) | 橋本 友市(福岡) | 花井 庄次郎(三重) |
| 平木 喬(大阪) | 平田 幸太郎(鹿兒島) | 藤 濱 勝(三重) | 藤原 善之助(大阪) |
| 松尾 隆(佐賀) | 光井 根澈(朝鮮) | 宮崎 一雄(三重) | 森 直樹(香川) |
| 安永 賢一(福岡) | 山田 保(長野) | 山近 良之(福岡) | 吉原 正(德島) |
| 李 鴻慶(中華民國) | | | |

農村工業實科選修生

磯田 勝(兵庫)

二、學生數

學科	本科			特別生及實科生	選科生及實科生	合計
	第一學年	第二學年	第三學年			
學科	四五	四〇	四〇	一	一	一二六
農學科	八一	四三	四〇	二	一	一六六
農業土木學科	四二	三九	四三	一	一	一二五
林學科						
農村工業實科						
總計	一六八	一二二	一二三	四	一	四五一

三、地方別學生數

地方	本科			特別生及實科生	選科生及實科生	合計
	農學科	農業土木學科	林學科			
北海道	一					一
青森	三					三
岩手	一					一
宮城	二					二
秋田	二					二
山形						
福島						
茨城	一					一
地方合計	七					七
地方合計	一七五			四	一	一八〇

地方	本科			特別生及實科生	選科生及實科生	合計
	農學科	農業土木學科	林學科			
栃木	一					一
群馬	一					一
埼玉	二					二
千葉	一					一
東京	三					三
神奈川	二					二
新潟	三					三
富山	二					二
石川	一					一
福井	三					三
山梨	二					二
長野	三					三
岐阜	二					二
静岡	八					八
愛知	四					四
三重	二					二
滋賀	二					二
京都	五					五
大阪	八					八
兵庫	四					四
奈良	六					六
和歌山	四					四
鳥取	一					一
島根	二					二
岡山	一					一
廣島	四					四
山口	四					四
德島						
香川	二					二
愛媛						
地方合計	一七五			四	一	一八〇

宮崎	大分	熊本	長崎	佐賀	福岡	高知
一	三	二		二	三	一
	三	三		一	一〇	四
		三	一	三	五	九
一	六	八	一	六	一八	一四
二			一	二	四	一
三	六	八	二	八	二二	一五
總計	國 中 華 民	滿 洲 國	臺 灣	朝 鮮	沖 繩	鹿 兒 島
一 二 五		四		一		
一 六 四		一				二
一 二 四		二				一
四 四 一 三		七		一		三
四 三 三	二			一	一	
一 四 五	一			一		
	三	七	一	二		三

第八 卒業生

(昭和十六年九月一日現在)

一、卒業生氏名

(五十音順)
(×印ハ死亡)

農學科第一回 二十八名

- | | | | |
|------------|------------|------------------|-----------------|
| 足立 俊正(愛知) | 井出 高義(静岡) | (舊岩名) 渡邊 孝 太(新潟) | 大 柿 護(北海道) |
| 大塚 俊司(静岡) | 奥井 英太郎(三重) | (舊折谷) 大河内 陽雄(三重) | 桑垣 傳護(千葉) |
| ×小林 梧郎(新潟) | 齋藤 武夫(山形) | 貞永 三郎(山口) | 志村 浩一(埼玉) |
| 鈴木 橋雄(三重) | 鈴木 良次(新潟) | 宗宮 祐夫(岐阜) | (舊中西) 熊谷 三郎(京都) |
| 中森 作雄(三重) | 野呂 貞好(三重) | 羽生 節(鹿兒島) | 平山 重勝(愛知) |
| ×深川 景吉(滋賀) | 堀田 耕太(三重) | 堀 五 一(三重) | (舊正木) 木村 郁三(大阪) |
| ×松浦 幸也(三重) | 水越 弘(三重) | 村田 三郎(山口) | 山本 辰次郎(石川) |

農學科第二回 三十五名

卒業生

- 出射 正次(山梨) 井上 善光(奈良) 上田 勇(大阪) 岡垣内 匠(和歌山)
- ×小川 亮一(栃木) 荻野 周次(兵庫) 奥井 亮三郎(三重) 小田 志郎(三重)
- 菊池 金治(岩手) 菊池 武夫(岩手) (舊黒田) 中津川 俊吉(静岡) 澤川 繁(山形)
- 島貫 三郎(山形) 相馬 世治(京都) 高木 秀一(宮崎) 田中 松夫(岐阜)
- 寺林 傳太郎(富山) 富永 重興(三重) ×中村 龍樹(福岡) 沼田 滿(茨城)
- 野澤 磊爾(愛知) 馬場 四郎(福岡) 長谷川 徳(愛知) 濱田 朝祐(埼玉)
- (舊平沼) 松田 延一(東京) 松本 直一(滋賀) 前野 軍太(三重) (舊峰) 池田 長藏(和歌山)
- 森井 儀一(三重) 森本 庫一(兵庫) 森本 修三(愛知) 山口 明(宮崎)
- 山崎 賢一(和歌山) 山田 駒雄(山梨) 佐野 淡一(兵庫) 山口 明(宮崎)

農學科第三回

二十九名

- 淺井 晃(東京) 石淵 壽(熊本) 一色 一雄(滋賀) 伊藤 六郎(愛知)
- 井原 稔(和歌山) 伊元 貞三郎(鳥根) 岩田 玉一(岐阜) 岡村 庄一郎(兵庫)
- 大林 廣次(静岡) 工藤 醇一郎(青森) 後藤 智(大分) 近藤 亮一(愛媛)
- 佐藤 須賀夫(大分) 杉山 猶之助(三重) 須永 達雄(栃木) 田中 稔(山形)

- 谷畑 喜作(富山) 玉置 海三(和歌山) 柘植 利久(三重) 鳥羽 篤郎(三重)
- 中川 勝八(愛知) 長山 教一(高知) 野崎 清夫(岡山) 長谷川 千秋(愛知)
- 春名 一明(兵庫) 藤岡 喜久(奈良) 米田 健吉(兵庫) 澁井 健一(福島)
- 大塚 耕二(三重)

農學科第四回

二十七名

- 足立 昇造(三重) 五百井 亨(大阪) (舊大橋) 辻野 友二(富山)
- 大西 保英(愛媛) 川島 治幸(大阪) 川島 三美(三重) (舊大熊) 三浦 忠二(岡山)
- ×久保 常三(奈良) 小林 勝治(兵庫) 小林 龍雄(長野) 北川 虎雄(和歌山)
- ×清水 幹雄(山口) 杉谷 文之(富山) 田曾 純吾(廣島) (舊田中) 四方田 芳市(鳥根)
- 西端 善作(大阪) 八田 植(滋賀) 服部 仙三(愛知) (舊三上) 樋田 節雄(大分)
- 深井 寛(三重) 藤田 正雄(廣島) (舊三上) 山川 福之助(埼玉) 柳瀬 美衛(高知)
- 山内 勇信(福島) 山本 忠夫(神奈川) 北川 孝治郎(京都)

農學科第五回

三十二名

(舊伊東) 福林 馨(三重) 井上一巴(和歌山) 井野周太郎(京都) 井樋信雄(佐賀)
 内山 榮(兵庫) 大河内 恒夫(愛知) 大城清茂(沖繩) 北村繁太郎(滋賀) 桑原正三(愛知) 佐藤甚七(岐阜)
 岡谷 義雄(愛知) 加藤平壽(愛知) 笹岡一郎(奈良) 加藤助參(福井) 土井孫悅(山形) 野村千秋(長野)
 木槍 忠夫(群馬) 小西 眞(奈良) 信宗 虎夫(廣島) 南元 楢司(奈良) 宮原道明(廣島) 吉川正信(京都)
 下井友一(三重) 鈴木徹三(愛知) 西間木 正巳(福島) 野上 富士夫(京都) 廣瀬 清孝(石川) ×藤繩 慶夫(富山) 森 榮左衛門(愛媛) 森濱 重義(三重) 山田 實(和歌山) 吉川 正信(京都)

農學科第六回 三十九名

阿部 一美(福岡) 磯部 次郎(神奈川) 一色 重夫(滋賀) 今井 忠(新潟)
 今西 清(京都) 大河内 秀樹(愛知) ×奥野 貞雄(京都) 柏 祐賢(富山)
 金井 修(兵庫) 龜井 昌直(三重) 河村 有江(廣島) 楠 恒三(静岡)
 栗林 武男(茨城) 小池 保(岐阜) 垣本 元信(三重) 後藤 俊夫(愛知)
 齋藤 修三(岐阜) 齋藤 八十藏(三重) 四方 恒次(大阪) 白水 透(宮崎)

關澤 乙吉(新潟) 高木 保郎(岐阜) ×田中 敏郎(三重) 中川 春一(群馬)
 (舊中島) 關谷 清見(長野) 中谷 壽(兵庫) 中森 孝治(三重) 長岡 忠二郎(大阪)
 永田 盛一(兵庫) 練尾 一雄(岡山) 服部 一郎(愛知) 日野 重三(愛媛)
 平城 俊文(福岡) 松田 祐一(沖繩) 村田 茂三(三重) 森本 重德(大阪)
 山本 善次郎(大阪) 吉田 彦太(佐賀) 木村 泰次郎(静岡)

農學科第七回 三十九名

阿部 三郎(徳島) 荒井 進(福井) 飯森 政義(石川) 井上 石衛(長崎)
 岩 田 明(三重) 岩 田 茂(三重) 岩中 信市(三重) 海野 九郎(三重)
 加藤 寛(三重) 木下 英雄(愛知) 熊谷 又吉(長野) 小林 茂(愛知)
 小林 幸丸(三重) (舊小堀) 堀 美則(大分) 近藤 四郎(京都)
 阪中 憲一(和歌山) 清水 武夫(三重) 杉浦 資良(愛知) 砂川 尙一(兵庫)
 諏訪 三郎(岐阜) (舊田中) 加藤 收治(愛知) 田中 昇三(東京) 田村 十治(山口)
 辻 藤次郎(三重) 富野 耕治(愛知) ×中津 繁雄(岐阜) ×中根 喜猷(三重)
 ×永田 義雄(愛知) 西野 半三(大阪) 西村 清一(京都) 長谷川 武(愛知)

卒業生

一四四

松原 喬夫(鳥根) 眞鍋 藏六(山口) 港井 清七郎(京都) (舊村田) 平井 武夫(三重)
 森田 安雄(富山) 柳 彰三(三重) 安田 隆一(山口)

農學科第八回 三十九名

有門 博樹(福岡) 有田 昌璋(鳥取) 井上 清次郎(佐賀) ×大藪 大(福岡)
 岡田 行生(三重) ×岡本 敏一(岡山) ×尾山 万代(三重) 蔭山 武雄(兵庫)
 (舊笠井) 堀江 由一(徳島) 片山 晴(愛知) 菊池 和雄(愛媛) 熊代 清(大阪)
 高本 秀政(愛媛) 小林 成夫(三重) 小林 久夫(岡山) 近藤 球一郎(岡山)
 佐々木善次郎(秋田) 佐々木 吉雄(石川) ×澤田 義郎(愛知) ×高柳 庄市(静岡)
 田村 惇(廣島) 辻 厚美(福岡) 内藤 淳一(岐阜) 萩原 敏郎(静岡)
 秦 良治(千葉) 原 信彦(福岡) 平島 龍茂(福岡) 細野 英男(岐阜)
 正木 榮太郎(大阪) ×松岡 清治(三重) 前田 一(高知) 茂利 弘(三重)
 森 主一(福岡) ×森 定治郎(愛知) (舊森政雄) 山下 雅男(大阪) 山脇 一誠(大阪)
 吉川 利太郎(奈良) 芳野 修(愛媛) 若林 知貞(三重)

農學科第九回 三十五名

池田 親嘉(福岡) 池田 哲彌(岡山) ×井原 正郎(山口) 飯田 清(三重)
 今川 文雄(山口) 岩崎 敬三(大阪) 白井 俊郎(岐阜) ×荻野 四郎(山形)
 加藤 榮一(愛知) 河原 松實(福岡) 岸 信夫(兵庫) 岸村 彌七(三重)
 小山 喜三郎(京都) 崔 洪奎(朝鮮) (舊齋藤) 黒沼 大藏(山形) 神 修(福岡)
 實森 又太郎(静岡) 庄野 勝(福岡) 城間 盛茂(沖繩) 鈴木 一郎(三重)
 田中 正雄(鳥取) 出口 武(三重) 出坂 一衛(石川) 戸上 正(三重)
 仲野 信太(静岡) 西川 義敏(長崎) 島中 武彦(鹿兒島) (舊東) 高垣 勇(和歌山)
 平井 守久(愛知) 松崎 寅男(長野) 萬谷 俊美(廣島) 向 勇夫(鹿兒島)
 森泉 元重(長野) 柳 直幸(福岡) (舊吉田) 松浦 伍市(福岡)

農學科第十回 四十二名

今本 眞澄(奈良) 岩淵 恭治(岩手) 井草 卓郎(埼玉) 位田 藤久太郎(三重)
 井上 秀一(鳥取) 有藤 秀夫(兵庫) 小川 耕(徳島) 小國 鶴一(兵庫)
 金原 一吉(長野) 金 徳謙(朝鮮) 黒田 茂(大阪) 小出 富男(福岡)
 小西 尙雄(兵庫) 小牧 次郎(神奈川) 西郷 三郎(大分) 櫻井 吉士(長野)

卒業生

一四五

柴田直(熊本)	下田理作(熊本)	橋輝明(愛媛)	寺田錦一(兵庫)
曾原弘(三重)	中野嘉郎(三重)	中村恭吉(福岡)	仲森秀夫(三重)
野田直路(福岡)	野村美次(京都)	濱田逸郎(三重)	濱田武(埼玉)
本城稔(三重)	平井益藏(奈良)	藤原進(大分)	小野田俊郎(三重)
本間正歳(新潟)	×前野正二(兵庫)	岡田孝夫(三重)	松井勇(山形)
森垣侃(京都)	森本行雄(兵庫)	屋嘉宗顯(沖繩)	山田豊美(香川)
吉江敏郎(東京)	脇田俊光(愛知)		

農學科第十一回 四十名

伊藤卓男(三重)	岩本菊藏(三重)	飯倉行雄(大分)	宇美彌助(福岡)
小野亨(三重)	岡本富夫(奈良)	加藤良男(愛知)	桂貢(山口)
神谷勇(京都)	刈谷嘉雄(高知)	木村壽郎(愛知)	北川起(三重)
清久正夫(徳島)	金尙燮(朝鮮)	郡司正造(福岡)	駒井四郎(兵庫)
近藤易直(長崎)	佐藤一二(秋田)	×齋竹孝一(愛知)	猿渡工(熊本)
三高正巳(静岡)	白木敏幸(福岡)	十龜千鶴雄(愛媛)	田中勇(京都)

農學科第十二回 三十七名

田中壹郎(大阪)	田中米夫(三重)	中嶋正雄(福岡)	西田公保(熊本)
野口新吉(岐阜)	日向導徳(山梨)	東繁一(三重)	藤畑孝正(富山)
丸山正秋(長野)	村上美好(福岡)	村田重一(愛知)	毛利嘉治(三重)
廣井順藏(福岡)	山田信義(愛知)	吉村英吾(東京)	脇田晴美(愛知)
安宅慶治(徳島)	秋田重男(滋賀)	×若田肇(京都)	井芹徹(熊本)
上村武吉(岡山)	小野章(山梨)	岡本和之(愛知)	落合幸文(三重)
太田俊晴(長野)	大柴保信(山梨)	大島仁(愛知)	大谷宗三(奈良)
河合幸雄(岡山)	川上久也(三重)	×川高重武(京都)	小林一夫(兵庫)
小林隆一(新潟)	近藤鶴彦(三重)	佐井清(高知)	小野寺尙美(岩手)
中尾卓男(熊本)	竹村弘二(京都)	上木順三(岐阜)	中上登(奈良)
島田三次(京都)	野村本義(長野)	林政衛(群馬)	箕輪九三(奈良)
松浦近信(鳥根)	松本隆治(静岡)	松本豊司(大分)	水田四郎(廣島)
×森崎大助(大分)	山崎彌右衛門(静岡)	若山虔三(廣島)	分部正(三重)

八尋 眞(福岡)

農學科第十三回 四十一名

中津 正六(熊本)	朝比奈佐武郎(神奈川)	安孫子 喜彰(滋賀)	市川 八十夫(群馬)
井村 晴二郎(三重)	小宅 正男(山形)	梶田 耕造(兵庫)	川越 年男(大分)
神谷 堅二(愛知)	河野 通雄(香川)	喜多見 辰夫(大阪)	横溝 桂三(東京)
齋藤 好吉(秋田)	坂根 千(京都)	佐古 正彦(山口)	佐々木 宏(廣島)
白戸 幸雄(青森)	×鈴木 唯男(愛知)	竹田 正三(熊本)	谷畑 銀作(富山)
鶴我 俊丸(福岡)	徳田 文雄(石川)	中岡 道長(京都)	中橋 常泰(高知)
野々宮 朗(高知)	野村 藤英(三重)	橋本 豊富(東京)	服部 忠七(福井)
林 正一(三重)	原田 昇(福岡)	東畑 幸祐(三重)	平野 廣(愛知)
藤田 正秋(福島)	増本 貞博(徳島)	宮田 貞光(長野)	望月 庄一(山梨)
森川 謙三(秋田)	山内 正典(三重)	山下 善平(愛知)	吉田 一十三(京都)
渡邊 元芳(長崎)			

農學科第十四回 四十名

淺田 久夫(三重)	石井 宗雄(愛知)	石田 隆男(福島)	伊藤 武男(三重)
井上 良之助(山梨)	梅田 善明(和歌山)	梅延 弘(岡山)	大井 角次(滋賀)
太田 勇(三重)	岡崎 清(山口)	尾崎 林一(山口)	甲斐 龍二(大分)
櫻本 善次(石川)	木下 正巳(三重)	金鍾 赫(朝鮮)	日下部 幸雄(京都)
桑名 悦男(三重)	後藤 忠治(廣島)	佐宗 章(愛知)	佐野 利男(山梨)
白井 重雄(神奈川)	杉浦 正巳(愛知)	武智 正千代(愛媛)	竹元 善夫(兵庫)
田代 繁雄(和歌山)	田方 耕收(石川)	塚本 隆治(福岡)	津川 一男(廣島)
辻 喜代史(三重)	豊田 壽一(奈良)	西嶋 正敏(熊本)	西村 國男(三重)
伴 利也(三重)	蛭本 博彦(山口)	増永 敏之(福井)	又吉 盛忠(沖繩)
松井 萬雄(奈良)	山口 克夫(栃木)	若林 重定(三重)	細田 一夫(兵庫)

農學科第十五回 三十八名

荒木 正矩(福岡)	大藪 義彦(和歌山)	片岡 慶次(三重)	加藤 幸太郎(愛知)
神山 竹松(新潟)	神田 良一(愛知)	菊地 輝次(新潟)	木下 泰次郎(静岡)
小寺 武夫(大分)	齋藤 新之助(静岡)	白川 廉五郎(長野)	鈴木 四郎(愛知)

高橋 恒二(愛媛)	田川 亮三(神奈川)	竹下 正二(高知)	巽 忠男(奈良)
田中正 臣(三重)	上浦 武男(奈良)	千葉 直美(岩手)	塔下 亮一(兵庫)
中野 惣一(愛知)	成澤 静一(宮城)	西出 克彦(三重)	波多 長壽(鳥根)
濱島 辰雄(愛知)	林 義雄(山口)	日原 利夫(和歌山)	平形 信雄(群馬)
福田 義教(福井)	藤本 正翠(兵庫)	藤本 元介(徳島)	松原 省三(滋賀)
宮田 堯文(神奈川)	柳 澤 泉(長崎)	山口 義臣(三重)	山内 彌四郎(山形)
何 裕 昌(満洲國)	程 聯雲(満洲國)		

農學科第十六回 三十六名

足立 郁 郎(静岡)	石川 正 人(山口)	石田 重 富(鳥取)	小倉 三 郎(鹿兒島)
織田 道之助(静岡)	太田 友 邦(鳥根)	大 藪 忠(石川)	加藤 昌 夫(三重)
金子 表(埼玉)	加納 泰 治(愛知)	川崎 又 助(静岡)	栗 山 豊(和歌山)
黒田 庸 介(静岡)	小林 金 治(兵庫)	静永 憲 丸(三重)	鈴木 一 夫(三重)
高瀬 正一郎(京都)	竹本 道 夫(京都)	田代 三 夫(香川)	田村 精 一(埼玉)
辻 勇(岐阜)	永田 信 男(和歌山)	西 村 農(熊本)	野間 末 男(三重)

農學科第十七回 四十七名

橋倉 俊 夫(三重)	秦 増 美(大分)	東 野 眞(福岡)	藤岡 忠 男(三重)
藤澤 文 雄(神奈川)	細田 禎 一(奈良)	森松 鐵 郎(富山)	安田 春 太 郎(兵庫)
山崎 金 夫(宮城)	山田 喜 晟(奈良)	脇山 邦 夫(京都)	渡邊 政 雄(愛媛)
浅野 喜久男(大阪)	石 田 寧(熊本)	市原 俊 雄(大阪)	伊 藤 喬(三重)
岩田 喜代治(神奈川)	遠藤 敬三郎(山形)	遠藤 義 雄(富山)	沖 武 廣(廣島)
奥野 久之(兵庫)	加藤 金三郎(青森)	加藤 尙 一(愛知)	川崎 種三郎(新潟)
川村 賢 治(三重)	神田 喜 夫(奈良)	岸 憲 次(奈良)	吉 良 八 郎(大分)
熊 又 賢(三重)	久米 弘 明(三重)	栗井 義 堯(和歌山)	後藤 敏 武(栃木)
酒井 俊八郎(福島)	坂口 直 正(廣島)	佐藤 敬次郎(福島)	杉 本 平(岡山)
角田 元 雄(神奈川)	住吉 静 史(廣島)	高 木 確(和歌山)	田中 敬 一(滋賀)
田中 公 双(愛知)	知念 忠 太 郎(沖繩)	徳田 光 男(石川)	中 島 三(三重)
中田 恭 二(奈良)	永田 忠 男(愛知)	中本 義 雄(兵庫)	西 岡 清(廣島)
服部 勤(愛知)	花房 輝 幸(兵庫)	林 昇(愛知)	深 美 勉(石川)

藤濱 一馬(三重) 堀口 一雄(新潟) 松本 久人(長野) 三浦 義雄(新潟)
 森 計馬(京都) 柳澤 基一(長野) 楊 培森(滿洲國)

農學土木學科第一回 二十八名

岩本 益雄(愛媛) 遠藤 靖(宮城) 奥田 壽夫(三重) 川合 久三(滋賀)
 川勝 洋三(京都) ×刑部 精一(三重) 古賀 菊次(山口) 小山 操雄(兵庫)
 酒井 鉦一郎(愛知) 清水 武雄(香川) 鈴木 武臣(徳島) 高倉 貫一郎(三重)
 多賀 正三(滋賀) 田上 源八郎(三重) 田原 耕三(三重) 齋 辰雄(徳島)
 ×中島 辰(愛知) 林 桂(岐阜) 東川 美雄(三重) 日比野 文雄(愛知)
 ×福家 雄一(香川) ×牧野 潤二(山形) 松尾 直三(三重) 松本 貞一(三重)
 領 満龜(福岡) 森 嘉門(三重) 安田 次貞(愛知) 山田 長作(愛知)

農學土木學科第二回 二十八名

有吉 志良(福岡) (又)改名 伊藤 又右衛門(福井) 境 次男(熊本) (舊岩下)
 尾崎 孝雄(愛知) 川口 襄三郎(三重) 工藤 延雄(岐阜) 倉 小三郎(北海道)
 齋藤 辰雄(愛知) ×櫻井 實(宮崎) 堤 喬司(兵庫) (舊西村) 關 正一(富山)

(舊橋部) 伊澤 武二(長野) 長谷 武雄(三重) (舊服部) 内藤 榮三郎(三重) 濱本 良造(京都)

藤井 芳雄(山口) 藤村 忠雄(山口) 古市 與一(三重) 堀内 正利(福岡)

堀 美也雄(岐阜) 森山 明(東京) 山崎 爲夫(愛知) ×若出 由夫(三重)

×渡邊 小太(三重) 川本 貴雄(三重) ×星野 豊平(香川) ×加茂 仁三郎(静岡)

農學土木學科第三回 三十六名

×稻垣 茂(三重) 上島 克巳(三重) 榎本 松三郎(東京) (舊織田村) 田中 師郎(山口)

大塚 清司(静岡) 大西 多一(徳島) 奥田 一郎(石川) 柏井 益水(高知)

(舊川合) 眞田 光夫(三重) ×北川 俊次(三重) (舊小山) 中原 桂一(愛知) 佐藤 紫郎(山形)

(三男改名) 芝田 敦雄(三重) ×辻原 昌男(三重) 土井 利一(富山) 中田 政武(三重)

中森 悌二(滋賀) 永原 實郎(三重) 西田 吾一(岐阜) 西 正夫(三重)

早瀬 巳之(石川) 廣田 延太郎(三重) 福元 一二(鹿兒島) 藤橋 九市(滋賀)

松浦 圭三(大阪) ×宮下 功(長野) 森賀 年秋(愛媛) ×山下 鎌一郎(廣島)

横山 重義(福島) 芳山 久夫(愛知) 若林 郷夫(三重) 阿部 春太郎(三重)

石川 常雄(山梨) 仙波 漸(愛媛) 藤本 和夫(三重) 坂本 敏夫(三重)

農業土木學科第四回

三十二名

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------------|----------------|
| 池田誠常(石川) | 池田義雄(靜岡) | 石田光平(大阪) | (舊伊藤) 岩崎繁雄(三重) |
| 海野榮一(三重) | 岡本福三(石川) | 岡本義信(香川) | 大島精一(北海道) |
| 大西正康(高知) | 北村壽男(三重) | (舊小島) 宮本万之丞(福島) | 小島平雄(廣島) |
| 小宮山靜藏(山梨) | 駒田勝(三重) | 佐倉俊夫(三重) | (舊堀野) 西口末郎(三重) |
| 鈴木正次(三重) | 高宮卯市(大阪) | 田中重平(新潟) | 土井牧夫(長崎) |
| 豊田榮一(三重) | ×西井雅一(三重) | 藤原實(三重) | 増野政雄(山口) |
| 松尾武記(長崎) | 宮ヶ原晋(鹿兒島) | (舊安永) 奥平治郎(福岡) | (舊山口) 是洞四郎(群馬) |
| 山本義三郎(兵庫) | 山本泰男(三重) | ×貝増利雄(三重) | 松村寛(高知) |

農業土木學科第五回

三十一名

- | | | | |
|----------------|----------|----------|----------|
| (舊荒井) 松井末造(岐阜) | 荒木甚一(三重) | 家木忠信(三重) | 市川康三(岐阜) |
| 伊藤俊雄(福岡) | 岩崎祐一(三重) | 内田隆(兵庫) | 大庭元則(靜岡) |
| 小河原田(長野) | 笠松清(宮城) | 川口幸村(三重) | 倉田儀郎(三重) |
| 小島盈(岐阜) | 佐野鏗爾(三重) | 城野橋雄(三重) | 大坊吉則(岩手) |

- | | | | |
|-----------|---------------|-----------------|-----------|
| 高木勝(北海道) | (舊高崎) 岡恒夫(三重) | (舊外岡) 足立敏雄(靜岡) | 永井儀夫(兵庫) |
| 長濱昌英(福岡) | 西山清茂(三重) | (舊日下) 楠井龜治(和歌山) | 前川德太郎(三重) |
| 前田由之助(三重) | 牧鐘之助(愛知) | 松井重雄(兵庫) | 眞鍋正行(香川) |
| 水谷尙(三重) | ×山手壽人(福岡) | 森田宗二郎(三重) | |

農業土木學科第六回

三十六名

- | | | | |
|-----------------|----------------|---------------|--------------|
| (舊新) 田代重吉(鹿兒島) | (舊家木) 渡邊忠恪(三重) | 石田惣市(三重) | 磯部五兵衛(三重) |
| (舊伊藤) 上田貞三(三重) | (舊伊藤) 倉田博夫(三重) | 上杉勇(三重) | ×内山勇(三重) |
| 大泉磯右(三重) | 奥中武次郎(大阪) | (舊奥原) 中村亮(長野) | 片岡善龜(高知) |
| (舊加藤) 西川千太郎(三重) | 咸泰亨(朝鮮) | ×木原久次郎(京都) | 久保田一男(岐阜) |
| 倉田一郎(三重) | 酒井徳江(長野) | 篠崎富男(埼玉) | 篠原佑三(富山) |
| 島明(富山) | 瀧本一郎(兵庫) | 内藤勇(愛知) | 中尾米市(大分) |
| (舊中川) 増田武男(三重) | 萩森豊(愛媛) | 橋本勝(大分) | 福井秀男(京都) |
| 星野義一(愛知) | 三ツ野由太郎(北海道) | 山村十木生(三重) | (舊八幡) 格卓(兵庫) |
| 渡邊亘(福岡) | 布谷嘉明(三重) | ×平野泰弘(三重) | 増田三郎(靜岡) |

農業土木學科第七回

三十六名

荒川 清(愛知)	石崎 勝也(三重)	井田 三津雄(三重)	伊藤 俊夫(三重)
×(舊糸川) 雄(三重)	浦邊 良雄(千葉)	大月 文雄(岡山)	×大西 四郎(三重)
×(仁宇) 陸(舊川北) 賢(三重)	河野 敬之(福岡)	草川 五郎(三重)	×小山 實(新潟)
坂口 傳一郎(三重)	志田 房次(三重)	下川 一雄(三重)	菅 英勳(岡山)
鈴木 定吉(新潟)	關口 元吉(群馬)	高嶋 武(三重)	田上 正男(茨城)
近石 義雄(香川)	×(舊都竹) 生津 好雄(岐阜)	×出水 千代義(香川)	戸田 正雄(富山)
中井 清(三重)	行方 文吾(三重)	根本 豊男(東京)	服部 一男(奈良)
服部 進(三重)	福野 松雄(滋賀)	×(舊細川) 近藤 庄平(香川)	宮崎 佳久(三重)
柳井 貞二(廣島)	山岡 次郎(三重)	渡邊 武(愛媛)	中島 亮(大阪)

農業土木學科第八回

四十名

石井 龜太郎(千葉)	石川 與一(三重)	岩崎 力(三重)	植田 勇一(香川)
太田 新男(三重)	金尾 修而(岡山)	川崎 光郎(三重)	×木下 榮吉(三重)
久保 義生(三重)	桑原 忠雄(静岡)	小寺 徳夫(大分)	佐藤 直(三重)

城田 賤夫(三重)	田原 輝男(三重)	辻 亥輪男(大阪)	中村 基一(兵庫)
×(舊中山) 熊本 重治(富山)	西井 俊三(三重)	西村 亮一(三重)	野呂 太郎(三重)
羽生 憲治(鹿兒島)	原 政一(三重)	関 泳甫(朝鮮)	福井 重男(京都)
×(舊藤谷) 米津 朋貞(三重)	牧戸 市太郎(三重)	掛田 和夫(愛知)	松井 信雄(静岡)
×(舊松田) 名越 高朝(鹿兒島)	松本 和郎(三重)	村田 照雄(岐阜)	×目見田 政次郎(愛媛)
森岡 米一(三重)	安田 俊直(長野)	吉田 實(岐阜)	米川 幹正(三重)
渡邊 勝(三重)	吉澤 進(福井)	鐘ヶ江 吉雄(佐賀)	峰 鬼子男(三重)

農業土木學科第九回

三十九名

赤堀 三郎(三重)	池上 武一(大阪)	石井 均(大分)	石塚 金八(香川)
×(舊稻垣) 白木 清利(三重)	稻田 長徳(三重)	稻田 五味三(福岡)	岡崎 美景(高知)
笠原 太吉(福島)	×河野 富男(山口)	前(舊菅) 親太(愛媛)	菊岡 武男(三重)
栗田 億一(静岡)	小菅 一夫(大阪)	齋藤 政善(栃木)	×坂下 永次郎(三重)
島上 正三(福岡)	新谷 八太郎(福岡)	杉森 次郎(三重)	鈴木 正(静岡)
瀬古 孝一(三重)	高橋 數雄(香川)	谷口 末雄(三重)	田端 清男(三重)

辻 好基(三重) 外山 義治(三重) 長谷川 義意(福島) 廣谷 昇(大阪)
 藤原 庄一郎(静岡) 玉置 章次(愛知) 古川 俊良(滋賀) 牧 勇(大分)
 増井 正(三重) 松岡 英夫(和歌山) 森島 美雪(岐阜) 八尋 秀一(福岡)
 (舊山内) 山下 茂(福岡) 吉田 文治(福岡)

農業土木學科第十回

四十二名

綾田 耕太郎(香川) 伊藤 芳夫(岐阜) 伊藤 美之(三重) 海老名 慶一(静岡)
 ×小澤 二郎(岐阜) 落合 博(三重) 飛田 宏(静岡) 久保田 章(福島)
 小泉 富治(長野) 坂本 多喜男(佐賀) 佐々木 令藏(秋田) 島地 與一(三重)
 下井 重三郎(三重) 鈴木 新平(静岡) 鈴木 敏雄(静岡) 高津 明(愛知)
 田中 善喜(福岡) (舊戸村) 樋口 守(栃木) 中西 中雄(京都) 中根 逸夫(三重)
 中村 茂男(鹿兒島) 西口 一雄(大阪) 西田 四郎(三重) 野間 市郎(愛媛)
 長谷川 次雄(群馬) 東 次男(熊本) 藤本 繼男(熊本) 藤目 幸作(香川)
 古 正夫(三重) 堀部 勇(岐阜) 前田 一男(兵庫) 前田 盛雄(鹿兒島)
 正木 義夫(兵庫) 松原 義雄(岐阜) ×松本 彦吉(秋田) 毛利 博愛(福岡)

柳澤 榮助(長野) 矢野 進(宮崎) 多田 安郎(三重) 山下 茂(静岡)
 余語 伊三郎(愛知) 吉井 勘一(滋賀)

農業土木學科第十一回

四十名

安藤 重郎(群馬) ×井手 朋徳(熊本) 伊藤 士郎(福井) 石川 丙午郎(茨城)
 石田 英二(福岡) 岩戸 太郎(廣島) 宇野 亮夫(福岡) 越智 鶴一(愛媛)
 岡村 武郎(三重) 奥山 俊介(三重) 大井 守義(三重) 河合 保(岐阜)
 角田 敬之進(福岡) 勝野 靜男(三重) 角前 寛(三重) 兼本 六二(廣島)
 川崎 祐宏(大阪) 佐々田 仙(廣島) 窪田 博(奈良) 澤田 重雄(大阪)
 塩見 辰治(山口) ×白井 正義(三重) 白倉 省吾(山梨) 高橋 敏郎(静岡)
 給田 光義(京都) ×園野 新次郎(福岡) 出村 友晴(富山) 波多野 修一郎(岡山)
 萩原 健一郎(兵庫) 東 武(福井) 福澤 重信(富山) 又木 武兵衛(鹿兒島)
 三室 不二夫(三重) 水町 進(福岡) 森田 省三(三重) 山崎 仁夫(三重)
 山田 信一(静岡) 横田 柏男(岡山) 横田 敏(愛知) 渡邊 榮藏(秋田)

農業土木學科第十二回

三十七名

青山 清(三重)	梅原 雄一(静岡)	小笠原 忠實(鳥根)	小原 清次(石川)
加藤 豊(福島)	笠井 利夫(三重)	金井 禧三(長野)	川嶋 武三(三重)
川端 俊夫(北海道)	川邊 環(三重)	草崎 弘(佐賀)	×櫛谷 義四郎(三重)
紅林 桂次(静岡)	近藤 茂男(愛知)	佐々木 直之(福岡)	齊藤 爲治(京都)
坂部 隆治(静岡)	杉原 茂(富山)	×清家 初一(大分)	(舊田邊) 武内 幸信(香川)
中尾 藤九郎(滋賀)	中田 昌卯(埼玉)	×中西 光彦(三重)	中村 逸雄(熊本)
西澤 英夫(新潟)	西田 五郎(三重)	×橋口 弘(宮崎)	花田 通(福岡)
林 銀司(富山)	×福田 儀三郎(大阪)	×福本 純(三重)	眞鍋 惠三(香川)
前田 弘(三重)	村上新雄(京都)	山路 徹(愛媛)	山中 勇(三重)
山中 寅吉(三重)			

農業土木學科第十三回

四十一名

鳴地 辰之助(三重)	石川 保雄(愛知)	植田 次郎(静岡)	×内田 富藏(三重)
大井 公夫(長野)	大鹿 茂夫(香川)	片岡 誠(三重)	加藤 先一(三重)
菅野 正世(宮城)	北山 定一(山口)	久能 喜祿(静岡)	小林 三郎(宮城)

近藤 比佐雄(愛知)	佐藤 清(神奈川)	島本 敏男(高知)	白井 裕(三重)
芝山 半之丞(三重)	樋月 茂(大分)	鈴木 典也(三重)	征矢 吉郎(長野)
立石 勲(熊本)	瀧下 甚五郎(静岡)	寺村 幸見(秋田)	出口 利祐(三重)
中村 大三(和歌山)	西園 義郎(福岡)	原 三郎(三重)	羽根 隆美(徳島)
藤本 正信(徳島)	×藤元 宗義(富山)	二見 晃生(三重)	(舊村衛國) 森 秀義(朝鮮)
松井 辰一(愛知)	松井 浩(石川)	松田 修(三重)	松村 孝一郎(福井)
又吉 龍榮(沖繩)	圓子 虎男(宮城)	森川 正純(三重)	山中 四郎(三重)
吉田 壽一(福岡)			

農業土木學科第十四回

三十一名

荳井 藤次(埼玉)	×伊藤 登(三重)	今久保 守光(高知)	植松 治夫(山梨)
太田 正隆(京都)	小野寺長五郎(岩手)	角屋 堅次郎(三重)	神谷 十吉(愛知)
木村 英夫(岐阜)	神代 忠正(佐賀)	栗原 知郎(三重)	下司 英一(滋賀)
小島 保(三重)	小寺 正夫(佐賀)	後藤 多平(三重)	佐々木 正(宮城)
正田 則行(石川)	菅原 豊一(宮城)	杉平 鐵雄(熊本)	竹岡 保光(三重)

卒業生

竹原 生(滋賀) 富澤彦右衛門(福井) 鳥谷尾 忠三(三重) 豊田 修(愛知)
 永井 幸喜(京都) 仲田 金次郎(静岡) 西村 孝行(高知) 野澤 大六(愛知)
 益満 清秀(鹿兒島) 山家 光次(三重) 鷺野 鱒一(兵庫)

農業土木學科第十五回

三十六名

安藤與惣次郎(滋賀) 家木 馨(三重) 井口 喜芳(岐阜) 蘇 鐵之進(鹿兒島)
 今泉 傳(愛知) 小笠原 勝之(福岡) 荻野 和夫(三重) 大石 眞一(静岡)
 加賀 晃造(秋田) 倉田 寛一(愛知) 兒島 卓司(兵庫) 坂本 正行(富山)
 佐々 力(愛知) 鈴木 博治(静岡) 高倉 政彦(福島) 谷 良雄(福岡)
 中馬 豊(鹿兒島) 東條 晴明(徳島) 富田 智(香川) 豊永 輝夫(長崎)
 中尾 彌三郎(大分) 中川 徳郎(三重) 長渡 具視(宮崎) 中村 秀(三重)
 鍋田 實(富山) 新納 治(愛知) ×西田 義熙(三重) 林 典男(三重)
 湊口 千代次(和歌山) 村越 重信(神奈川) 森本 純一(三重) 八木 善治(兵庫)
 ×山川 正一(岡山) 山口 七郎(群馬) 山田 孝一(三重) 矢野 忠(静岡)

農業土木學科第十六回

四十二名

四十住 勝平(石川) 浅野 眞英(三重) 天ヶ瀬 理彌(佐賀) 池田 秀夫(静岡)
 泉原 榮(福岡) 岩島 帝司(岐阜) 海野 茂(三重) 大西 進(京都)
 片桐 勳(長野) 加藤 雄敏(大分) 桑野 定美(福岡) 小石川 茂(三重)
 河淵 常治(愛媛) 古賀 仁(福岡) 佐藤 兼三(宮城) 佐藤 一(岩手)
 沢田 敏男(三重) 清水 靖彦(山梨) 善田 重夫(三重) 田口 榮(岐阜)
 田中 健次郎(滋賀) 田中 八郎(愛知) 田中 登(三重) 藤堂 勝二(三重)
 徳重 一義(福岡) 中場 賢治(福井) 丹羽 久磨(三重) 拜野 利夫(兵庫)
 橋本 二郎(京都) 林 藤五(三重) 原田 温夫(福岡) 久野 勉(福岡)
 藤原 健良(高知) 古橋 兼昌(愛知) 細村 嘉男(埼玉) 水野 一明(神奈川)
 水野 九二百(三重) 宮城 榮仁(沖繩) 宮崎 克巳(福岡) 守谷 正博(神奈川)
 矢野 實男(三重) 吉野 寅松(静岡)

農業土木學科第十七回

四十名

雨宮 堯郎(埼玉) 市川 廣朗(三重) 伊藤 貞温(三重) 飯島 兼嘉(長野)
 内田 正文(神奈川) 梅川 國夫(三重) 卜部 榮(北海道) 大石 宗一(静岡)

卒業生

尾崎 卓(京都) 小谷 幸夫(京都) 大塚 昌助(神奈川) 勝野 正孝(兵庫)
 小河原 敬(福岡) 近藤 義勝(京都) 佐野 助春(三重) 柴田 米二(愛知)
 柴山 迪夫(愛知) 鈴木 慶一(福岡) 周防 末雄(和歌山) 谷 萬吉(京都)
 田内 清澄(高知) 辻 二次男(三重) 富田 順次郎(三重) 中野 博視(三重)
 西風 隆夫(和歌山) 西村 志澄(高知) 萩原 正雄(東京) 長谷川 芳郎(三重)
 濱口 禎祐(三重) 東 喜八郎(山口) 檜皮 行雄(愛媛) 古川 收男(京都)
 正木 清(三重) 松尾 次郎(長崎) 松田 正彦(福岡) 三好 武明(廣島)
 三村 貞男(東京) 村上 澄雄(香川) 山田 勉(福岡) 吉岡 英彦(兵庫)

林學科第一回 二十三名

堀(舊小西) 百太郎(奈良) 小林 義秀(山梨) 古屋 武夫(群馬) 佐賀 五代吉(秋田)
 ×佐治 文哉(福岡) 佐藤 佐壽(愛媛) ×四方 公平(京都) 田島 義二(新潟)
 鳥林 理英(滋賀) 關 正三(栃木) 高津戸 益美(栃木) 高山 林(兵庫)
 田村 幸次郎(京都) 畑 石治(福岡) 林 鎮雄(東京) 早藤 昌二(茨城)
 伴 一雄(三重) 高田 俊雄(東京) 鈎 俊一(滋賀) 松井 英太郎(大阪)

松岡 英二(福岡) 三崎 龍二(三重) 出口 二三生(三重)

林學科第二回 三十三名

穴吹 規矩士(香川) 井出 税(靜岡) 岩本 二郎(島根) 石川 利治(東京)
 岡田 廣一(徳島) 岡野 行雄(和歌山) 鷺淵 滿雄(長崎) 川越 進(宮崎)
 神庭 英(島根) 木下 義統(鳥取) 木曾 龍雄(廣島) 佐々木 確治(秋田)
 曾根 正孝(富山) 武田 要(徳島) 辰巳 俊吉(奈良) 附田 文治(青森)
 内藤 久一(京都) 長尾 正和(高知) 藪内 當一(徳島) 中山 利郎(三重)
 林 茂(福岡) 原 金一(岐阜) 深澤 正男(山梨) 福田 港(熊本)
 逸見 雪夫(岡山) 本田 親人(宮崎) 松田 暎(山口) ×松本 幸男(愛媛)
 柳井 元一(岡山) 矢野 登(香川) ×山本 二雄(奈良) 吉本 今太郎(靜岡)
 久富 運吉(山口)

林學科第三回 二十五名

安達 謙雄(石川) (舊伊藤) 西原 照光(愛媛) (舊岩山) 相澤 宇内(宮城) 梅原文夫(大分)
 (舊越智) 十河 一吉(愛媛) 奥武 幹亮(山口) 垣野 太圭次郎(三重) 加藤 嘉藏(奈良)

齋藤 市三(三重) 砂走 正義(鹿兒島) 田中 巖(京都) 田部 繁昌(東京)
 中澤 和雄(和歌山) 中谷 喜久二郎(石川) 濱田 一夫(高知) 松原 松男(長野)
 中村 秀男(三重) 溝口 悌次(長野) 森岡 潤吉(高知) 森倉 良澄(三重)
 山川 浩太郎(三重) 湯淺 巖雄(香川) 大里 喜重(大阪) 草田 得三(和歌山)
 谷口 貢(福井)

林學科第四回 三十一名

飯田 忠一(奈良) 井上 源憲(廣島) (舊井ノ口) 宮崎 三郎(三重) 白井 茂(山形)
 大久保 昌之(石川) 川滿 惠元(沖繩) 片山 佐又(香川) 小瀧 武夫(福島) 國田 廣實(愛媛)
 黒井 良勝(東京) 小久保 壽(愛知) 小瀧 武夫(福島) 笹栗 三二(福岡) 木村 (舊後藤) 旭(愛知)
 三枝 壽雄(兵庫) 佐藤 三郎(秋田) 笹栗 三二(福岡) 立川 全夫(静岡) 白勢 修(新潟)
 高橋 渡(高知) 田代 純(兵庫) 立川 全夫(静岡) 松島 盛大(三重) 因 秀成(福岡)
 (舊中川) 佐々木 重雄(京都) 山田 瑞穂(福岡) 松島 盛大(三重) 森田 宿禰(長崎) ×牛田 雲平(三重)
 滿谷 五三(岡山) 村上 章(愛知) 森田 宿禰(長崎) 後藤 鋼(愛知) 山本 市兵衛(奈良)
 和田 忠之亮(三重) 黒岩 實(佐賀)

林學科第五回 二十三名

足立 行夫(岐阜) (舊大石) 増田 勝治(静岡) ×大辻 利勝(奈良) 小木曾 善三郎(愛知)
 川口 了(三重) 川手 治郎(廣島) 小池 敏夫(鳥根) 鈴木 平治(福島)
 ×鈴木 愷(愛知) 田村 義雄(三重) 坪坂 博(大分) 中島 海老藏(京都)
 中谷 邦武(岐阜) 中村 久(三重) 坪野 陽一(愛知) 西井 伊兵衛(三重)
 (舊野本) 鷹巢 傳(福岡) ×服部 正直(三重) 平野 利一(和歌山) 深谷 亮治(岐阜)
 福島 昇(福井) ×光普 江左右吉(高知) 森 三郎(佐賀)

林學科第六回 三十七名

阿部 駒一(三重) 石井 英男(和歌山) (彌右衛門改名) 伊藤 森夫(愛媛) 上原 正敏(長崎)
 小穴 信一(長野) 桶野 良助(長野) 片岡 七夫(三重) 北條 (舊木津) 進(新潟) 木根 陽三(和歌山)
 願興寺 竹男(三重) 北川 孝三(三重) 杉浦 文夫(愛知) 杉本 榮之丞(三重)
 倉田 喜太郎(三重) ×近藤 勇(三重) 伊達 覺一(廣島) 中村 繁一(香川)
 杉森 一郎(三重) 高野 光衛(長野) 西垣 二郎(新潟) 西川 正信(愛媛)
 中村 丈夫(兵庫) 中村 道孝(宮崎)

野中 淳治(三重) 橋詰 敏夫(高知) 倉田 了(三重) 邊見 芳夫(神奈川)
 前川 勝巳(三重) 松山 幹之(滋賀) 百田 林太郎(三重) 梁田 増次郎(秋田)
 村山 金重(福岡) 山本 安秋(香川) *横山 義雄(福島) 吉村 寛逸(佐賀)
 平島 直材(宮崎)

林學科第七回 三十一名

今津 新太郎(岐阜) (舊梅田) 北出 徳藏(三重) 岡 磯吉(和歌山) 岡野 三十四(三重)
 岡森 清治郎(三重) 大塚 一太(熊本) 大西 二郎(高知) 大野 靜(愛媛)
 (舊尾崎) 岩崎 芳一(東京) *加藤 清(三重) 小紫 清平(兵庫) 小林 米藏(三重)
 酒井 源一(愛媛) (舊佐々木) 鈴木 清吉(岩手) 田上 一生(三重) 田中 孝雄(佐賀)
 *田中 俊次(三重) (舊近澤) 千川 武生(三重) 柘植 隆一(三重) *長澤 一雄(山口)
 永田 重道(三重) *八藤 松男(岡山) 廣部 誠自(三重) 福田 利雄(岡山)
 藤田 修一(岡山) 本多 泰(愛知) 松本 政一(三重) 宮田 俊雄(三重)
 吉田 泰治(新潟) 若林 二郎(岡山) 勝部 忠治(鳥根)

林學科第八回 三十七名

*赤尾 國三郎(岐阜) 秋根 昌勝(福岡) 池知 一水(高知) (舊石黒) 海野 祐三(富山)
 岩本 勝美(鹿兒島) 上平 達雄(奈良) *榎本 容久(和歌山) (舊尾島) 池上 憲清(富山)
 清末 文雄(大分) 桐山 寛治(東京) 駒田 守(三重) 佐久間 利秋(三重)
 笹森 榮一(鹿兒島) (舊堀入) 乾 利雄(長野) 土居 久雄(愛媛) *杉山 今吉(愛知)
 砂原 英治(鳥取) 竹口 昇(三重) 富永 清次(佐賀) 中井 吉人(三重)
 野田 忠士(三重) *深田 安次郎(富山) 藤本 芳郎(三重) 細野 三郎(滋賀)
 松浦 進(宮崎) *宮石 又男(愛知) 村田 義一(三重) 森 孝(三重)
 柳瀬 友正(愛媛) 矢仁田 恒義(熊本) 矢野 喜久男(福岡) *矢野 次雄(廣島)
 (舊矢野) 伊藤 譽榮(兵庫) 山本 仁郎(新潟) 山 脇 茂(京都) 宇津 英一(鳥根)
 佐藤 康吉(山形)

林學科第九回 二十九名

石原 博(富山) 石原 幹雄(熊本) 伊東 誠衛(三重) 上杉 順二郎(三重)
 岡田 春博(高知) 小澤 貢(佐賀) 川本 達四(廣島) 工藤 麟治(宮崎)
 卒業生

倉田 三千穂(長野)	齊藤・澄雄(山形)	須川 清一郎(三重)	高橋 健男(大阪)
(武)剛士(三重)	武田 龍雄(三重)	淡輪 銳一(福岡)	戸田 唯美(廣島)
飛岡 善三郎(鹿兒島)	×中川 繁夫(廣島)	×中村 熊太郎(三重)	西川 光夫(長崎)
西村 敏雄(京都)	根本 庄三郎(茨城)	髭右近 英夫(石川)	本郷 卓爾(岡山)
松尾 武治(福岡)	八代 雄藏(山梨)	山崎 孝雄(高知)	山本 熊男(和歌山)
吉開 幸夫(福岡)			

林學科第十回 三十九名

赤田 長生(香川)	阿部 喜美治(山形)	(舊池田) 奥田 三一(静岡)	市川 守信(高知)
岩間 孝一(三重)	上野 經彦(鹿兒島)	岡本 利文(兵庫)	大上 利宏(大分)
太田垣 正三(兵庫)	大仲 保(愛媛)	大森 三孝(福井)	梶原 高雄(熊本)
(舊加藤) 白石 喜久(福岡)	川岸 修(奈良)	×河津 久伍(熊本)	小寺 博文(大分)
近藤 學(福岡)	佐方 久敏(熊本)	佐藤 滿(熊本)	下川 忠藏(福岡)
菅沼 謙逸(愛知)	竹内 久米雄(三重)	中澤 高司(静岡)	野田 晴男(鳥根)
野中 忠美(愛媛)	檜山 慶三郎(三重)	平山 貞(大分)	廣部 正二(三重)

(舊古川) 水谷 生夫(三重)	古川 壽(岡山)	町田 榮二(埼玉)	松岡 了三(福岡)
松本 繁平(静岡)	三木田 武三郎(大阪)	水谷 信夫(三重)	宮本 毅(熊本)
明慶 三郎(三重)	森本 智二郎(兵庫)	米川 千秋(三重)	

林學科第十一回 三十五名

淺野 一正(三重)	伊東 耕之助(佐賀)	池内 悅雄(愛媛)	磯野 英一(兵庫)
稻田 正彦(三重)	上野 丞市(三重)	上本 英一(三重)	小河 吉春(福岡)
大内 賢一(岡山)	北村 智(長崎)	佐久間 虎夫(三重)	佐藤 信雄(山形)
杉本 正郎(三重)	×鈴木 英勇(静岡)	關口 一郎(埼玉)	田川 恒夫(三重)
田村 甲二(岡山)	高垣 左藤(和歌山)	武政 健亮(高知)	谷口 樹男(廣島)
(敏夫改名) 谷 甚四郎(奈良)	塚本 泰三(兵庫)	×辻 種藏(滋賀)	長井 實博(鹿兒島)
中込 登(山梨)	林 秀茂(奈良)	牧野 新太郎(滋賀)	宮口 茂次(福井)
宮本 弘(愛知)	村田 喜一(熊本)	柳澤 聰雄(兵庫)	山田 孝俊(石川)
吉田 末雄(福岡)	和田 秀雄(神奈川)	渡邊 正元(長崎)	

林學科第十二回 三十七名

石橋 正夫(三重)	稻垣 禮一(三重)	大勝 正男(滋賀)	大島 民也(愛知)
甲藤 良道(高知)	金田 三郎(富山)	鴨下 正夫(北海道)	×金 鶴(朝鮮)
小林 茂(岡山)	古林 牧夫(福岡)	×小山 貞信(奈良)	今 文平(青森)
今野 弘一(宮城)	齋藤 全弘(徳島)	芝 弘(三重)	城山 正彦(三重)
田中 忠夫(長野)	田中 璞(兵庫)	幸治 隆(三重)	高橋 正夫(鳥根)
(舊土肥) 平山 恒成(富山)	豊福 義孝(福岡)	長尾 万二(徳島)	行方 實(三重)
西内 弘至(高知)	平田 義一(滋賀)	×藤原 福次(岡山)	古川 不倒(福岡)
堀内 信男(長野)	卷田 源久(石川)	御幸尾 博(千葉)	三好 茂(岐阜)
宮田 辰男(長野)	(舊山際) 野田 俊郎(三重)	山口 市治(長崎)	山田 鏡次郎(岐阜)
若林 猛(三重)			

林學科第十三回

三十六名

石井 正巳(山梨)	石川 務(福井)	伊藤 昌(秋田)	右手 敏夫(岡山)
岡部 正雄(三重)	×勝間田 興衛(静岡)	小島 重弘(愛知)	後藤 新平(岐阜)
小林 恒夫(岡山)	柴田 仁夫(岐阜)	下平 仁(長野)	岡浦 和巳(三重)

高木 徹郎(熊本)	(舊高橋) 七 條 滋(三重)	寶田 豊治(秋田)	武内 俊一郎(高知)
田口 吉三郎(秋田)	中曾根 武夫(群馬)	中野 五郎(福岡)	長谷川 文平(新潟)
針田 實(石川)	半澤 青一(宮城)	福島 一(三重)	藤川 巖(岩手)
星野 重一(三重)	松島 敏夫(三重)	前田 英(高知)	宮下 頼保(長野)
美山 守生(福岡)	森口 重男(三重)	森脇 勤(鳥根)	八木 辰夫(静岡)
安永利政(福岡)	柚久保 久志(三重)	米倉 隆夫(宮城)	沖田 萬年(兵庫)

林學科第十四回

四十二名

×阿南 大介(大分)	池澤 宗一(三重)	石次 幸雄(石川)	磯部 富士雄(山口)
伊藤 正人(宮城)	井上 幹夫(鳥根)	岩間 旭(三重)	植村 稔(京都)
植山 保(香川)	大石 傳次(静岡)	小川 正則(茨城)	尾崎 正次(三重)
小野田 元正(東京)	各務 健三(岐阜)	岸本 喜久二(長野)	古賀 濟美(福岡)
今田 正三郎(山形)	財満 勝壽(山口)	清水 俊樹(高知)	鈴木 光太郎(秋田)
武居 岳夫(長野)	寺司 益三(大分)	中西 秀一(奈良)	西田 嘉一(奈良)
根垣 迪郎(京都)	信清 成功(高知)	原田 辰丙(愛知)	原田 恒治(愛知)

林 一(三重) 林 甫(愛知) 藤井幸人(山口) 藤本義隆(福岡)
 牧野 弘(長野) 宮本 潤(和歌山) 吉本幸藏(富山) 武藤 博(北海道)
 村田 藤橋(三重) 山口 岩介(高知) 山本尙政(石川) 吉岡 薫(高知)
 (舊李聖仁) 岡本 忠 秀(朝鮮) 巽 正斌(三重)

林學科第十五回 三十八名

赤田 龍三(滋賀) 淺野 正雄(宮城) 石松 留男(大分) 占部 武之(廣島)
 小澤 一男(埼玉) 奥山 薫(三重) 大久保 米二(長崎) 郷司 義清(大分)
 梶原 健之(熊本) 木村 勤(廣島) 公文 正憲(高知) 小林 國雄(東京)
 齋藤 諄太(山形) 佐川 義典(茨城) 佐々木 德三郎(秋田) 佐藤 謙太郎(岩手)
 洲濱 實市(鳥根) 高橋 邦三(秋田) 把田 光三(廣島) 玉田 茂和(大阪)
 中村 辰郎(山口) 那須 秀雄(和歌山) 西岡 巖(高知) 西 隆夫(三重)
 初田 敏人(滋賀) (舊長谷川) 伊藤 成男(愛知) 藤田 清次(佐賀) 古市 貢(三重)
 星澤 正男(宮城) 松浦 美男(岐阜) 三村 巖(山口) 森西 猪之吉(奈良)
 山崎 岩男(三重) ×山本 四郎(山口) 吉田 芳男(神奈川) 吉岡 俊彦(高知)

李 裁 洙(朝鮮) 薛 茂 先(滿洲國)

林學科第十六回 三十八名

飯塚 正二(静岡) 石崎 吾郎(岐阜) 伊藤 良一(長野) 嵐 秀樹(三重)
 上原 茂(岡山) (舊浦上) 山野 宗久(大阪) 遠藤 久志(福岡) 岡本 正文(岡山)
 小川 弘道(東京) 大瀧 穰(茨城) 柿本 大八(三重) 川窪 眞幸(高知)
 川添 正雄(高知) 岸 行雄(山形) 北村 暢良(奈良) 黒岩 久之(福岡)
 黒川 芳雄(三重) 高津 勝(大阪) 小杉 卓爾(静岡) 佐藤 泰三(宮城)
 島崎 良雄(東京) 白取 泰治(青森) 菅 谷 肇(愛知) 瀧川 精一(愛知)
 田村 藤太郎(徳島) 土屋 堯(岩手) 中川 藤一(和歌山) 中富 兵衛(奈良)
 西田 保(高知) 野上 法次(鳥根) 林 光一(長野) 星 英男(福島)
 前重 慶範(廣島) 前田 臺三(滋賀) 右田 芳郎(山口) 溝淵 速雄(高知)
 柚原 正三(福島) 吉田 勇(愛知)

林學科第十七回 三十八名

相原 正雄(東京) 石川 素六(東京) 石田 正彦(静岡) 市村 收(福井)
 卒業生

小澤 今朝芳(長野)	大瀧 竹夫(山形)	大津 藤倍次(和歌山)	梶本 幹一(兵庫)
神戸 具(三重)	清原 正徳(福岡)	熊野 信義(香川)	近藤 幸彦(滋賀)
櫻本 正人(福島)	佐野 勇(大阪)	志賀 謙三(新潟)	瀬戸 公(福井)
高松 一郎(和歌山)	玉置 彦四郎(和歌山)	千村 統一(長野)	土屋 次(福島)
土肥 恒久(富山)	中村 章雄(岡山)	南都 正幸(兵庫)	橋本 喜大彦(大阪)
早川 幹郎(岐阜)	林田 正治(三重)	比嘉 行雄(沖縄)	一杉 雅治(静岡)
松原 一夫(愛知)	前田 昌秀(兵庫)	馬場 義人(島根)	村川 時雄(山形)
山田 静男(和歌山)	山西 功夫(奈良)	吉岡 勸良(青森)	吉岡 知典(愛知)
和田 稔彦(高知)	馬 駿 謨(満洲國)		

農村工業資料第一回 二十九名

相川 清術(長崎)	雨宮 治(山梨)	有本 強(岡山)	井口 重夫(京都)
石井 健三(長野)	井上 圓之助(滋賀)	植村 榮(三重)	大岩 英雄(愛知)
川口 廣巳(三重)	河野 昌龍(大分)	木内 泰次郎(長野)	近藤 房實(高知)
榑野 松司(長野)	柴山 元隆(富山)	鈴木 正義(静岡)	多氣 善一郎(京都)

武内 爲雄(大分)	中村 正五(千葉)	名越 成夫(三重)	福浦 保(三重)
藤田 清一(三重)	藤原 光雅(山梨)	前島 柏(兵庫)	水谷 好平(三重)
宮地 能登治(佐賀)	森山 榮壽(山形)	山上 四郎(愛媛)	山口 清(三重)
山田 廣一(山梨)			

農村工業資料第二回 二十九名

足立 勉(兵庫)	池田 末喜(長崎)	石田 春樹(茨城)	石橋 進(滋賀)
加藤 義博(愛知)	國府 晃(京都)	小林 喜男(群馬)	佐藤 幸治(山形)
下平 和夫(長野)	鷹島 敏勝(秋田)	高橋 基國(廣島)	竹内 利明(山口)
田中 義教(高知)	千田 耕夫(岩手)	堤 春雄(佐賀)	西川 長夫(福井)
林 泉(福岡)	細川 晃(鳥取)	牧野 忠正(愛知)	増田 稔(静岡)
松井 勇(京都)	三木 泰正(福井)	三島 暉一(島根)	三村 司郎(埼玉)
村上 直喜(熊本)	山路 阿蘇男(三重)	吉岡 東造(長崎)	米田 廣良(鳥取)
米森 善一(鹿兒島)			

農村工業資料第三回 三十名

石川 眞治(沖繩)	石田 清六(青森)	今井 賢三(東京)	岡 正之(和歌山)
小笠原 逸朗(廣島)	小川 義則(熊本)	小栗 芳郎(静岡)	小河 直(福岡)
笠原 卓爾(福岡)	川原 隆一(佐賀)	壁谷 彌傳(福島)	倉田 正(長崎)
黒島 直方(沖繩)	佐藤 守(静岡)	清水 茂(群馬)	末野 幹郎(鹿兒島)
瀬崎 藤麿(兵庫)	高橋 茂(埼玉)	谷 恒男(三重)	田村 晴男(山口)
中村 賢一(富山)	中村 久次郎(三重)	沼田 四良(富山)	畠山 擴(和歌山)
畠中 良明(福岡)	濱中 健夫(山口)	藤野 安久(福岡)	山副 博志(京都)
横山 毅(岡山)	吉本 一男(香川)		

農學科選科

▲大正十五年三月修了	×別處 初幸(愛媛)	野村 安衛(岐阜)
▲昭和二年三月修了	×今井 武(三重)	
▲昭和二年四月修了	花谷 郁(三重)	
▲昭和四年三月修了	平井 宏(大阪)	
▲昭和七年三月修了	塚田 英夫(千葉)	

▲昭和八年三月修了	齋藤 小吉郎(三重)	瀧山 巖(大阪)
▲昭和十一年三月修了	黒瀬 大二郎(三重)	
▲昭和十二年三月修了	大西 謙二(三重)	北川 直久(三重)
▲昭和十三年三月修了	×柏木 禎太郎(和歌山)	
▲昭和十五年三月修了	村田 幸穂(三重)	
▲昭和十六年三月修了	岡本 義雄(三重)	澤崎 敏雄(和歌山)

農學土木學科選科

▲大正十四年三月修了	山本 三千三(三重)	
▲大正十五年三月修了	石田 巖(三重)	
▲昭和六年三月修了	王家 麟(滿洲國)	
▲昭和八年四月修了	加藤 積(山梨)	
▲昭和十年三月修了	宮田 正次(愛媛)	
▲昭和十二年三月修了	鈴木 孝(三重)	中村 麟太郎(鹿兒島)
		村木 照雄(三重)

林學科選科

- ▲大正十五年三月修了 日野 雅亮(長野)
- ▲昭和五年三月修了 小林 英生(三重)
- ▲昭和十二年三月修了 (舊海瀨) 堀江 新次(和歌山)
- ▲昭和十五年三月修了 布施 暉雄(京都)

永杉 巖(福井)

農村工業實科研究生

- ▲昭和十五年三月修了 武内 爲雄(大分)

二、卒業生年度別數

年次	學科					合計
	本學科	農業土木學科	林學科	選科	農村工業實科	
大正十四年	二八	二八	二三	一		八〇
大正十五年	三五	二八	三三	四		一〇〇
昭和二年	二九	三六	二五	二		九二
昭和三年	二七	三二	三一			九〇
昭和四年	三二	三一	二三	一		八七
昭和五年	三九	三六	三七	一		一一三
昭和六年	三九	三六	三一	一		一〇七
昭和七年	三九	四〇	三七	一		一一七
昭和八年	三五	三九	二九	三		一〇六
昭和九年	四二	四二	三九			一二三
昭和十年	四〇	四〇	三五	一		一一六
昭和十一年	三七	三七	三七	一		一一二

入營中ノ者	上級學校進學者	自營者	中華民國、南洋等官衙技術員、會社員	滿洲		銀行會社員	其ノ他ノ中等學校教員	實業學校教員	技術試驗員	官公署技術員	就職別	學科	
				中等學校教員	官公署技術員							農學科	林學科
二三	一七	四五	一八	二〇	一七	五四	五四	八五	三二	二〇四	農學科	三〇〇	三四三
二二	一四	一二	一七	五二	三	四四	一一	四七	二	三〇〇	農業土木學科	二	三三
一五	一二	三〇	四	一五	四	五九		三五		六	選科	三	一八
四	四	二〇	一	四		二八	一	五		一八	農村工業實科		四
六四	四七	一八	四〇	九二	二四	一八八	六六	一七五	三四	八七一	合計		

卒業生

一八三

三、卒業後ノ狀況

昭和十六年九月一日現在

合計	昭和十六年	昭和十五年	昭和十四年	昭和十三年	昭和十二年
六二四	四七	三六	三八	四〇	四一
六一五	四〇	四二	三六	三一	四一
五七二	三八	三八	三八	四二	三六
二八	二	二		一	七
八八	三〇	二九	二九		
一、九二七	一五七	一四七	一四一	一四	一五

卒業生

一八二